昭和十六年九月起筆

養痾漫筆

十四

特別
14
1919
515

176780

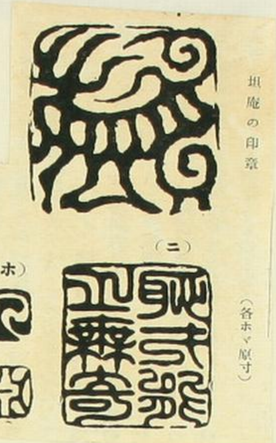
養齋漫筆

昭和十六年九月誌

日本國東湖の正氣歌を繞いて『神州誰君臨』が、之には『神州孰君臨』萬古仰天皇』が、之には『振古有天皇』『正氣時吐光』『忽起西海颶』が、之には『正氣時放光』『忽起西州颶』而して『遺訓何慇懃』なる遺訓傍側に、小さく、貽謀と書く。『或狗天目山』が、世間一般の新拓本には『或殉天目山』『承平二百歳』が、之には『升平二百歳』『斯氣常獲伸』が、之には『斯氣常得伸』『凛然叙彝倫』が、之には『隱然叙彝倫』『誰能扶持之』

定本正氣歌『鋭利可斷鰲』が、之には『鋭利可斬鰲』『神州誰君臨』が、之には『神州孰君臨』『萬古仰天皇』が、之には『振古有天皇』『正氣時放光』『忽起西海颶』が、之には『正氣時吐光』『忽起西州颶』が、之には『遺訓何慇懃』なる遺訓傍側に、小さく、貽謀と書く。『或狗天目山』が、世間一般の新拓本には『或殉天目山』『承平二百歳』が、之には『升平二百歳』『斯氣常獲伸』が、之には『斯氣常得伸』『凛然叙彝倫』が、之には『隱然叙彝倫』『誰能扶持之』

が、之には『孰能扶持之』『生死又奚疑』が、之には『生死又何疑』『復見張四維』が、一般のそれには『復見張綱維』となつてをり、總じて今行はるゝ『正氣歌』が正しいとなつてをる。しかし正氣歌には、此の如き經過があつた。文字が違つてゐても決して贋物ではないのだ。



坦庵の印章（各ホゝ原寸）

（ホ）

（ヘ）

江川坦庵像（淵田崎嶇氏筆）
昭和十四年一月十六日除幕式擧行」

江川坦庵筆　甲州微行圖
（坦庵自畫。大鹽平八郎の檢舉に際し、彌藏・探偵のため、齋藤彌九郎を率ゐて甲州微行中の圖――右坦庵、左彌九郎――木文參照）

（次頁插圖參照）岡本黃石は此圖に題して、兩個行人爲二何人一、扮裝全似二商賈身一、物色傍邊如有レ意、一個最非二凡倫一、抑圖之者爲二誰某一、無二耿戲筆一能寫レ眞、眼光爛如二巖下電一、一見足覩其有レ神、何物豎儒弄二矛戟一、四海無二虞天保春一、渠魁一朝忽就レ戮、餘黨四散搜索辰、江川坦庵忠勇士、文武之名天下振、與二其部下齋藤某一、兩人作二買搜漫根一、坦庵餘暇善繪事、此圖爾時成二旅次一、兩人相座傾一盃、醉中應作二此墨戲一、齋藤劍客稱無双、事及二當時談一レ劇、親君能繼乃父去、近來肱産加裝潢、只憾幅無二隻字一、又恐不レ知二何人像一、百千年後徒捐棄、擧杯屬二吾丁寧一、乃令作詩代二耿識一、可笑豎儒半世蠹虛名、口唱聖賢身顚墜何如、江家一系千餘年、子孫忠孝保二祥瑞一

38- 9301

様原製

○異々なる家出を検して学校の紛擾録四冊を得れ、こゝ先後家
に留置るべきことを早大図書館に保存すべきと案じ不日其手続
を取ることとなりたれ、此の記録の中に授給録を起すこと出は為の余
の左右に在りて紛擾の経緯を余の旨を承けて関大印が筆録し
ゆるが、扨年内動録を起すことゝ、紛擾の前年高田が家を
天堂に譲ることとした時、自分が衛を高つて学校前途の方略に関し
内交渉を行ふ時の記録である、田中穂積の記録に天堂を校長

とする実業学校に騒擾の起りた時田中が入りて其の紛擾を
鎮撫した記録であるも、四高田学長の記録に紛擾電報に就
いて家長の記録である、此等の記録に高田の命に據り一本勝寄して出版
部に納めてあるが絶対にあらず、今に尚は秘密記録となりてあるが、
いつこれ等が公表されることあらば、従史を此等を載せることに恐らく数
十年の後にあるであらう。彼の紛擾を学校の真摩に関する一大
事件で大隈名誉伯等に深く憂へられて、天堂に直接説く所もあ
り、[illegible]校長先輩に天堂を説諭されたこともあつた。而して皆其効を奏
さなかつた。此の事件に結局天堂の嫉妬から生じた醜事件で、天堂が左
右のなすに傀儡に仕へたれ、意氣地の為に歴史である。結局天堂が学校を
り設置されたれ失敗迄であるが、天堂側に政府と通謀し、内務大臣後
藤新平は警視庭に令し乱徒を学校に闖入せしの学校を

天開ちんとしたが、陰田が背後に内務の手があるとすれば、是れは寄自
公権を抗まるを不可とし居るので自分は屈したが、彼等はあらんもなく其等
の罪跡を文書に認めて校つの前に標示をしたが、亦数百を分つて乱徒の其
等に及ぶを深徒骨髄訪問をなすなど死から戦争意なくなる駆
援を極めたが、其他の事は文書に詳記されるが以上のことをことに文
書に残れたるから夏に大略を記しおく、

○九月九日早大同出版に寄附まべく彼等宮川兵二に交付した同出
左のかし、但し北内監獄論稿本だけはかしく思ふ所ありて除かしたが、
此稿は獄中典獄の命にて大体獄中に著作し出獄の後修補を加へるに
数月を費し、安藤に儲蓄してある司獄の原出を借受けて参考
もしたが今彼いて見ると文章は拙だが全部経つてあるのだ捨て
頼い氣がするのだ、或は自分の死後或は刊行することもあらうと思ふて

一 校份録、外平内動録、外高田田中の授份と
関する記録

○一 監獄論稿本二冊 余が古監獄に在りし際著
し出獄の後修補を加へたるものにて此の書行本のみ
に校本なし

一 蘇山印譜四冊 往年余の輯めたるもの

一 泉譜二冊

一 日本古印譜 五冊 余の輯めたるもの

一 寶印集 三冊

一 孫愛堂集古印譜一冊

一 巡玄庵印譜二冊 長三洲印譜

一 渡邊重印譜 三冊

一 羣游留爪　前島男印譜

一 大正四年大隈内閣解散後大隈伯後今の関係出数一代表

一 文明協会主催明治戊辰紀念会出席文献の寄せ一代表

一 貴明の凱旋　山賀新太郎評稿三冊

一 石佛寄せ一代表

△一座法律事問の友人を見せて置きたれども氣がつきに先づ元のとく手元を置くことにしました。

○相馬御代の個人雑誌「野を歩む」が刊行したから一氣に読過す。毎々此の雑誌は打捨ちて刊行すると直ちに読過す。宛から書きたるに此長い書物を読むが面白いとも自分は此人の著作を書き著作略暢達して亮しいやうだ。今度の於伝ではなかなかしたり、相馬の花の父藤岡義先は服後とし五十年を尚ると云ふ此相馬自身は五十九才となることを知る

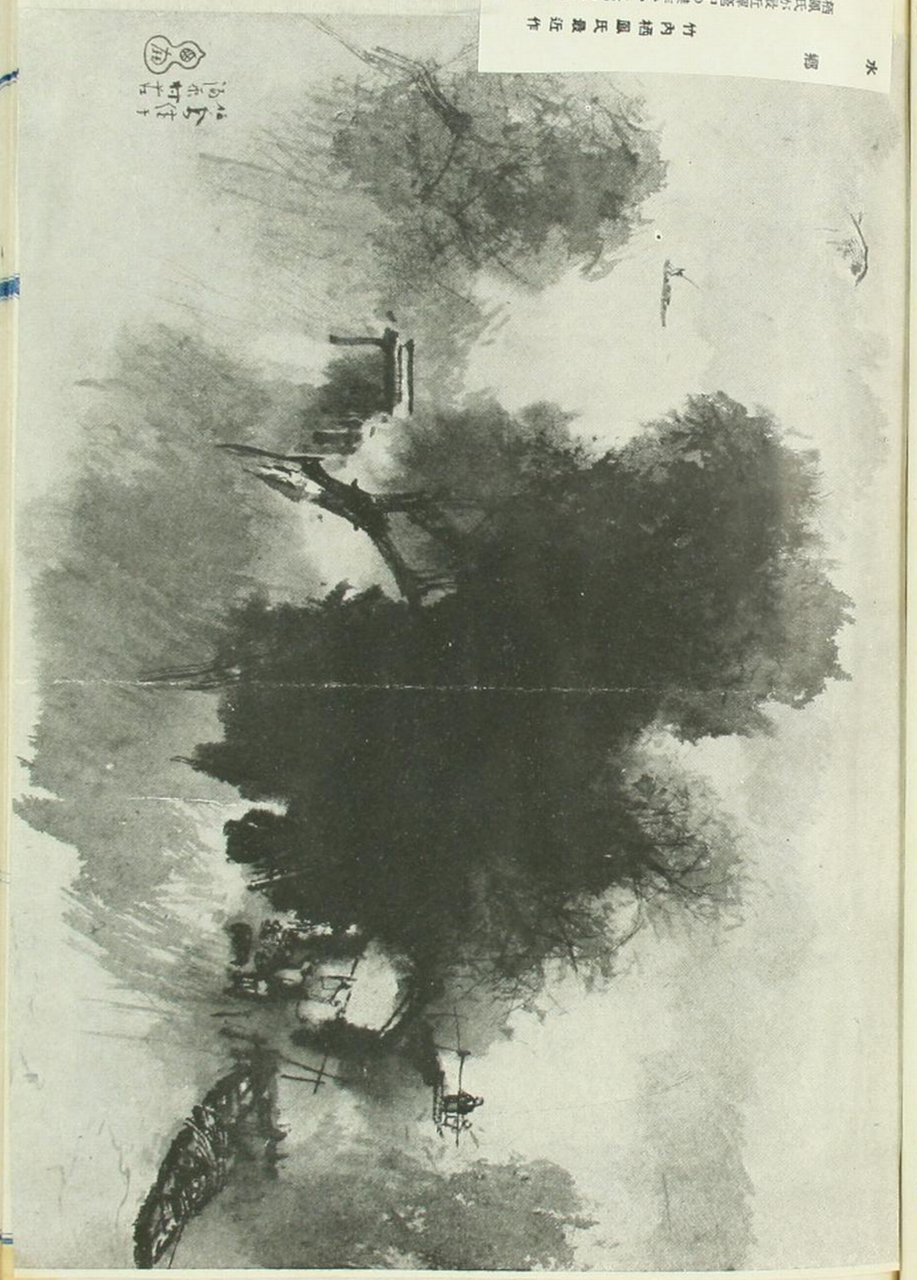
此、[illegible]又此人の著書の刊行されたものが百冊も及ぶことをもしむのは相馬は早稲田の先人に一番才であるこれ蓋の文人を片田人にかつ足くのは惜しむべきだが此人が片田舎に居ると居ると良寛のまゝや御国政後の事が大いに著揮した。自分は先に就いて感じたことは、どこの私は於て此人の如きものが其日出地にあるに郷出のすべて著を上げたら、其郷出開業の為は大なる效果があるであらうと、相馬の陥業の今集が先年出版されたれ時自分は此事を宣傳文に書いたことを想ひ出す。相馬は若い頃早稲田の授歌を作つたが、それが今も傳つてゐる恐らく永久に傳へるであらう。今でも才くから喝はれていろ〳〵な謡を作つてゐる。此道に於て、今は有数の作家となつてゐる。自分は往年前島男の生涯碑の陰碁の際に高田の旅館に泊した此人に過つたきりも其後過ぎ機会もなかつたが雑誌や著書を読んでゐるから、宛から考へて過つて

ゐるやうなる氣がする材料の乏しい田舎に居るから相馬の出しことに概ね
秀材漁夫の頭事に属しとんか郷国の事に属するかくいつも頃んで見て
憶し味を感ずる、見分は北人の居住地に頭城の郡の熊魚川に就て自ら
聯想を見ることもあるが、実は自分の若かりし打僅しのは一連此出地に
游んだことがある、そんな自分の高田新潟記者時代で熊魚川の或る人に招か
んで遊んだことがあるが、其時の事を想ひ浮ぶると見分も若かつた且つ乱暴
でもあつた。ある料理屋並業の旅館に居し居たが、そこに田舎に珍らしき美
妓がゐたので、自分は喜んで、其所の講演に赴いた時は妓を伴つて
行つた。此の講演は今頃の多数の人の今会するのとは違つて、僅すんと君は
かりの数見連であつたといふ、随分荒れ居の熊度であつた。確か此時話したの
は科学的の話味談であつたと思ふが、実は遊びたるのの教談ひあつた。熊魚
川に游んだ時の事は皆忘んでゐるが、今古覚えてゐることに或る人に去る

水鶴

竹内栖鳳氏最近作

栖鳳氏が最近根塞中の傑作で、水鶴の情趣を得意の
水墨を以て描寫せるもの、鏡絵の妙技は東洋畫の傳
統を遺憾なく發揚したものである。おそらく氏が近
来特に愛好する関東の風景「潮来」を題材にしたもの
であらう。同じ氏は「栖鳳先生来遊の地」の碑が建て
られてゐる。



の城内のもいれ菓のマリリ六枚を示されれ時、コンナ遠阪ようとコンナ
ものがあると思ふれ、亦然鳥川の町を散菓中に鯛を演焼ましてゐる安
をこれ大きな鯛が火に炙んでゐるのを見れ人ら指が動き始めて一足のこ
ゝ差しれ僅燐に帰り、茲右にて之れを下ある酒を飲んだことを想ひ起す
此頃まへまぐれ馬は早大まへ入らん人ばであつれ。何分逆鮮酒浮び責任のうい
遊びれ好適の地で、二三日浮在れ為め有名の柿を困つて或人から借金して高
田まで仂車で伺つれことを想ひ出す。然鳥川にみえれ数へ後年轉して村上
に来たのに某様に再会しれことを思ひ出す。然鳥川所以の勝迄を
探り、不死での陰も月に見の勝を探つれ人、時を異にして姫川の墓にあり
叫尚めを必らつれ陰に居し、あの（ハナハケ不）（遠）自分のおつて居る不が（剃余れ）多く、時と
して思ひ記すことを考へ、あの為時は陰分淳水の土地であつれが、今は異し
てどうつれ。

口亀山東三山陽野屋の隔三四里く来り甚迄を訪ふ、即ち
もして無れ、其の内容の事、こゝに仏間めつまりく

丙戌八月十二日遊嵐山峡即事　山陽

山宿朝嵐翠濕衣　晨光搖漏尚薫微
急呼漁叟除新獲　籃底喚喁勢欲飛

戊申暮秋雨餘踰米山　鴨屋

萬疊翠風来撲顔　身過水墨畫圖間
天公好意新収雨　始引詩人入米山

通議日日御覽被下の哉未印掛ちと欲
梅の一向と被存の江南亦然欲僕齋
居不知外事梅をもらひのへとも皆僅
蕾而已雖然今日得一大枝樣乎絶好
海態の對此掛物と存のて出秘藏之
倪隔口今搜對いたしたるに此間い飛ぶ屋
饅頭澤山ニ被下日日相樂忝存の何
以報之彼島海鼠腸大割愛孝献の時
節少後れのとも是亦何減北越雪魚
哉世張榜了飲ニハへとも一啜可被仰
付下の未必不辨淄澠の事ニ於首

正月十八日

竹洞通伯

寒

○亀山事三を外て某印刻越味之人に家花の印書若干を[illegible]
すべき日左のみし

汪敬叔　錦囊印林　一百五十目

趙凡夫印譜　五十目

宗元明摩象印譜

岡田旭堂画汪敬叔像　九百

高其恭手　琴印幣二　計一二百九十目也

○昨今秋森おつきに出る遊びし索引叢録し雑筆を取
り出して読み且つ索引を作る大抵半日十冊許を読み既に数百を費やす
全部の索引を作らば尚十数日を要すべし余の雑筆数百巻に上る是れ
実は日記の詳ならざるが為なり日記は前年に毎日の事を録して置くこと五十年
間つゞく日記に書き留めたる雑筆に録す日記は只月々雑筆の内
さらなる毎日の見るもの感ずる所を録したる雑筆中に存す此雑筆の索
引を集めたらば各々つゞき全の年表を作り得べし尚ほ毎日続行せん
ことを約すと云ふ
（昭和十六年九月十八日）
○日々にて任かして毎日数巻の雑筆を取り出して読みつゝ索引を作る
十日間つゞけて毎日十巻を読み索引を作り百巻余閲了りぬ未
だ閲読せざる雑筆二百巻程ありこれ等の索引は追々作らんと期して
ありしが索引を作りたる四五百巻のものを詳細に索引を作らんとせしが容易
ずあしが其自分の経歴に関するものを採りて之のみを集めし自分の年表
を作らんと試みるも余の雑筆の多くは発行の雑誌に採用されたるもの
び経て剪り取りたる紙の痕跡を存するのみ加へ昔のみ時勢に関する記
事政治上の事も深山雑筆中に存すれど多く索引に取りたり又毎日
書籍目録も読めば其の得たるものを録し置きたるもの等は一切採
録索引は較々簡単なりしも大概毎日二十巻位を閲読する為関
日出来る全部を閲読するは恐らく尚ほ数ケ月を要すべし此
等雑録は余の日誌に書き難いことを永年毎日録したるものを続ち
集て雅きを見るに余の死後何人か閲読するやの五十年であらう
也
九月廿二日の記
○先月初旬より始め雑筆を閲読する自分の閲歴に関する記事の
索引を作り二百冊に近き雑筆を閲し九分終閲せざるもの一百冊余あり

今茲は日々篆刀を把りてあるが為め此の冊子に筆を執ることを廃したが、此間刻した印章もかなり多くあるから、但し此間の大略を記して三
留庵子印しれかた(?)是は多く金(?)れ、此間篠田塚士が遅く訪ね来られ、篠田
義之石塚三ケ子氏から訪はれた、二三方面から依頼の印を贈られた、不山(?)他し
助、木間喜平、野口英世等である、森田清太郎株四十五を受印二千四百七十五
個能収、新彫株十株九方(?)作印(贈)(共此)贈全ての又 回方(?)の両印譜と印考を贈る
其後は三百個也、按反(?)鈴木宗庵の依頼を揚してゐる此間へ?ろし、望月桐庭湖
郷野等を編入大提を依(?)して、模中のモスクワを包囲し死人余を制しつゝ以(?)
てありとせを

十月十一日記

榛原製

はひなく最…

ヒ總統・奈翁をしのぐ
モスクワ作戰・兩者の相違

いまや赤軍が最精鋭を誇るチモシエンコ軍の七十ケ師百五十万の大軍は獨軍の鐵環包圍陣内に殲滅必至の危局に陥り獨ソ戰は遂に決定的段階に突き進んだ、ナポレオンが四十万の大軍を擁してモスクワ進擊の軍を起し嚴冬に阻まれて生き殘るもの殆となしといふ大失敗を濺じたのに對し、ヒ總統が藤々たる大成功を收めつゝあるのは何故であらうか、兩者の作戰の相違の重點を拾へば大體つぎの如きものと見られる

一、國際環境の相違　ナポレオン政權當時の佛國は與國を全く有しなかつた、ロシヤをはじめスペイン、プロシャなど殆んど大部分の國が敵にまはつてゐたのにヒ總統は獨ソ開戰に先きだち歐大陸の大部分を盟邦又はその勢力下においてゐた、イタリヤ、ハンガリヤ、ブルガリヤなどは反共十字軍としてソ聯打倒戰線に加はつてゐる

二、兵力量の大差　ナポレオンは當時にあつては非常な大軍である四十万の兵力で進擊したが今回の獨軍に比すれば物の數ではない、獨軍の總動員兵力は一千万を突破し、この過半數が對ソ第一線に動員されてゐる、ヴィヤジマ、ブリヤンスクのボック元帥麾下のみでも三百万の大兵力が集中的に使用されてゐる

三、交通、運輸網の違ひ　今日は交通機關、道路網は四通發達し軍隊も躍進した兵器を持ち機甲化されてゐる、ナポレオン當時は高々馬を僅かに主要機動機關として頼るに過ぎなかつた、從つて今日は作戰距離において著しい短縮を見てゐる

四、戰法の相違　ナポレオン當時のロシヤの戰法は專ら退却戰法により「冬」の空間を頼んで成功した、しかるに今回のソ軍は戰法を全然變にして、飽くまで攻勢に出で反擊、反擊に終始した、これが獨軍の術中に陥つてまんまと失敗し獨軍の捕捉殲滅するところとなつた、從つて赤軍は戰ふごとに幾何級數的な戰力低下を顯現したのである

五、戰爭局面の廣狹　ナポレオン戰爭ではいはゆるナポレオン街道を一直線にモスクワめざし驀進したのみであつた、しかるに今回は北はバルティック海より南は黒海に至る縱線二千五百キロにおよぶ長大な作戰正面を有しこれがため赤軍は戰略の術策を弄する余地を持たなかつた

○今を十[illegible]数年前在朝鮮刀畔か(?)尚良友人が余の
隨筆を読んでくれた、二三百個の印を彫り来たれる、西峯の館
画面石(?)顆を百顆の合刻して?(?)らんとし…べく
其の要点を知し、百顆の印を刻する労を思うて、余の友

拝啓 此清栄奉賀候 我々敬愛する
先生より過日秋山への書状中近来千
と離縁するより外致方なく最後の作
し候旨有之右良寛書臨摹彫刻
に保管申居夫間一週間以内に此
[illegible]

はなばなと遠慮なく其の手紙の先方へつかぬ前に、早く西穎
の庭印に印譜まで添へて贈り来りしことあり、其印を見るに
刻は早進に花鳥のよく出来て居るのみ、其の詩は余の経歴
に関係もあるものゆゑ、全部の印を重ねて附しなんぞ、此百数の印
は特に保存し居るに、西来和尚の消息を後ち居りしなり当
秋山へ何んもなくなる人）より別紙のことき来状あり、加茂はよく自
分を忘るゝこと[illegible]遠かに余の為め言葉の心を刻しを寄せ
たりと感激し、人を是し先方より寄せなるものを見んばなり
サ先人六七寸の板に良寛の形の字を刻しなる掲げ額にも
其の様なをよく彫りあり、原本は山本豊実の名をこゝに原のく謝
して其額は直ちに紐をつけて志寄を掲げなり、家名をも額二面
に柱かくし一ぬんを詩を刻しなるものなく、跡を書すべきこゝ也

拝啓 御清栄奉賀候 我々敬愛する妻の刀畔加藤君良
先生より過日秋山への書状中近来手が振へもう鉄筆
と離縁するより外致方なく最後の作として呈上仕り度存
し候旨有之右良寛書臨摹彫刻の現品到着山田宅
に保管申居夫間一週間以内に御渡し申度御名刷御も
たせ御使差遣さ北度願上候 追而御如才無之とは存し候
へ共先生に可然御礼書頼入り候

十月廿八日

敬具

山田弘倫
秋山陳造

[illegible]

先生の住所 朝鮮平壌府大同江面衣殿里 加藤知良

に関係もあるべき金郎の印と書かれ候ハ此百数の印
ハ特に保存し居るハ兩来和藤ハ消息を絶ち居りしなり当
秋山へ何れも知らせる人より別紙のことき来状あり加藤はよく自
分を忘るゝこと[illegible]かれ余の為め言葉の心を刻しもこの
なりと感激し人を是し先方より寄せなるものを見ん[illegible]
せ先人六七寸の板に良寛の形の字を刻しなる掲げ額をも
意の極めをよく解りあり、原来ハ山本豊実の名をこゝに原く謝
して其額の直ちに紐をつけて志家に掲げなり、家名をも額二面
日柱かくし一ぬんを詩を刻しなるものなり、跡巻すべきこの也

拝啓 御清栄奉賀候 我々敬愛する妻の刀畔加藤和良
先生より過日秋山への書状中近来手が振へもう鉄筆
と離縁するより外致方なく最後の作として呈上仕り度存
し候旨有之右良寛書陶摹彫刻の現品新着山田宅
に保管申居夫間一週間以内に御渡し申度御名刷御も
たせ御使差遣之北度願上候 追而御如才無之とは存し候
へ共先生に可然御礼書頼入り候

十月廿八日

敬具

山田弘倫
秋山陳造

[illegible]

先生の住所 朝鮮平壌府大同江面衣巖里 加藤知良

は関係もあるなつき、金郎の印を受取る時に此百数の印
は特に保存し居る以て雨来和藤より消息を得ち居りしなり当
秋山へ何れも知らせる人）より別紙のことき来状あり、加藤はよく自
分を忘るゝこと[illegible]（[illegible]）かは余の為め良寛の心を刻して[illegible]
なりと感激し、人を是し先方より寄せ[illegible]
せ先人六七寸の板に良寛の外の字を刻し居る掲げ額とし
[illegible]山基豊実の名をこゝに原く謝
して其額は直ちに紐をつけて志家に掲げ[illegible]家名[illegible]額二面
[illegible]柱かくし一[illegible]詩を刻し[illegible]、跡を[illegible]也

我々一族の人市崎成一君家史を編して印刷行せんとし余に巻首に
題せんことを需めたるに顧ふに家に歴史のあるは尚は固に回史
のある如く、其の必要あるは言ふを[illegible]まずとなし、歴史（[illegible]）
記録なり、之れを由り[illegible]盛衰の源流を討ぬ、之れを由り後昆の亀鑑と
あるべし、家史も亦家の[illegible]業粘推移の記録なり之れを由り先跡の
榮枯盛衰を観て、子孫の規範とすべし、安家の[illegible]村（元と）地は丹波
の市島の地に発祥し、天正年間溝口氏に属[illegible]氏する在郷の時
の事一切知るなし、唯此郷の名を姓とするとあり、溝口氏封を加賀の大聖寺
に移すに方り随ひて移る、後亦城後所書同じ移るに迨び又随従して
移る、共に天正年間に在り、新春向に移るに迨んで父祖感する所あり
士籍を脱して、桑麻の業に服し、營々殖産を努め業績頗る顕著

なるものあり、何代　時に到り、子孫漸かく繁殖し家を新春向
五十公郷天原葛塚等を分ち、皆に饒産を擁し一時豪富を以て一郷
に鳴る、此の間開墾に努力して四遍地を干拓するものあり、四濱の業を整
ひて四方の有無を通ずるものあり、文学を以つて一郷を指導するものあり、
奕世奉公敬恒に[illegible]講義の[illegible]力を籍るものあり、朝廷
[illegible]屋を賞賜し、[illegible]民政を司ぬる
例[illegible]其の盛時一族十七軒の多きを数へ、越後
の富戸まくに互に相婚し、血属[illegible]湯[illegible]所在一族の割據
[illegible]連れて各家を区別するに記録を[illegible]
をかく市と云ふて[illegible]を用ひ、余の家を角市と呼んで固有を用ひ
なる[illegible]以上各家に見えて家史あるも複雑を極め、一家三百年
の家史を編する[illegible]容易ならず、況んや一族の家史をや、余が幾回人

す依つて斯く命す

座右に余が病前執筆しける趣旨録一冊を贈る此の冊子は周山川人平と山人の書画帖に擬し、奉書紙に大小種々の紅色の変形を遺しなるを二三十枚のこの、余戯れに画法数十則を書す、前後飲食ならば如く國之んを贈ると云へ、

政界往来社らし陥筆を需めまゝ、今以黄初論を厭ひたるも多少の意義あるとなり、先年森路のかが揚乙の某の著しに原出の大要を叙しに、元氏露骨に支那を保ひめて日本を疑しんあるが其実支那がいつまでも日本を見るんで奮起してのことなれば、白人勝手の奥手をさらけ出してみるのが矢張を果同様である所に自分の宗旨もあるのだ

モダル日本社らも陥筆をもとめて其れから、自分の雑筆寸かく

十二の陥筆を応用しに、其一は諸国神社の狭隘なること、陥つて其内大抵代を要する事とし、枕と題する陥筆を供れ

今回家変換機会に方り、七十年前の維新変換期を一顧するのも一概に
無益の業にあらずは、世の変革は（全体）[illegible]至の事にて、其の来るは宛かも四季の
循環することゝ遅くとも遅けれども、其の来り強ち不可ではなきもいかに、之れに
處するは豈ましきを得ざるべし、新を迎へる所に舊を失ふの危険がある、舊を
はなしたりしも不可なるを知らず、新は必ずしも善なるものあらず、善なるを
なるものを採る為めに、善を失ふは此の変革期にあり、大風吹き来りいざ
改革とあらば、人皆を改革を念とし往々行ひきたりて後に[illegible]の悔
のあることを思ひは我々ならぬ、
維新の変革は成万年の鎖国をひらき、強く智識を世界に求むる為め、内を
霊ふして文化を迎へる変革であつた、即ち舊物打破が完決問題であり、何
れも打破つて個体を神武の舊に復すと云ふので、正朝府が作れ、蔵一郎が奉還

未流を抜き学んでしこ國畫の迎ふ子をひらくめん
維新前後の畫界を觀察するの各流派の名を有してゐれば、國畫
の淵源なりし京師の畫家の甲乙丙丁は相当に[illegible]
持る者き、殊に異色の人々を奉れば、浅邊華山[illegible]の前言加あ
り田中訥言の[illegible]あり、大戸の立原杏所加あり、菊池寒雪加あり
浮田一蕉[illegible]、[illegible]、江川但庵加あり、女流[illegible]
[illegible]、浮田[illegible]河鍋暁[illegible]加あり

[illegible]天心[illegible]等の指導を由つて越れ画壇の流派を掬泥[illegible]画壇であ
つて自由の新鋭と任じ個性の[illegible]揮を[illegible]画[illegible]所加あるべし、
[illegible]投[illegible]と云ふて[illegible]敗て四蒼を掬[illegible]其作の優[illegible]を[illegible]

推奉し、文部省で[illegible]を[illegible]平[illegible]優[illegible]を[illegible]
[illegible]共に[illegible]かり[illegible]係が[illegible]國畫は[illegible]
[illegible]の畫を[illegible]が[illegible]
[illegible]、大体[illegible]
[illegible]國民[illegible]の畫[illegible]
[illegible]
[illegible]世か[illegible]
自分は世界の華[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

とを心掛けて終り成す能はさりしことを一族中の人が編纂を企れ
てからこんを多くして大いに助けた次第である、読んで見て、補ひれ
いと思ふのは家家の五月瀬川二翁の事がある、他に亡びた家の
ことはかゆきまらさるが故に不完全と思ひつてもめつともしかれば、

市島成一は浜村出身で現に捨事の觀を在ることを思ひ付いた
ことは余が往年長崎監獄に執筆した監獄論二冊を此
以上を見供托すべきと、遂に數日前同人と交付した此の書
（明治十六七年）
十數前の著を係る余の主張する理論は既に我人の實地に
行はれ之あて、新らし味を我人の實にあつてあるが尚ほ實行するに
こともあり、自分の主張の基は伯耳義のマコノキーの從を敷衍し
たるものあつて、時分が此書を著はしれ頃は世人はマコノキーの名を知る

ものすら無つた、今成一の語るを聞けば高木亮なる人自身親ら二
度まで監獄に入つて実驗した經歴ある人で、獄舎で執いてはオーソリテ
しともこれ必ず當るとこふから、切めては此人ここ原読んで貰ひられ
たいと考へ、こんを交付することにした、其の存亡はどうなつても関
めるいが、埋没を附するは本意がないから、其の尚し関係あるこの
手を委任するが切めてものことゝ交付することになつた（十一月廿四日）

新潟田の高藤治吉が訪ねて来た此男は此年も種々の品、尺
牘、小書畫、珍石（新潟）を貰却したことがある、其の金額は六七百円
であつたと思ふ、此事も何か貰却のものはないかとこぶから貰殘りの
小体係（家自牙の厨子の御刻佛）、国形塗り厨子入りの佛像、木彫の厨子
の佛像）牙製養の仙人、牙製の人形の唐子形の辛味入、小研二明

沈天皇小品銅像、山内容堂出間、光悦、野跡、つき色紙複製本等
を二百五十番まで賣却、又護摩堂人等者初期以来二十年間大掃
の図出を四万円にて賣却しれ、此の家数ハ多少目的に小品に致
味を感ずるものにつき、善通都氏の骨董商に賣了ならば快よ
しとして到賣しれ、價の廉なることなんとも賣立に出して二三
割の母手数料を取らるゝことと思へば、辛抱出来ないことし
ない

（十一月廿四日記）

十年苦辛蒐集し為印章全部七千円にて賣却しなり、家に属
する私印の如一空、唯九夜ずつ家印譜若干あり、亀山書三れ抵
して殘夜の印譜を数多に賣る其目大略左の如し

漢銅印書二　元鴻臚印譜五帙　趙凡夫印譜十二冊

自修印譜十冊　江霞印影　学歩亀印譜　古村印譜
唐元明家雲印譜　和亭描江敬深齋係帳　高芙蓉千葉
印編二　錦囊印林二帙　等々

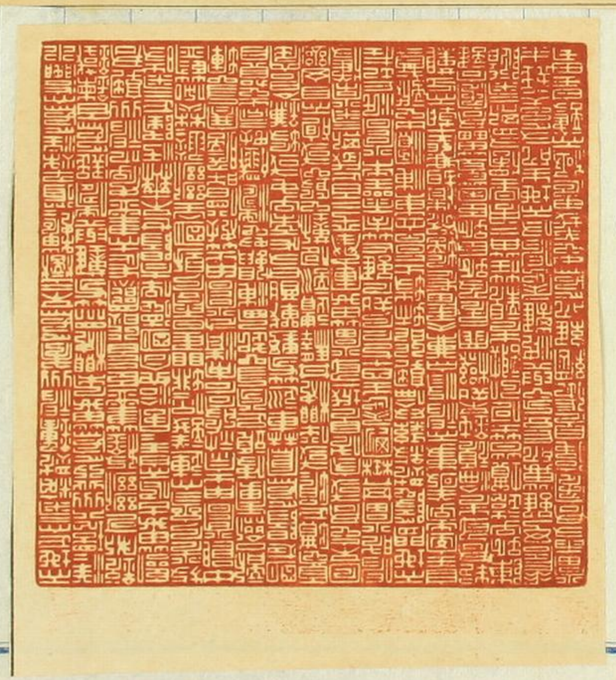
此價約八百円、印章に附帯して存しなるも、既に印章を失ふ、此等
家所ずつ要ずし賣却する所以也

以上亀山と家居に数次賣却しなるの約二千五百円、皆其生活費と国
税に充つ、特篇の用に充て得るの僅に文光の賠金に入れなる少数のみ、
最早家に存するものは銀器茶干と小品既具あるのみ、これも又逐
次賣却に附し生計費に充んとす
但此家書家花器の内にて賣却に附すべきものは皆價なきことなん
とも家に及ぶのものなり、此等を取りわけ小長持三個に収め、これを早

背三ヶの報道かゝ一月部ニ臨まをと頼まれ此政界往来ニて

大国書館ニ於ケル事前月ニ囑ス戦時の炎焼を恐んで也（十二月廿五日）

下村觀山筆——大石良雄　此圖は大石の飲酒五則の意を寓せるもの



例貼

對岸のアメリカ ⑭

ルーズヴェルト大統領の巻

アメリカの眞相を衝くためには、ルーズヴェルト大統領その人を知ることが先決要件である……といはれるほどルーズヴエルト大統領は、歴代大統領と趣を異にした近代アメリカの獨裁大統領であるが、その獨裁大統領を評して"籠抜け戰法の名人だ"と、生々しい近況を土産にこのほど歸朝したばかりのアメリカ通の某氏は語るのである

老練な"舞台監督"ル大統領の横顏

「三選が」 昨年末ル大統領は確實となつた時 フロリダか何處かに舟遊びをしながら、大統領をとり卷く一群の協……香歌を集めて船上宴會を張らした學句、ワシントンに歸るやいなや眞くさま所謂"爐邊閑談"なるものを發表、その内容で反樞軸國に對する武器貸與法を暗示し、年明けの國會には早速武器貸與法を提案した、現行中立法が一九三九年五月成立した當時は

❶交戰國への武器彈藥軍需品の輸出
❷軍需品は購入國が自國船により運搬し、かつ現金をもつて支拂ふこと
❸米國船の武裝禁止
❹米國市民の交戰國船舶による旅行禁止
❺米國において交戰國への外債發行ならびに献金募集の禁止

等の制定によつて米國民を安堵せしめ、こんどこそは第一次大戰のやうに大戰參加の厄を免れたと思はせたものだつた、ところがこの國民の安堵も束の間、第一項の武器彈藥軍需品の禁輸は戰爭勃發後間もなく削除された、第二項後半と第五項は、中立法成立後忠實に守られて來たが武器貸與法によつて有名無實と成り果てゝしまつた 第四項は過般例外を設けたのでこれまた價値を失つた、殘る第三項前半と第三項とに關する中立法改正案が今度はまた上院を通過、下院に回付されたので、中立法はこれで全く骨拔きにされて了つたのだ

しかるにこれより先、米政府當局は、これまでに押收した中立國船や自國船百數十隻を掻き集め、全船をパナマ共和國の

老獪な籠抜け戰法

共和制米國の"獨裁者"

「國籍に」 移し、ちやんと武裝まで完了してしまつた、ところが十月八日パナマ大統領アリアス氏は米國の拔將手段に憤慨して武裝商船のパナマ國籍登錄を取消す旨を發表、センセイションを捲起した、と見る間に據電報後二三日經つか經たぬ間に、パナマにクーデター勃發、親米派の巨頭であり、クーデターの首謀者がとつて代つて大統領に就任、アリアス前大統領はキューバに逃亡した ラ・グアルディア新大統領は、就任するや間髪を入れず九日には武裝商船の登錄取消しを改正する意向を發表した、更に翌十日にはル大統領は『パナマの政變はパナマ憲法により行はれたものだから、新政權を承認するに何ら躊躇すべき理由なく、米國とパナマ共和國との親善關係は不變なり』と言明した

老練な舞台監督が振付けた芝居は筋書通りうまいものである、米國內で中立法の一項、商船武裝が問題となつてゐる時、パナマ國籍船の武裝で籠拔け興業を演じつゝ、一方中立法改正を目論んで政治工作に力を注いでゐた矢先パナマ大統領の『同國國籍の船舶武裝禁止令』が飛び出し、籠拔け戰法禁止の危きに立つやと見れば、素早く手をかへ **「荒療治」** のクーデターと來たわけだ

汎アメリカ主義とやらで……の市場を失つた中南米諸……縛りにし「自分のいふ事……ば貸金はいくらまであげ……いふ事を聞かねばこの……ぞ！」と鬼の面とおかめ……硬軟兩様を使ひ分けて巧……國へ引張つてしまふ、今……の在留民締出しをやつた……の修民……親米派……アルデ……統領を……のアメ……からく……ることは明瞭だ、口に……を唱へるル大統領も、……ほとんど籠抜けの手を用……

地方だより

……族のホンニヤン……郞(?)キジリスカと……さん夫妻とその一男……ギリヤ……に與る……服部健氏……偉大數……1ク研……てゐたが……

けふ第一次大戰平和記念日

無理に築いた平和

英代表も不平の辭任

深井氏の思出

第一次世界大戰に平和の鐘が鳴つたのは大正七年十一月十一日——"平和來"と喜びもつかの間、あれから滿廿三年たつたけふ、世界は新秩序と舊秩序の陣營に分れて再び死闘を繰返してゐる、砂上の樓閣のやうなヴエルサイユの平和、譏多の矛盾だらけの敷石の上に無理矢理に「平和」が建設されたときすでに今次大戰の萌芽があらはれてゐたのだ、夫を戰場に失つた妻の涙がまだ乾かぬ日、父の顏を知らずに育つた大戰の子達がまた戰場にゐる「眠れる平和」が根こそぎに覆へされて新らしい秩序へ進軍ラッパが鳴つてゐるけふの記念日——パリ講和會議にわが經濟委員の一人として出席した前日銀總裁深井英五氏に會議の裏をたづねて見る——

僕等がパリの平和會議へ出發したのは大正七年の冬かな、ニューヨークで暮を迎へ翌年パリ着、ヴエルサイユ條約調印が六月だつた、僕は一人の經濟人として隨いて行つただけだよ——謙遜しながら例の精密な記憶を頭腦から取出す

平…和會議の中に當時すでに無理だなと思はれる底流があつた、その一つの端的な現れは、英國の代表の一人だつたケインズ氏のとだ、英國の經濟學者でたしか經濟顧問だつたケインズ氏は、ロイド・ジョージの信任も厚く、委員會では聯合國のために弁じて實に羽振りを利かしてゐたものだ、僕も委員會で同席したこともあるが、縱横に弁ずる姿は今でも印象に殘つてゐる、所がそのケインズ氏が委員を突然に辭めて國へ歸つて了つたのだ、聯合國側が戰敗國に押しつける條件がほゞ明瞭になつた頃のことだつたケインズ氏は「いくら何でもこんな條件は無理だ」と自ら反對しだといふことだつた、あれだけ聯合國側の立役者だつたケインズ氏が眞先に自國の要求を「それは無理だ」と突張つてロイド・ジョージと袂を別つたのだ、イギリスにも先見の明の人はゐる、辭任して國へ歸つたケインズ氏は、間もなく所信を綴つて一書を表はした『平和の經濟的影響』といふ有名な書物がそれさ、當時フランスではドイツのいつかは取戻す復讐を恐れドイツを再び起たせぬやうに平和會議で押潰さうと考へてゐたらしいし、イギリス人はまたドイツ人の加へた

損…害が甚大だからこれ位の苛烈な賠償も當然だといふ氣持だつた、それらに對して、經濟的な見地から「無理」と科學的に論じて、その恐るべき結果を敢然と世界に警告したものだこの本に動かされてといふわけでもあるまいが、アメリカの上院が講和條約に批准しなかつたそのためその一部にある國際聯盟にも加入しなかつたといふ事實もある、自ら提唱して出たウイルソン大統領の面目玉はこれで丸潰れだ、その問題でウイルソンは悶々として樂しまず病を得たともいはれてゐる——表面に出たこの事實だけでも雄弁にあの平和條約の土台を語つてゐるやうにも思へるのだ……

思出を語る深井氏（上）と木村氏

會議

當時の通員の一人……の事務連絡に携は……觸の多かつた元チ……キア公使木村鋭市……町の自邸で會議に……印象を次のやうに……世界一流の人物……大會議だつたの……は二十三年後の……りと浮んで來る……長クレマンソー……イルソン、英の……

榛原製

會議に踊つた三立役者

情味なく孤立のウイルソン

談の氏村木

を語る深井氏（上）と木村氏

藤原製

當時の議員の一人で、わが全權團の事務局長に擧げられた木村前市長氏は世田谷區赤堤町の自邸で會議に關つた當時の印象を次のやうに語つた

世界一流の人物が一堂に會した大會議だつたので、當時の印象は二十三年後の今日なほありありと浮んで來る、中心人物は勿論グレマンソーをはじめ米のウイルソン、英のロイド・ジョージ、佛のクレマンソーの三人、これに日伊を加へた五大強國が會議の鍵をとつた、ウイルソンは冒頭の演説ばかり唱へ「情味を缺いてゐる」ために、外國代表團とうまくビッタリ合はず、アメリカ全權團との仲さへうまく行かなかつた

內……外ともに孤立に陷り、此處にも原を出さざるを得なかつたウイルソン大統領の面目玉はこれで丸潰れだ、その間隙でウイルソンは悠々として樂しまず病をも得たともいはれてゐる——表面にあの平和條約の主旨を謳つてゐるやうに思へるのだ……

ロイド・ジョージは天成の政治家肌、愛嬌もあり機智に富んでゐるが、一向に勉強せず、その場その場で問題を處理するといふ行き方、それでゐて肝腎な出さかつたのは日獨にバルフォア外相がついたからだ、バルフォアは

○温……和で敎養高し、好紳士、自分より後輩であるロイド・ジョージを立てて、會議の纏れ合ひを一々纏めて行く手腕は大變だつてゐた、バルフオアがあつたからこそ英國は會議をいつもリードして行けたといへる、今度の世界大戰がも近し將來に平和會議に據かれると假定した場合、もちろん前大戰と役者も顏ぶれもがらりかはるが

○理……横濱のウイルソンとは正反對に現實派のルーズヴエルトやロイド・ジョージと同型の老練政治家チャーチルらを向ふに廻して、日本では誰が會議に飛出すか、ヴエルサイユの會議の經驗に學べば、クレマンソーのごとき吉男人で、バルフオアのごとく敏腕な外交家人、そしてセオドアー・ルーズヴエルトやムッソリーニにもらぬ押しの強さを兼ね備へた大人物をわが日本國野の中に求めねばならない、かゝる大人物の出現がいまの日本にとつてなによりも大切なのだ

老獪な籠抜け戰法

共和制米國の〝獨裁者〟

「國籍に」

移し、ちやんと武裝まで完了してしまつた、ところが十月六日パナマ大統領アリアス氏は米國の狡猾手段に憤慨して武裝解除のパナマ國籍船の武裝を取消すと發表、センセイションを捲起した、と云ふ譯は二日經つか經たぬ間に、パナマにクーデター勃發、親米派の巨頭であり、クーデターの首謀者がとつて代つて大統領にはキューバに逃れたラ・グアルディア新大統領は、來たわけだ

を失つた、殘る第二項即ち第三項とに關する中立法改正案が今度はまた上院を通過、下院に回付されたので、中立法はこれで全く骨拔きにされて了つたのだ

しかるにこれより先、米政府當局は、これまでに押收した中立國船舶や自國船舶百數十隻を搔き集め、全船をパナマ共和國の

獸性するや間髮を入れず九日には武裝商船の武裝撤廢しを改正する意向を發表した、更に翌十日には九大統領は『パナマの政權はパナマ憲法により行はれたものだから、新政權を承認するに何ら躊躇すべき理由なく、米國とパナマ共和國との親善關係は不變なり』と言明した

老獪な籠拔戰法が施行された譯は前項通りうまいものである、米國內で中立法の一項、商船武裝が同樣となつてゐる時、パナマ國籍船の武裝で獨拔け戰法を演じつゝ、一方中立法改正を目ろんで政府工作に力を注いでゐた矢先パナマ大統領の『自國船舶の武裝撤廢の命令』が飛び出し、獨拔け戰法の眼目の根こそぎに立つやと見れば、素晴しき手さばきへ

「荒療治」

のクーデターと

孤立アメリカ主義とやらで歐洲への指導を失つた中南米諸國を金儲けにし『自分のいふ事を聞けば資金はいくらまであげませう』といふ事を聞かねばこの通りだ』と兩の面とおかめの面の使ひ分けて巧みに自國へ引張つてしまふ、今度日本の後退政策はまさにラ・グアルディア大統領を使つてのアメリカのからくりである

ロに機會均等ばどんな鑄拔けの手を用ひるのである

×

また九大統領の獨法籠拔け戰略の一例は……九月はじめのグリーア號事件を發端としてなされた大統領の發砲宣言だ

米國では議會に宣戰の權利があつて、大統領は陸、海軍の最高指揮官として軍略、艦船の配置變更を行ひ得る權利を持つてゐるわけである

しかるに九大統領はこの權能を利用して、患者と稱する米艦との間に交戰狀態を生起せしめ『海洋の自由とかこれを擁護する爲に』海軍に

「發砲を」

も命ずる權利ありとか、『議會附會の說を主張しるとか、見事に獨法籠拔けをやつての

けたのだ

（附記）獨法の問題も明瞭だとあつさり片付け、獨法以上の軍事行動を行ひ、さらに絡例會議、絡例武裝と強み、さらに中立法改正で米國商船の交戰區域進入禁止も撤廢されようとしてゐるうえで『參戰知れたり』と卽斷を憐らせた舊びも『遽く水泡に歸するわけだ、要するに『ルズベルト大統領は獨法籠拔け戰法の名人』とか法律の籠拔け戰法の名人』といふことになる、今や米國は實質的に參戰狀態にあつても、行はれてゐる政治は最早議會政治でも民主政治でもなく、實質はル大統領の獨裁政治、議會も大衆も引き摺られてゐるとみるのが妥當であらう

……終……

北方だより

ギリヤーク北大

北大獨語學科敎授荒木良太郎氏がかねて樺太調査のためギリヤーク研究に從事してゐたが、今度岡田總督の招聘に應じ樺太廳學務課に嘱託として赴任することになつた（札幌）

朝鮮に梅の墨枝

全鮮囲碁選手權大會は、十年の歷史ある朝鮮囲碁界の春を飾つた第二十年乃至五月初旬から來年の三月まで札幌の北大構內に住はせて研究を續けることとなつた（札幌）

發砲を

も命ずる權利ありとか、『議會附會の說を主張しるとか、見事に獨法籠拔けをやつての

ことと（札幌）

落胆する名物樺太米

鳥取名物として知られた鳥取砂丘の砂川に植ゑつけた樺太米は、今年の夏の旱魃に會つて全滅の悲運に陷つた、十年の歷史ある樺太米がこんど片鱗も止めず全滅したことは、まことに落胆に堪へないとのことである（鳥取）

若槻、加藤、鹽野三種の墨蹟

工事費捻出のため、市が賣立てることになつた

敵性國に嚴然と對處
國策完遂決意披瀝
首相施政方針演說
士氣昂揚を強烈要請

來るべき臨時議會開催に當り東條首相の施政方針演說の內容は左翼を極める內外政局に一つの決定的な要素を與へるものとして廣く國內的な注視のみならず、ひとしく全世界より注視されてゐるところであるので、政府においても最善作成について愼重を極め、昨日內閣四長官を中心に關係各方面と連絡をとつて原案に盛らるべき重要內容を練つてゐるが、三日は祭日にも拘らず午前十時より書記官長官邸に內閣四長官會議を開き、鈴木企畫院總裁、谷正之內閣書記官長及び森山法制局長官の四長官の他、特に賀屋藏相、及び奧村情報局次長の出席を求め首相施政方針演說の草案內容および當面の重大時局に對する戰時經濟政策、國民の士氣昂揚等について約三時間に亙つて協議を遂げた、首相の施政方針演說の草案は今週中に閣議において決定する豫定であるが、右施政方針演說においては、わが當面せる內外の情勢、特に日米關係に重點を置いて、國際危局の實相を國民の心底に大膽率直に披瀝し、以て未曾有の難局突破に對する全國民的意志の凝結、全國民的士氣の興起について強烈なる要請を行ふことを主眼とするものであるが、これを具體的な骨子よりみれば大體次のごときものと見られる

一、國策遂行の新方針

支那事變處理とこれに關聯する大東亞共榮圈確立により世界平和の新しき再建設に寄與せんとするのがわが不動の國策であつて、この大目的達成のためには外交關係と交渉を繼續し、國內的態勢の基本としては敢然戰時の完璧なる一體を期して國防國家體制を完備し、この至高の戰時態勢をもつて敵性國家に對し斷乎たる態度を以て臨み、大東亞の自衞自存のため國策遂行に邁進する

一、日米交渉の眞相解明

去る八月二十八日の近衞メッセージ以來繼續の日米交渉は太平洋の危機打開に對するわが誠意の披瀝と關係各自重に反して、米國は飽くまで高壓的態度を固執し、對日壓迫を強化してわが國を脅迫、威嚇と宥和の首鼠兩端によつて時間的遷延を策し、以てわが太平洋における政治經濟的、及び戰略的地位の弱體化を招來せしめんと策謀しつつある

一、戰時態勢の完備

この觀點に對して帝國不動の戰時態勢を以て有事に臨むせんがため政府は今回緊急を要する臨時軍事費追加、增稅案、米穀增產對策等議案を提出、協賛を求めるが、政府としては強戰態勢の重要性樞たる行政機構の改革について必要なる改善に邁進すべく、また重要產業統制會を中核とする經濟新體制の確立、生產力擴充の重點的遂行、低物價政策の斷行、購買力吸收、食糧增產、治安維持等によつて國內戰時態勢を完璧ならしむる、さらにこの戰時態勢を基礎づけ服膺の大目的を完遂するため政府は大政翼賛會と有機的一體となつて、國民の再組織を強化し以て全國民の士氣を昂揚することに全力を傾注せんとするものである

ビルマ路確保に
英米躍起の工作
蔣側、頻りに〝危機〟放送

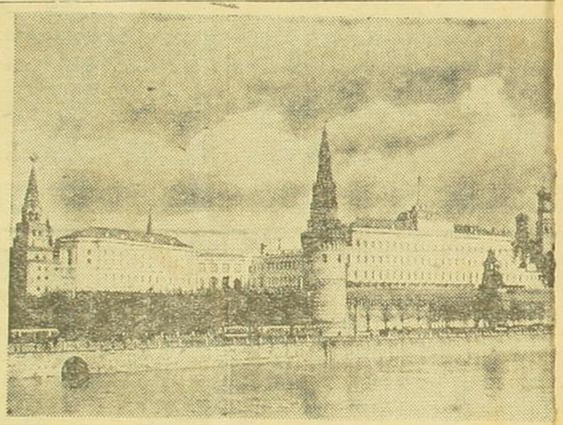
【香港特電三日發】新たに十一月十五日前後の東亞危機説を放送して見ざる脅威に瞰りつゝある重慶政權では、その最初の現れとして皇軍が南北から同時に重慶攻略の兵を進めるものと斷定してゐたが、先、意外にも皇軍が越州を經過し、既に明で關と國境した兩省行政專員ラヂモア氏は先週重慶に歸つて政治、交通關係のみならず、軍事の點までに立入り種々介石に進言してをり、關係も去らしてゐる、かゝる時ビルマ路一日

日本軍が雲南に來襲せば、全省軍民をあげて最後の一人まで抵抗し斃ける決意である、しかし雲南省は万山重疊として攻略軍は必敗を免れ難いであらうと表明し、また重慶政權でも「ビルマ路の保護にはいかなる犧牲をも惜しまぬ」と揚言してゐる

自衞權發動に關聯し、雲南兩省の兵備を觀察中であるが、アメリカの軍事代表團の一部も十月下旬ビルマ路視察に赴き、特に空山飛行場施設を詳細に檢分してゐる

また重慶の軍事委員會機關紙掃蕩

ムリン宮殿
ーの到着を待つ
の大轉換ぶり



モスクワ脫落も時間の問題だ、既に政府機關は分散移轉してしまつたが、スターリンは既にクレムリンを出でて市民と兵士だけが今モスクワ死守を命ぜられて居る、併し續々と迫つて來るドイツ軍は既に十里の地點にあり、その長距離砲はモスクワ市內に落下し始めた、今は主なき敵國なクレムリン宮殿が徹底に包まれてゐるが、やがてはボルシェヴィキ・バラータ）で一五スターリンに替はつて乘り込んで來ることも極めて近い日であらうことが想像される

九二年完成した、これが角宮（クラノヴィタヤ・バラータ）で一五〇八年ヴァシリー三世の時その城○八四九年コンスタンティン・トーシの設計によつて成り長さ二米、高さ二八米周圍及び厚さ

シア陸軍の敗勝を記せんが爲めに用ひられたもので四壁の壁は多數の大理石板によつて敵國に偉勳を樹てた敵將名とその設置年月、學ゲオルギー勳章受賞者の名が金文字で書き出されて居る、天床には二千二百本の蠟燭を立て得る六個の吊燭台が飾つてある

△

その他アレクサンドルの間はかつての玉座のあつた所、今は全露邦中小執行委員會及びにロシア共產黨中央委員會の會議場となつてをり、玉座はそのまゝ議長席となつて居る、また千六百キログラムもある青銅製の大燭台のあるウラヂイミルの間があり、これを通り抜けると前記宮殿へ通ずるのである

その他武器庫は勿論大戰物品たる銀の寶器の數々は世界無比であらうとにかくこれだけの大宮殿も間もなくヒットラー總統によつて世界に向つての歷史的放送の宮殿となることも近い日であらう

この建物は部は大小の寶七百餘、

社説　航空發動機

それが幸ひに實用に適するまで完成せられた暁において、やうやく製造會社においてこれを採用するといふやうな例も少くないが、かくる理想的な方法をもつてして、これと並行して、製造會社の試作機關もまた、自らの工作能力を十分に活用し、そして自個の基礎的研究または構想を立ちどころに試作に移して、これを實用化するに推進方法を實現して見るとか、その他アレクサンドルの間はかつての玉座のあつた所、今は兵器部中央執行委員會ならびにロシア共産黨中央委員會の會議場となつてをり、玉座はそのまま議長席となつて居る、また千六百キログラムもある青銅製の大燭台のあるウラヂイミルの間があり、これを通り抜けると前記角間へ通ずるのである

その他武器庫は現在大砲物語で武器のみならず歴史的價値ある銀の寶器の藏集は世界無比であらうとにかくこれだけの大宮殿も間もなくヒットラー總統によつて世界に向つての歴史的所産の宮殿となることも近い日であらう

敵性國に嚴然と對處
國策完遂決意披瀝
首相施政方針演說
士氣昂揚を強烈要請

來るべき臨時議會開催に當つて東條首相の施政方針演說の内容は果斷を極める内外政局に一つの決定的な聲明を發するものとして單に國内的な視角のみならず、ひとしく全世界より注視されてゐるところであるので、政府においても眞劍作成について愼重を極め、去る日内閣四長官を中心に關係各方面と連絡をとつて原案に盛らるべき構想内容を練つてゐるが、三日は祭日にも拘らず午前十時より書記官長官邸に内閣四長官會議を開き、鹽野書記官長、鈴木企畫院總裁、谷情報局總裁及び森山法制局長官の四長官の他、特に賀屋藏相、及び東村情報局次長の出席を求め首相施政方針演說の草案内容および當面の重大時局に對する戰時經濟文策、國民の士氣昂揚等について約三時間に亘る大東亞共榮圈確立により世界平和の新しき再編成に參與せんとするのがわが不動の國策であつて、この大目的達成のためには外は關係諸國と交誼を篤くし、國内的には擧國一體を期して國防國家體制を完備し、この至高の戰時態勢をもつて敵性國家に對し斷乎たる態度を以て臨み、大東亞の自衛自存のため國策遂行に邁進する

日米交渉の眞相解明

去る八月二十八日の近衛メツセージ以來繼續の日米交渉は太平洋の危機打開に對するわが誠意の披瀝と對米自重に反して、米國は飽くまで獨善的態度を固執し、對日包圍陣を強化してわが國を壓迫、威嚇と宥和の首鼠兩端によつて時間的遷延を策し、以てわが太平洋における政治經濟的、及び戰略的地位の弱體化を招來せしめんと策謀しつつある

一、戰時態勢の完備

この觀點に對して國内不動の戰時態勢を以て有事に即應せんがため政府は今回緊急を要する臨時軍事費追加、增稅案、米穀增產對策等の諸案を提出、協贊を求めるが、政府としては強靱態勢の重要骨格たる行政機構の改革については從來なる改善に滿足すべく、また重要產業統制會を中核とする經濟新體制の確立、生產力擴充の重點的遂行、既物價政策の强化、購買力吸收、食糧增產、治安維持等によつて國内戰時態勢を完璧ならしむる、さらにこの戰時態勢を基礎づけ擧戰の大目的を完遂するため政府は大政翼贊會と有機的一體となつて、國民の再組織を强化し以て全國民の士氣を昂揚することに全力を傾注せんとするものである

ビルマ路確保に

日本軍が重慶に來襲せば、全省軍民をあげて最後の一人まで抵抗し續ける決意である、しかし

關滿支輸出許可追加

八月中旬の發表をもつて、日本側また

クレムリン宮殿
ヒトラーの到着を待つ
歴史の大轉換ぶり

モスクワ陷落も時間の問題だ、既に政府機關は分散移轉してしまつたが、スターリンは既にクレムリンを出でて市民と兵士だけが今モスクワ死守を命ぜられて居る、併し刻々に迫つて來るドイツ軍は既に十里の地點にあり、その長距離砲はモスクワ市内に落下し始めた、今は主なき華麗なクレムリン宮殿が硝煙に包まれてゐるが、やがてはドイツ國防軍總帥たるヒットラー總統がスターリンに替はつて乘り込んで來ることも極めて近い日であらうことが想像される

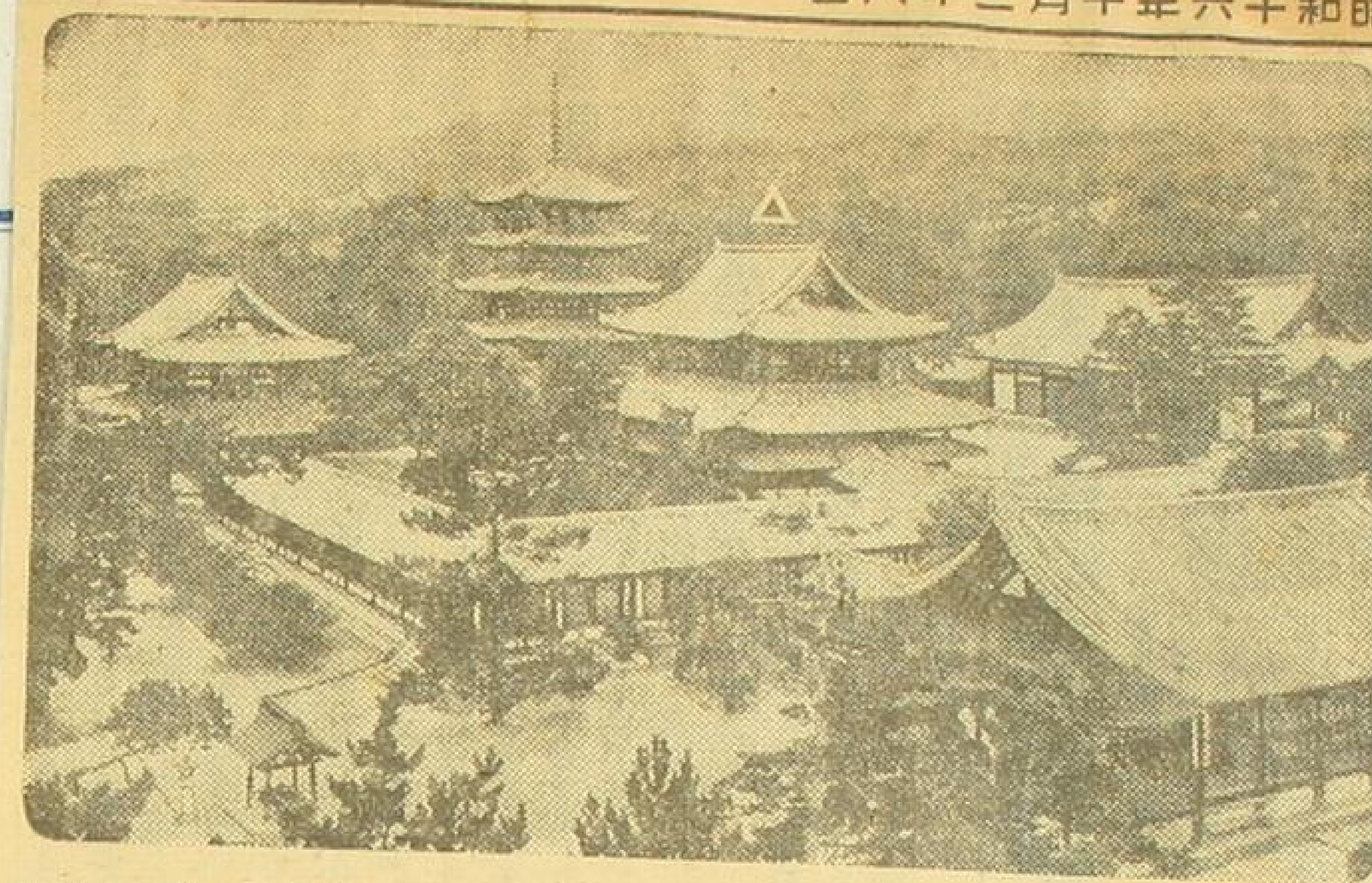
さてこのクレムリンは昔イヴアン三世の時伊太利人技師マルコ・金色の圓屋根が幾もロシアの支配者ラシューによつて造營され、一四の鐘樓を有る、この建物は一

その輪廓の美は世界でも著名なものである、殊に有名なのは彌ゲオルギーの間で、幅十九米、奥行六十二米、高さ十七米、柱數十八、螺旋階段十四でこの大廣間は帝政ロシア陸軍の戰勝を記せんが爲めに用ひられたもので四壁の壁は多數の大理石板によつて戰勝に關係を有てた戰場名とその設置年月、勇ゲオルギー戰勝受勳者の名が金文字で書き出されて居る、天井には二千二百本の蠟燭を立て得る六個の吊燭台が飾つてある

△

九三年完成した、これが伽宮（クレムリン）で一八四九年コンスタンティノヴイタヤ・パラータ）で一五〇八年ヴアシリー三世の時その城壁、高さ二八米周圍及び厚さ六米に對する

日曜



論争の的、大和法隆寺の全景（△印が問題の金堂）

法隆寺は"非再建"

若草伽藍址にうごかせぬ證據

足立博士　論争四十年の結論へ

足立康博士

世界唯一最古の木造建築として、また古くは飛鳥、白鳳、天平から降つて藤原、鎌倉、室町と各時代にわたる卅一棟の國寶建造物を擁する大和法隆寺は、明治卅八年以来記録を由緒とする東北、京都両帝大講師故喜田貞吉博士以下の歴史家によつて『法隆寺は雷火に遭つて焼失し再び建てられたもの』とする再建説が述べられ、これに對し東大名誉教授故關野貞博士以下建築形式に力點を置く建築學者からは『法隆寺は昔のまゝのもの』とする非再建説が主張され、両派の權威の論争は當時の學界を震動せしめて両博士の歿後もこの論争は卅七年間の長きにわたつて両派の間に續けられてゐたが、今回關野博士の愛弟子日本古文化研究所員足立康博士は再び若草伽藍址の發掘によつて得た新證據を掲げ『法隆寺はあくまで非再建である、今回の發掘によりこの問題を解決した』と宣言、學界の注目をひくにいたつた

若草伽藍址の發掘は昭和十四年十二月着手されその結果金堂及び塔婆の遺址が發見された、これらの遺址は建物基壇の地固めの存在によつて推知されたのだがその大きさは塔婆に關するものは方五十一尺、金堂に關するものは正面が七十二尺、側面六十八尺でこれから推算すると少くとも塔婆は最大徑九尺余に及ぶ巨大な心礎があるから現在殘つてゐる法隆寺塔より大きくそれに伴ふ金堂もまた現金堂より大きかつたと見られ、また塔婆と金堂が前後に並び四天王寺式配置を示し、伽藍中軸線が北から約廿度西に偏してゐること、出土軒瓦は百濟系である單瓣式蓮花文軒丸瓦と古式の忍冬唐草文軒平瓦であつたことから博士が推定してゐたやうに『若草伽藍址は用明天皇御願の遺址である』ことが裏書されたのである、足立博士は語る

『我々は以前から法隆寺には二つの部分——二つの寺院といふ意味ではない——がなくてはならない、それは用明天皇の御ために鑄造された藥師像を安置す

榛原製

法隆寺は"非再建"

若草伽藍址にうごかせぬ證據

足立博士 論爭四十年の結論へ

足立康博士

古の木造建築として、また古くは飛鳥、白鳳、天平から降つて藤原、鎌倉、室町と各時代にわたる卅一棟の國寶建造物を擁する大和法隆寺は、明治卅八年以來記録を重視する東北、京都兩帝大講師故喜田貞吉博士以下の歴史家によつて『法隆寺は雷火に遭つて燒失し再び建てられたもの』とする再建説が述べられ、これに對し東大名譽教授故關野貞博士以下建築學者からは『法隆寺は昔のまゝのもの』とする非再建説が主張され、兩説は當時の學界を震動せしめて兩博士の歿後もこの論爭は卅七年間の長きにわたつて兩派の間に續けられてゐたが、今回關野博士の愛弟子日本古文化研究所員足立康博士は再び若草伽藍址の發掘によつて得た新證據を提げ『法隆寺はあくまで非再建であ

掘によりこの問題を解決した」と宣言、學界の注目をひくにいたつた

和十四年十金堂及び塔これらのの存在にその大き方五十一正面が七十二尺、側面六十八尺でこれから推算すると少くとも塔婆は最大徑九尺余に及ぶ巨大な心礎があるから現在殘つてゐる法隆寺塔より大きくそれに伴ふ金堂もまた現金堂より大きかつたと見られ、また塔婆と金堂が前後に並び四天王寺式配置を示し、伽藍中軸線が北から約廿度西に偏してゐること、出土軒瓦は百濟系である單瓣式蓮花文軒丸瓦と古式の原始忍冬文軒平瓦であつたことから博士が推定してゐたやうに『若草伽藍址は用明天皇御願の遺址である』ことが裏書されたのである、足立博士は語る

「我々は以前から法隆寺には二つの部分――二つの寺院といふ意味ではない――がなくてはならない、それは用明天皇の御ために發願された藥師像を安置すべき根本の伽藍と今一つ聖徳太子の御ために發願された御等身の釋迦像を安置すべきいはゆる釋迦堂があつた、そして現に太子御等身の釋迦像を本尊とする今の金堂の一郭を太子の御ために營まれたものと認めるから用明天皇御願は他に求めねばならず理論上若草伽藍がそれでなくてはならぬ、つまりこれこそ雷火に遭つて燒失したもので今の金堂は千三百年前のまゝだと主張して來たのです、今回の發掘で

一、四天王寺式配置は飛鳥時代伽藍の根本配置形式である、從つて推古天皇初年に計畫された用明寺の配置も當然この形式であるべきでこの意味で若草伽藍址が四天王寺式であることは理にかなつてゐる

二、發掘された單瓣式蓮花文、原始忍冬文であることはこの伽藍の造營年代が釋迦堂一郭のそれより古いことを示してゐる

三、伽藍中軸線が廿度偏つてゐるのは飛鳥前期や奈良時代の伽藍にはあまり見ない、このことは未だ伽藍南面制が普及しない以前の計畫に係ることを示すものである

等の理由から若草伽藍址は用明天皇の御ための伽藍であることは疑ふ余地もなく再建非再建論爭に止めをさした發掘だと確信します」

大壁畫模寫に痛手

過勞の畫伯・次々に病む

奈良法隆寺の金堂内に、今を去る千余年前白鳳時代の燦然たる藝術をそのまゝに傳へる十二面の大壁畫模寫事業が昨年九月荒井寛方、中村岳陵、入江波光、橋本明治の四畫伯以下斯界の權威十二氏の手によつて着手されてからすでに一年余、二ケ年計畫の半ば以上が過ぎた今日この聖事業が、畫家の病氣、あるひは辭退によつて一[illegible]を來し、關係當局者の談によれば『何時完成するかわからない』といふ心細い狀態にたちいたつてゐる模寫事業は十二面のうち八面を前記十二畫伯に委囑してはじめられたが、仕事が仕事だけに中村岳陵氏は無理が過ぎて病ひに倒れ、荒井班の一員として最も個性的な仕事振りを示してゐた森田沙夷氏はこれまた病氣のため正式に辭退をしたと傳へられて、前途に暗影を投げかけてゐた折も折、またく橋本明治氏が病氣となつて筆を捨てるのやむなきにいたつた、今日までのところ模寫事業はまだ八壁のうち三割程度の進捗しか見せてをらず、完成した面は一つもなく、未着手の四面を擔當する畫家も全然あてがない有樣で、かくの如く模寫事業が暗礁に乘りあげた原因は出來高拂ひといふ擔當畫家の待遇問題ともみられてゐる

某畫伯談 『さういつてはどうかと思はれますが、私生活をなげうつて仕事に沒頭するだけの十分な報酬が約束されてゐる譯ではなく全く不安定な狀態です、病氣をされた方々も出來高拂ひといふ制度に原因してゐるのではないかと思はれます、後任の見つからないのもそのせゐではないでせうか」

遺書に床し心根

軍國女教師と慰問袋

故加藤壽美子さん

廿七日午後海軍省恤兵部を訪れた一紳士が金千円を國防獻金に金七百円を恤兵金にと差出した、この紳士は埼玉縣大宮市大宮町三、一一〇會社員近藤行平氏で同氏の言葉から次のやうなうるはしい軍國

おさつ

おさつの出廻り時なのに肝心のおさつは一般家庭を素通りして燒いも屋へ流れ、燒いも屋は代用主食の原料として流してゐるといふ實情にあるので東京市中央卸賣市場では一般家庭へうまく配給するため廿七日日本甘藷馬鈴薯會社、

榛原製

今ぞ皇國興廢の關頭
我海軍は健在なり
平出大佐講演 日米間の危機力説

大本營海軍報道課長平出英夫大佐は十五日京都市公會堂で開かれた時局懇談會で國際關係を説明し緊迫してゐる太平洋の情勢を率直に訴へて國民の重大覺悟を要望した、とくに日米關係が政府當局必死の努力に拘らず最後の岐路に近づいたことを警告すると共に、帝國海軍は、いよいよ健在にますます強力となつて最悪に對處する準備を完了、いまや、まさにその『本來の使命』につくべきことを強調して講演を結び日米關係に關する海軍當局の見解と決意とをこゝにはじめて國民の前に明らかにしたので大いなる感銘をまき起した、大佐の講演の中で注目すべき点は左の如くである

一、米國が、援ソの代償を獲得した場合は日本に對して重大なる影響が及んでくる一、しかしソ聯は、日本を敵に廻すことを避けてゐる一、米海軍がアイスランド、英本土間の水域に護送制を敢行した場合は、日米關係に影響がおよんでくる一、日米が干戈相見えるときには、先づ通商破壊戦と國土空襲とが行はれるだらう【寫眞はきのふ京都市公會堂で講演の平出大佐……大阪本社電送】

スターリン政權首腦部は既にモスクワ放棄の意思を示してゐると傳へられる、モスクワ陥落後のドイツはイラン、イラク、シリア方面から南下、スエズ攻略を目指す可能性が多い、ドイツはすでに大部隊をブルガリアに集結してゐるといひ、英國もその海軍力によつてエヂズ死守に懸命となるだらう、スエズ攻略成れば英國は國内物資補給に必要な千二百万トンの船舶が輸送力低下のため、一擧數百万トンを喪失と同様の結果となり、非常な窮乏に陥らざるを得なくなるだらう、モスクワから逃げ出したスターリン政權は國内物資の七割を失ひ、弱体化は免れぬ、その後の見通しについてドイツの見解を紹介すると、ソ聯の政權はいくつかに分れ、いよいよ弱体化するとしてゐる

モスクワ會戦による英米の援助といつてもアメリカが英國に今まで送つてゐた物資の一部を送るにすぎず、大したことではない、以上はいづれもドイツ側の情報によつたがそれはソ聯が「戦線に異状なし」といひながら戦線はいつしか數百キロも後退してゐるやうでは判斷の資料にならぬのに反し、ドイツ側の情報は余程正確であるからだ

アメリカはソ聯援助に對し必ず代償を求める、その代償が日本に取つていかなる結果を生ずるか豫斷を許さぬ、今のソ聯は西に生命のやり取りをしてゐる最中、さらに東に日本といふ大敵をつくりたくはないといふやうな態度に出てゐる、勿論日本としては……

獨米關係はアメリカの援英がひどくなりアイスランド、英本土間の水域に米艦護送を敢てやる場合に決せられはせんだらうか、かゝる場合にドイツはこれをも中立國軍艦として見逃しイギリスの立直りをゆるすか否か大いに疑問なきを得ない、必然的に日米間に影響を及ぼす、アメリカは兩洋作戦不可能な現勢力を以ては、國防上不安を感じ、海軍の大軍擴をやつてゐるが、現在ではなほ太平洋、大西洋の兩洋作戦は出來かねる、しかも聖戦四年にして帝國海軍はいよいよ健在であり、ますます強力になりつゝある、かゝる結果が日米間に戦争は避けられぬだらうかといふ氣運を生じた、かゝる情勢下にわが海軍は常に最悪にそなへ今や準備全くなり充實し盡した、兩腕は唸りを生じてゐる

日米が干戈相交へる場合、太平洋上では一部艦隊による通商破壊のゲリラ戦と國土の空襲が行はれるだらう、ＡＢＣＤ包圍網はこのために備へるところが大いにあると思ふが、何分根據地から距離が遥隔であるためかゝる状況を呈する、近距離から放たれる爆撃機にしてもわづか〇〇機に過ぎず、また通商破壊にした所で現在のドイツがイギリス艦船を撃沈してゐる量の何分の一かの損害を與ふるに過ぎぬと見ねばならぬ、政府當局必死の努力に拘らず今こそ最後の岐路に近づいた、皇國の興廢まさにこの時にありわが海軍がその本來の使命に就く時こそまさにかゝる際である

首相政務奏上

近衛首相は十五日午後三時五十五分宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ一般政務に關し委曲奏上、種々御下問に奉答、同五時五十五分退出した

官邸に招致、一時間余にわたり會[illegible]

[illegible]時[illegible]分まで政務を[illegible]て辭去

次いで首相は宮中に參内、政務奏上の後再び木戸内府と會談、首相官邸に歸つたが、一方鈴木企畫院總裁は四時二十五分宮中において木戸内府と懇談をなし、ついで六時三十分首相官邸に首相を訪問、當面の重要問題に關し再び協議を遂げ、七時五十分辭去した

東京日日新聞 號外
編輯兼發行兼印刷人 相馬基
東京市麹町區有楽町一ノ一ノ三 東京日日新聞發行所
昭和十六年十月十六日

近衛内閣總辭職す

近衛首相はこの際内閣總辭職を決意し、十六日午前午後にわたり全閣僚を招致して決意を表明、全閣僚の辭表を取りまとめ、午後五時三分參内 天皇陛下に拜謁仰付けられ、闕下に辭表を捧呈した、なほ午後八時より臨時閣議を開き辭表捧呈の旨を報告した

朝日新聞
東京
發行所 朝日新聞東京本社
東京市麹町區有樂町二丁目三番地
電話代表番号 丸ノ内（23）一一一一〜一一一
振替口座 東京一七〇三〇
編輯發行人 印刷人 本社 印
新聞定價 一ケ月 金一円二十錢（市内配達料共）
同上外國 金 四 円 金一円三十五錢
廣告料 五號十五字詰一行 金一円七十錢 指定日一行 金五十錢以上
週刊朝日 アサヒグラフ 同海外版 アサヒスポーツ 航空朝日 婦人朝日 コドモアサヒ アサヒカメラ 縮刷版（東京）

現地に聴く獨の大勝

本社伯林國際電話

赤軍を完全に制す

ソ聯の恃みはゲリラ戰

デイトリッヒ獨新聞長官は九日『對ソ戰は一段落を告げた』旨の重大聲明を行つたが、この聲明によつて獨ソ戰はいよ〳〵最終段階に達したといふ印象を受ける、今後の獨側作戰の目標、その欧洲全戰局に與ふる影響等につき、本社は十日午後七時（日本時間）守山ベルリン特派員より國際電話を通じ、左の如くドイツ側の見解を聽取した

守山特派員

本社 デイトリッヒ新聞長官の『對ソ戰線は一段落した』といふ九日の聲明の意義はどうか

守山特派員 デイトリッヒ聲明のなかで一番重要なのは、ヒットラー總統が、冬が來る前に赤軍をやつつけて抵抗力をなくすると兵に告げる布告を發表したが、その作戰が目下進行中であり、必ずこれは成功するといふことを約束した譯だ、そしてこの冬が來るといふのは、こちらの考へでは十月いつぱいから遲くても十一月十日ぐらゐまで、今後三週間の間であつて、デイトリッヒ長官もいつてゐるやうに、赤軍の抵抗力をなくするといふことができなければ、獨軍の面目問題になるわけだ、時間的に戰況を報じたやうなことは從來絶對見られなかつたが、今度はさういふことをやつてゐるところを見ると、相當確信をもつてやつてゐると思はれるが、實際戰況の方も、ドイツ側がいつてゐるやうに約六十個師團といふ多數のソ聯軍に對し、全面的に二つの円の中に包圍してゐる

赤軍百五十萬を捕虜

獨軍はビヤリストック、ミンスク、キエフとやつて來て二百五十万も捕虜にしてゐるが今度のやり方から見て、包圍した赤軍の百五十万ぐらゐは捕虜にすると思ふ、赤軍は度々獨軍の包圍線にひつかゝつて大きな損失をやつてゐるが、これは赤軍が非常に大きな兵力を前線へ狩立てゝ、ドイツ軍の眞正面に集結させ第一線、第二線、第三線陣地をやらずに、全兵力をあげてドイツ軍を食止めようと必死になつて最前線へ強力な兵力を集めたためで、ドイツ軍がそれを突破することによつてまんまと包圍線にひつかゝつたので、全兵力を前線に集中したことは、赤軍の今度の戰爭で大きな失敗だつたとドイツ軍當局ではいつてゐる、また獨側ではモスクワを占領することは必ずしも必要ではないといつてゐる、赤軍の抵抗力がなくなればソ聯のどこへでも行けるわけで、モスクワへ入れないといふことはないわけだが、もしモスクワの前面で對峙戰になつたりすると、獨側の聲明と違つた状態になるから、何としてもモスクワを占領しないと獨軍としても納まらぬといふところだ

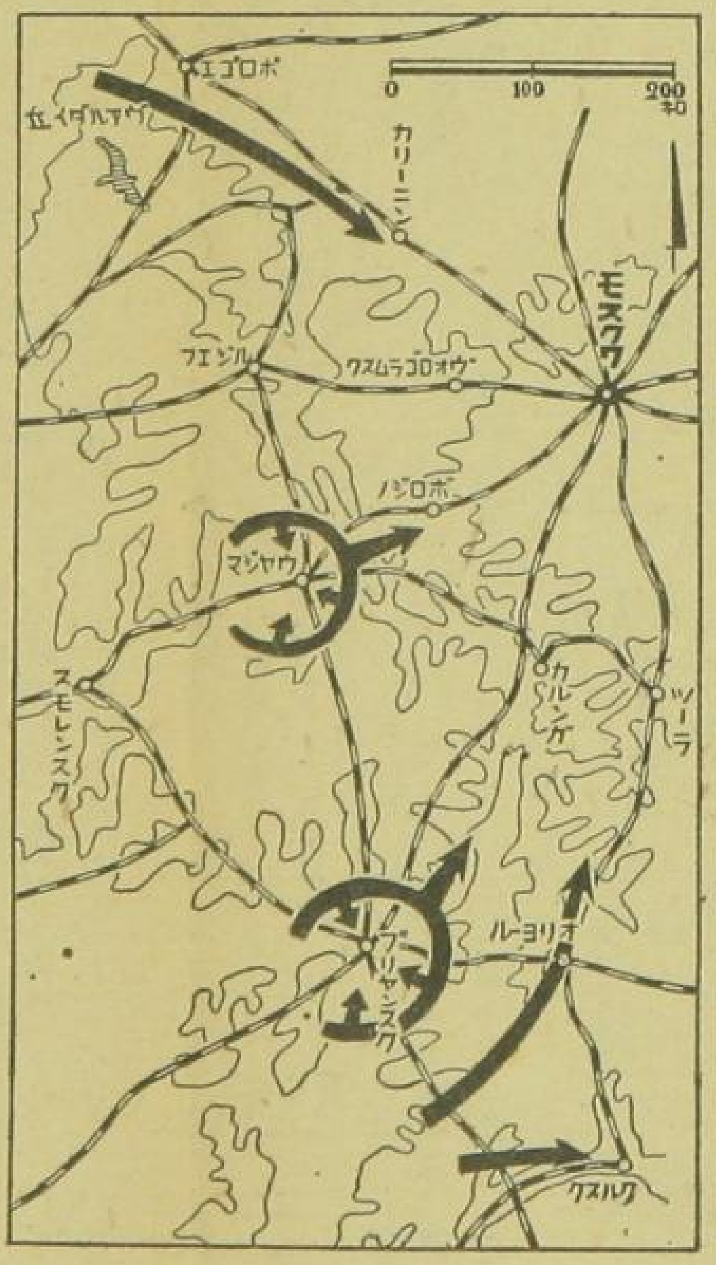
戰況に關する限りデイトリッヒ長官のいつてゐることは恐らく本當だらうと思ふ、モスクワの前面にドイツが持つて行つてゐる兵力および機械力、空軍はちよつと想像ができないほど、實にガッチリした大部隊の兵力を動員してをり、レニングラードなどとは比較にならぬやうな激しい遣り方で、徹底的にやつてゐるといふ印象を與へてゐる、ドイツの新聞はデイトリッヒ長官の聲明にいろ〳〵な註釋を加へてゐるが、その中心は今後數十年間にソヴエトの國防軍といふものはドイツを脅威するやうな強力なものにはならない、數十年間東方の脅威はなくなつたといふことをいつてゐる

獨ソ戰の判決下さる

もう一つドイツの各方面が強調してゐることは、今度の新しい作戰で對ソ戰の判決が下つたといふことだ、この判決といふ意味は、ソ聯の國防軍が完全に抵抗力を失ふといふ意味であつて、全軍が解消してしまふことではない

たとへばポーランド戰の時に、開戰以來十八日目に對ポーランド戰の判決が下つた、戰爭が決定的なものになつた、しかし十八日以後にも敵の抵抗はあつた、さういふ抵抗は小部隊があちこちにバラ〳〵になつてゐて、組織を失つて抵抗をしてゐるのであつて、なんら脅威とはならない、今度の對ソ戰でも、この新しい作戰がこゝ一週間後、あるひは少々おそくて十日間位に二個所で包圍した六、七十個師を殲滅すると、その後には各所に敗走する敵が、小さな武器を持つて抵抗することはあり得るから、この冬中も戰爭は續くであらう、しかし大きな部隊の大會戰といふものはもう東方にはない、これが最後であるといふことをいつてゐる

大体今のところでは新らしい作戰がドイツの思ふやうにうまく行つて、モスクワを占領してもさういふ局部的な小さな掃蕩戰のやうなものは恐らく來年の春頃までかゝる、つまり大局的には對ソ戰は今年中に終るが、局部的には來年も續くであらうといふのがドイツの見方です



本社 デイトリッヒ聲明の第三國に對する意義といふものはどうか

本社 デイトリッヒ聲明の第三國に對する意義といふものはどうか

守山 第三國に對しては、勿論ドイツはずつと沈默してゐたが、ソ聯側にいはせれば、ソ聯がやつつけたといふニュースが多かつた、だがドイツ側にいはせれば、つまりこの戰爭は眞理と僞の戰ひだ、事實をもつて世に問ふのだといつて意氣込んでやつてゐた

兵站線の確保に自信

本社 ドイツ側はモスクワはいつ頃陥ちると見てゐるか、英の方では本年中は陥ちない、また兵站線が長いから後方との連絡を保つことが非常に難かしいぢやないかといつてゐるが——

守山 兵站線を脅かされることはないと思はれる、今度の作戰でモスクワを包圍して、赤軍を殲滅したとしてもソ聯は後備軍を持つてゐるから結局レニングラードと同じやうな戰況が豫想される、故に獨軍はレニングラードに對してとつてゐるやうな消極的戰法でなしに、グン〳〵積極的に力でモスクワを占領しようと努力するだらうと思ふ、モスクワがいつ陥ちるかは戰闘にはわからない

本社 一部ではコーカサスを攻略するのが獨の眞の目標だといふやうな見方があるが——

守山 しかしモスクワを包圍せず、モスクワ方面の後方を開け放しにしておいてこの冬を越すといふ手はないと思ふ、コーカサスは冬でも戰へるのだから、あるひはやるかも知れないが、しかし大きな作戰ぢやないと思はれる

コーカサス戰も併行

本社 モスクワと同時にコーカサスをやることもできるか

守山 獨は十分兵力をもつてゐるからそれはやるだらう、今獨軍はど…

対ソ…

本社 レニング…
守山 獨側は…全に封鎖して…つてゐるとい…いふのが眼目…ングラード戰…のところで…てゐる状態…

本社 ソ聯軍を…
守山 それはヒ…ー總統が今…戰ひであると…としては徒ら…張ではない、…イツは對ソ作…交渉をや…ちやない…

本社 デイトリ…
守山 ドイツの…どうなるのか…

中部で五百キロ…

獨、三ヶ所で…

【ベルリン特電十日發】獨軍司令部十日發表＝
中部戰線において獨軍が敵陣を突破せる幅は五百キロに達し、目下獨軍は敵領土の東方深く突入しつゝあり、交通の要衝オリヨール市はすでに去る十月三日以來獨軍の占領下におかれてゐる、ウヤジマ、ブリヤンスクおよびアゾフ海岸の三ケ所において、赤軍に對する包圍網は九日さらに縮小された

【モスクワ特電十日發】十日ソ聯情報局は全線にわたり激戰展開、特にウヤジマ、ブリヤンスク兩方面で激闘繼續中であると發表した

【ニューヨーク特電十日發】十日ロンドンの權威筋は獨軍がアゾフ海北岸に沿ふメリトポリ、ベルジヤンスク、マリウポリを占領したことを認めた、因に獨軍司令部は去る七日の發表においてベルジヤンスクとマリウポリの陥落を發表したが、メリトポリの名は擧げてゐない

特に十日附ソ聯…中部戰線にお…北方で獨軍の…の中部各地區…失敗した…と傳へてゐる…しい武器と…に繰出してゐる…先に獨軍の大包…聯軍は各所で包…軍に大損害を與…ヤンスク兩地區に…少くとも一万五…を出した

包圍網を脱出

ソ聯側宣傳

【ニューヨーク特電十日發】モスクワよりの諸報道は中部ならびに北西部兩戰線のほとんど全線にわたり、赤軍は依然として獨軍の進撃を阻止してゐると傳へてゐる、

“危機切迫す”

ソ聯…叫…

【モスクワ特電十日發】十日イズヴエスチヤ紙はその論説欄においてソ聯の重要工業中心地に重大なる危機が迫つてゐる旨をふたたび強調し、左のごとく述べてゐる

敵において勝つてゐる敵軍は數ケ地點においてわれ等の防備部隊の中に楔を打ち込んでゐる、戰闘は刻一刻激烈化しつゝある獨軍は全線で甚大なる損害を蒙つてゐるが、それにも拘らずソ聯軍壓迫に成功してゐる、ソ聯兵士は今やソ聯國土の寸尺を守るべく血を流し、生命を捧げて戰闘を行つてゐる

と國民に愬へてゐ…

英の焦…

【ニューヨーク…】…界筋情報によれ…ンウエル下院議…聯の軍事情報に…の議會において…院に要請したと…し政府筋ではシ…請はチャーチル首…對する一般の批…となり、この結…およびその他の…行はれるのでは…

前進する事變處理方策

國民の確信は不動

目的貫徹に躊躇許さず

汪精衛氏の國民政府との間に日支條約が締結されたのが昨年十一月末、あと二箇月足らずで早くも一周年記念日を迎へようとしてゐるこの國交調整條約は當時日滿華三國の代表によつて発せられた『日滿華共同宣言』とともに支那事變の激しい推移のなかにあつて、たしかに一轉機を畫した歴史的な意義をもつものであつた、なるほど事變そのものは支那の奥地に逃避し、經濟國家群に全的に依存しつつ、なほも長期抗戰を叫びつゝある重慶政權の存續してゐる以上、いかなる意味においても、本質的な轉換を見たものではなく、抗日政權と抗日軍隊を潰滅せずにはおかぬわが断乎たる武力行動は、依然として事變勃発當時の情勢と同じでありこの點些かの變化もない事變は いかなる意味においても終熄的な轉換を見たものではない、武力行動こそ事變の眞實の姿であることに何らの變りはないのである、しかしこの事變の眞實の性格から離れ、東亞の新たなる事態に覺醒して起つた新國民政府との間に、日支兩國百年の永久的な基本關係を律したといふ點において、この日支條約の調印はまさに東亞の歴史において、消すことのできぬ歴史的轉換断行であつた

事變は何時の日にその本質である武力的性格をなくするかわからない今日の情勢であるが—それはまた當時の情勢でもあつたが—しかも事變完遂の『途』における、日支兩國關係の基本が設定されたといふ意味において、世界に對する國民的確信の吐露であつた、この條約に示さるゝ精神と兩國の基本關係は、わが國民として断じて完遂せずにはおかぬ國民的信念の表現以外の何ものでもなかつたのである、この歴史的な記念日をやがてむかへんとする今日の世界情勢において、わが同胞が血をもつて今日なほ大陸において戰ひつゝある支那事變に對する處理方策を回顧しつゝ事變の意義を省察することも意義なしとしないであらう

日支基本條約の重點

昨年の日支條約は善隣友好、共同防共、經濟提携を相互に確認しつつ東亞の新秩序を宣言した日滿華共同宣言のほかには

（一）日華の基本關係に關する基本條約
（二）附屬議定書
（三）全權委員間の了解事項

からなる三内容をもつものである、基本條約は第一條の善隣友好を根本精神とする日支間の政治、外交、教育、宣傳の領域における友好的な永久關係、第二條の文化提携に關する日支の精神的な關係の規定に始まつてゐるが、基本條約の重點をなすものは何といつても第三、四、五の三箇條に規定された日本軍駐屯に關する規定と、第六條に詳細に規定された日支經濟上の特殊緊密關係の設定に關する取極めであつて、第一次近衞內閣における第一次、第二次聲明の重點をなすものであつただけに、いかなる妥結に到達したかは當時もつとも注目されたものである

このうち、日本軍の駐屯をめぐる原則では第三條の冒頭において、防共の基本約定が規定された後

（一）日本軍は防…め『蒙疆およ…域』において…すること
（二）別に協議す…て、日本軍隊が…撤去を完了する…

笑つて…
ホワイト・ハウ…を訪問、近衞首…達した特使格の…野村大使と…

意義といふものはどうか、つと沈默してゐたが、ソ聯……ふニュースが多かつた、だ……事は眞理と僞の戰ひだ、事……んでやつてゐた

自信

……ゐるが――……から後方との連絡を保つこと……と見てゐるか、英の方では……思はれる、今度の作戰でモス……でもソ聯は後備軍を持つてゐ……な戰況が豫想される、故に獨……るやうな消極的戰法でなし……占領しようと努力するだらう……軍にはわからない……が獨の眞の目標だといふやう

併行

……クワ方面の後方を開け放しに……いと思ふ、コーカサスは冬で……知れないが、しかし大きな作……れはやるだらう、今獨軍はど……ることもできるか

……んヘドン河の方に押寄せてゐるからやがてこの冬には戰ひをコーカサスに移すかも知れない

本社　レニングラード、オデッサはまだ陷ちないやうだが

守山　獨側はできるだけ犧牲を少くするといふので兵糧攻めに完全に封鎖してゐるから、もう放つておけば自然に手をあげるのをまつてゐるといふ方法でやつてゐるやうだ、つまり犧牲を少くするといふのが眼目のやうだ、新しいドイツのニュース映畫を見てもレニングラード戰線はレニングラードの郊外、東京でいへば品川あたりのところでドイツ兵が陣地を布いて市內へ向つて大きな大砲を射つてゐる狀態だ

對ソ戰後の和平問題

本社　ソ聯軍を殲滅した曉に和平交涉の可能性はあるか

守山　それはヒットラー總統のこの間の演說から見ても或はヒットラー總統が今度の新作戰をはじめる時にこの戰爭こそは平和のための戰ひであるといふやうなことをいつてゐるところから見てもドイツとしては徒らに戰局を永びかせて、大きな占領地を抱へて決して得策ではない、しかし現在の狀態から見ると世界戰爭といふか結局ドイツは對ソ作戰はやらざるを得ない、イギリスとは和平交涉をやるといふ風なところが大體の見通しぢやないかと思ふ

本社　デイトリッヒ長官の發表をドイツ國民はどう感じてゐるか

守山　ドイツの軍發表は比較的消極的だつたのでこの冬は戰爭は一体どうなるのかといふ氣持が非常に強かつたが、デイトリッヒ發表を新聞が書き出してから大体この冬までに赤軍の主力を完全にやつつけて、あとはたゞ敗殘兵の討伐戰になる、そのくらゐの見通しからホッとした感じで、特に喜んでゐるといふことはない

米參戰せずとの見解

本社　對英上陸作戰はどうなるか

守山　ドイツの對英上陸作戰はドイツの有力な筋でもやるといふのとやらないといふ二つの見方が依然として對立してゐる

本社　どつちが強いか

守山　やるといふ見方の方が強い、やらないといふのはインテリ的に物を考へる人たちの間にさういふ考へ方がある、さうしてこのやらないといふのは今やつてゐる潛水艦と飛行機による封鎖戰だけでイギリスをジリジリ弱りに弱らしてもうすでに一千四百万トンも船を沈めてゐるのだから永くても二年か三年しかもたないと考へてゐる

本社　アメリカは對英援助を強化して來て參戰しさうな動きが益々強くなつて來たがドイツではどういふふうにみてゐるか

守山　アメリカに對してはヒットラー總統はこの間も一言もいはなかつた、アメリカやイギリスに對しては對ソ戰爭が一段落して、つまり新しい作戰が成功したのちにある種の政治的の動きに出るだらうと思ふとともに角アメリカがだんだん參戰氣構へを濃厚にして來るのには非常に憤慨してゐるが見通しとしては諦め的といふ氣持で新聞などは書いてゐるが、然しアメリカは結局參戰しないだらうといふのが有力筋の一致した見方だ

東人西人

重慶援助に一役 マグルーダー代將

ポパム、マックアーサー英米兩極東軍總司令官それに米國の重慶派遣軍事使節團長ジョン・マグルーダー代將と顔々たる顔觸れで去る三日より英米マニラ會談なるものが幕をあけた、八月のチャーチル、ルーズヴェルト大西洋會談を「米國の世界政策」劇第一幕とすれば、さしづめ第二幕第一場が西のモスクワ三國會談、第二場が東のこのマニラ會談であらう、そして第三幕はマグルーダー代將重慶活躍の場であらうか、たゞし背景は遠くモスクワ攻略の獨軍の雄叫びが聞え、近くには皇軍湖南大作戰による慘憺たる重慶側の愁色があつて、第三幕は勞ひ陰慘な場面たるを免れまいが、重慶をもつて米國防東方の第一線と稱してゐる行きがかり上こゝはなかなかの見場でもある

事實去る八月二十六日ルーズヴェルト大統領が重慶に軍事使節派遣を發表、しかも使節團長にはスチムソン長官の信任篤いマグルーダー代將を任命したこと自体、米國の世界政策をグッと押しすゝめたものであり「武力征服に抗せんとする世界的努力の一部」なる名目の下にその實米國による世界支配の明確なる第一手を打ち下したものであると見られた

マグルーダー代將

大統領の言明によれば同使節團は重慶およびその他の國の當局と協力して、重慶の軍事情勢、その他對重慶物資援助に關して檢討を遂げ、諸種の「アドヴァイス」を行ふのがその目的であるが「その他の國」とは英領ビルマを指すことはもちろんで、ビルマ・ルートの活用促進がその主なる對象の一であることは容易に想像しうる

マグルーダー代將は一九二六年から四年間北京駐在米大使館附武官をつとめ、この間に得た友人知己の間を活躍するわけだが、また最近マサチューセッツ州フォート・デヴンの第一師團附になるまでワシントンで陸軍省の情報蒐集に相當長期間從事してゐたこともあり、この仕事にはまづ適任であらう

、五百キロ突破
獨、三ヶ所で包圍縮小

……岸に沿ふメリトポリ、ベルジヤンスク、マリウポリを占領した……七日の發表において、因に獨軍司令部はベルジヤンスクとマリウポリの陷落を發表したが、メリトポリの名は擧げてゐない

包圍網を脫出　ソ聯側宣傳

【ニューヨーク特電十日發】モスクワよりの諸報道は中部ならびに西部兩戰線のほとんど全線にわたり、赤軍は依然として獨軍の進擊を阻止してゐると傳へてゐる、特に十日附ソ聯發表は中部戰線においてはオリョール北方で獨軍の攻擊を封じ、獨軍の中部各地區の赤軍包圍作戰は失敗したと傳へてゐる、目下ソ聯側は、新しい武器と豫備軍を動員し、前線に繰出してゐる模樣である、なほ先に獨軍の大包圍網下に陷つたソ聯軍は各所で包圍網を脫出し、獨軍に大損害を與へウヤジマ、ブリヤンスク兩地區においては獨軍は少くとも一万五千六百名の戰死者を出した

獨空軍輸送路を猛爆

【ベルリン十日發同盟】DNB通信が獨軍當局から入手した情報によれば、十日獨空軍は終日にわたり獨軍の重圍下にある中部地區の赤軍に對し猛爆を敢行するとゝもに、數百機の急降下爆擊機はソ聯の道路及び鐵道を空襲し、貨物を滿載せる列車六十本及び機關車十七輛を完全に破壞、さらに列車多數を脫線せしめ停車場數ケ所を破壞し、さらに獨爆擊機編隊は逃走中のソ聯オートバイ數百を爆擊これを破壞した

獨軍バルト海の戰果

【ベルリン特電十日發】十日獨軍發表によれば、バルト海のモーンおよびエーゼル兩島を占領せる獨軍は合計一万二千五百三十一人の赤軍捕虜と百六十一門の大砲その他多數の戰車を鹵獲した

獨潛水艦擊沈さる

【ロンドン九日發同盟】英海軍省九日公表＝獨大型潛水艦一隻は英武裝トロール船レディーシャーレイ號に挑戰後、機雷に觸れ沈沒した

米、援ソ急ぐ

【ニューヨーク特電十日發】獨ソ戰線における獨軍の總攻擊が著しく進捗を見せてゐることは、米國軍部筋でも明かに認めてゐるが獨ソ戰爭を總力戰的長期戰と斷定してゐる米國では

「ソ聯軍の大損害は明かであるが、獨軍の終局的勝利はいまだ達せられない、たとへモスクワが陷落しても、ソ聯軍は十分戰ひつづけるであらう」

と見、ソ聯が一時的には存亡の危機に瀕しても、最後には英米の援助により盛り返すであらうとして依然ナポレオン擊退の夢を信じてゐる、かくのごとき情況の下において英米兩國の對ソ武器援助問題が注目されるが、九日夜ワシントンの米軍部筋では

ソ聯軍はヴオルガ河またはウラル山脈背後の堅牢なる防禦線で十分に抗戰を繼續出來る、從つて米國の對ソ武器援助は先般のモスクワ三國會談の決定に從つて、戰車、爆擊機、大砲その他あらゆる武器を出來るだけ大量且急速に輸送するであらう、その輸送路は主としてイラン經由ルートである

と米國政府の意向を明かにした

“危機切迫す” ソ聯紙叫ぶ

【モスクワ特電十日發】十日イズヴエスチヤ紙はその論說欄においてソ聯の重要工業中心地に重大な危機が迫つてゐる旨をふたたび強調し、左のごとく述べてゐる

數において勝つてゐる敵軍は數ケ地點においてわれ等の防備部隊の中に楔を打ち込んでゐる、戰鬪は刻一刻慘烈化しつゝある、獨軍は全線で甚大なる損害を蒙つてゐるが、それにも拘らずソ聯軍壓迫に成功してゐる、ソ聯兵士は今やソ聯國土の寸尺を守るべく血を流し、生命を捧げて戰鬪を行つてゐる

と國民に愬へてゐる

英の焦躁甚し

【ニューヨーク十日發同盟】英政界筋情報によればエマヌエル・シンウエル下院議員（勞働黨）はソ聯の軍事情報に關し政府側が次週の議會において說明を行ふやう下院に要請したといはれる、右に關し政界筋ではシンウエル議員の要請はチャーチル首相の對ソ政策に對する一般の批判を誘發することとなり、この結果一部閣僚の更迭およびその他の重要地位に異動が行はれるのではないかと見てゐる

非常時食糧貯藏に、食糧公社(假稱)を新設
更に國策會社整理の氣運

臨戰體制下主要食糧の確保とならんで防空時などに對處して主要食糧の貯藏、配給を的確に行ふことが重要となりつゝあるので、農林省では十六年産米から國家管理を一層強化し、政府買入米全部を政府とする准專賣的管理を行ひ、政府米の保有を增強して貯藏制度を完備、主要都市およびその近郊に政府倉庫を建設擴充して相當數量の米穀等の分散貯藏を行ひつゝあるが貯藏制度の擴充と並行して米麥などの配給機構を整備することゝなり、食糧管理局を中心に具体案を考究中であつたが、その結果現在の米穀商業組合を改組して、營團もしくは公社の如き公共的團体たらしめる方針に決し、少くとも六大都市および關門地方の如き重要防空都市および中央に食糧公社（假稱）を設立させることゝなつた模樣である、すなはち現在の米穀配給機構はいまだ營利的な部面を清算し切れぬため、一朝有事の際米麥などの配給が的確を缺くがごときことがあれば由々しき重大事であるので、これを公共的な特殊法人に改組し、國家の代行機關化する必要がある一方、政府が米麥國家管理によつてその拂下事務を掌つてゐる事情から、卸、小賣等商業者の配給手數料などは一層合理化される必要があるので、この際公共的團体に改組してこれ等を一擧に適正化せんとするものである

また臨戰体制下食糧貯藏の重大性にかんがみ、農林省はすでに主要食糧たる米麥のみならず、雜穀、乾パン、乾麵、水産および農産罐詰などの貯藏を行ひつゝあり、特に罐詰の如きは半ポンド入一億數千万個が元卸、中卸、小卸の各段階を通じて分散貯藏されてゐるが、かゝる貯藏は業者をして行はしめるより、食糧貯藏營團の如き特殊組織をして行はしめる方がより適切であるので、農林省は總務局、食品局を中心にその具体策を考究中である

かくて臨戰下の食糧貯藏配給部面は何らか公共的な機構の整備によつて確立されようとしてゐるのは決定的であるが、省內の一部ではさらに國民必需食料品の貯藏配給をあげて統制しうる一元的機構を設け、この部面における既設の國策會社なども抱合する機構にまとめ上げ、國策會社の整理にも進むわけである

英、米、蔣經濟會議　昨日香港で開催さる

【香港特電十日發】オットー・ニーマイヤー重慶政權財政顧問およびマール・コクラン重慶政權經濟調查使節の英米兩代表が九日香港に到着したので、英米蔣三國經濟會議は世界的注視の裡にいよいよ十日香港上海銀行ビルにおいて開會された、今次會談においては法幣の安定およびこれに關する具体的な國法研究ならびに對蔣援助借款などについて協議されるものとして重視される

六大都市翼贊會部長會議

大政翼贊會六大都市支部庶務、組織部長會議は十日名古屋市德川園で開催、大阪、神戶、京都、横濱（伊藤庶務主任）東京（缺席）の各部長、名古屋からは縣支部長外各部長等出席、翼贊壯年團組織に關する事項、大都市支部の振興方策、推進員に關する事項、生活刷新に關する事項等を主題として意見の交換をした

★好利廻りの國民貯蓄
本社・大阪・土佐堀
大同生命

協和會協議會　きのふ開會

【新京電話】第八回協和會全國聯合協議會は滿洲國皇帝陛下の臨幸を仰ぎ、十日午前九時から新京の協和會館で開かれた、今度の第八回協和會全聯は十七日まで八日間にわたり「國本奠定の本義普及徹底に關する件」をはじめとして、滿洲國の當面せる政治、經濟の各部門にわたつて熱心かつ建設的な論議が交はされるはずであるが、何ぶん最近の緊迫せる國際情勢に連れて、滿洲國の精神的母体たる協和會の使命も一層加重されて來たわけである

……べきであるとの意向もあり、井野農相の裁斷が注目されてゐる

議同食糧委員會

翼贊議員同盟の臨戰食糧特別委員會世話人會は十日午後一時半より本部に開催、左のごとく審議項目を決定、これが成案を得次第、政府に進達することに申合せた、次回は十四日午後三時特別委員會を開き審議を開始する

一、食糧統制（專賣制度、價格配給制度）
一、米麥、甘藷、馬鈴薯の增産
一、代用品および混食品の增産（國民榮養食に重點を置く）
一、食用畜産物增産
一、食用水産物增産

外相、內府と懇談

豐田外相は十日午後二時半から約一時間木戶內府と會見、當面の外交問題について種々懇談を遂げた

獨大使、伊藤情報局總裁訪問

オット駐日獨大使は十日午後三時情報局に伊藤總裁を訪問、懇談ののち四時半辭去した

日高公使東上

南京駐在特命全權公使日高信六郎氏は十日午後二時十分長崎入港の日華連絡船で歸來東上した

……このうち、日本軍の駐屯をめぐる原則では第三條の冒頭において、防共の基本約定が規定された後

（一）日本軍は防共目的達成のため『蒙疆および北支の一定地域』において『所要期間』駐屯すること

（二）別に協議するところによつて、日本軍隊がその他の地域で撤去を完了するまで治安協力のため駐屯すること

（三）別に定むるところによつて日本艦船部隊が特定地域に駐留することを承認したること

の三點が協約せられ、またこれに次いで經濟上の緊密關係も記されてゐる、第一次、第二次近衞聲明を通じて日支關係の將來を規定する重要問題であつたが、この取極めの內容も第六條において

（一）華北、蒙疆においては國防上の特定資源の開發に當つて兩國が緊密に協力して開發に當ること、その他の地域における同樣資源の開發には支那は便宜を供與すること

（二）國防資源の利用は支那の需要を考慮し、中華民國政府は日本に十分な便宜を提供すること

（三）揚子江下流地域の通商貿易の增進と日本と華北、蒙疆との間の物資需給の合理化について兩國政府は緊密に協力すること

（四）日本は支那の産業金融、交通の復興發達に積極的な援助と協力をなすこと

この四點が二度にわたつた近衞聲明において強調された經濟提携の全內容をなすものである、基本條約はつゞいて第七條において治外法權の撤廢、租界の返還に關する日本の約定をとりきめたのみで終つてゐる

近衞聲明の精神

附屬議定書と了解事項はこの條約の實施上の原則をとりきめたもので、國民政府は戰爭行爲遂行にともなふ特殊事態の存在と日本が戰爭行爲の目的達成するにあたつて必要なる措置を講ずることを承認したことが主となつてゐる、以上は昨年十一月末の日支條約調印の全貌ともいふべきものである、然もこの全條項を通じて今日なほ我我に生々として迫るところの精神は、漢口會戰後の明治節に發表せられたいはゆる十一月三日の第一次近衞聲明と同年十二月二十二日の第二次聲明にもられたわが政府及び國民の事變の處理にたいする識議にして崇高なる態度である

この條約こそは近衞首相のラジオ放送（昭一三、一一、三）の言葉にもあるごとく、いかなる意味からいつても『日本が眞に希望するところは支那の滅亡に非ずして支那の興隆に在るものであり、また支那の征服にあらずして支那との協力にある』との國民的確信を象徵する以外に何らの他意はなく、日本が大軍を支那に動かした眞意が第二次聲明で闡明せられてゐる通り『求むるものが區々たる領土に非ず、また戰費の賠償でもなく眞實支那が新秩序建設の分擔者としての職能を實行するに必要なる最小限度の保障の要求』であつたがことことに實證せられたものであるといつて過言でない

事變完遂の大道

條約調印を行つて既に一年に近くこの間汪氏を首班とする新國民政府との間に設定せられた大道は坦々として開け、新支那の運命を背負ふ新政府また隆々たる發展の段階を辿しつゝある、事變は今なほ完遂せられてはゐない、しかし、條約調印のこの一周年のあとを回顧するとき、事變は大陸における國民の血の戰ひとともに、條約調印の一歩を契機として、たしかに一大回轉を遂げたといふべきであらう、事變完遂の大道はこゝにもつとも明白に闡明せられ、國民はこの條約に盛られた精神の軌道を、ひたぶるに邁進する不動の確信のもとに事變に挺身してゐるものである

事變解決の瀨戶際

『太平洋の戰機』のための日米會談が今日どのやうに進行してゐるかは目下のところ我らに何の知るところもない、しかし支那事變の完遂と東亞新秩序の建設については斷じて足踏みすることを許さない、この國民的信念と氣魄は支那事變に關心する第三國にとつて率直に認識さるべきであらう、しかし何れにしても事變はなほ武力戰遂行の眞只中にある、日本國民にとつては新秩序の建設を妨害する抗日政權の息の根をとめるまで斷じて矛をおさむるものではない

事變解決の見通しは今一押しといふ大事の瀨戶際にあることは明らかであつて、この時幾こそはわが國にとつて眞に重大なる時である

とはこの三月在支二年の重任を帶びて歸還した西尾前支那派遣軍總司令官の歸還の第一聲であつたが、調印一周年を迎へんとする今日の國際間の緊張情勢のさなかにあつて、事變の前途に思ひをいたすとき痛切に感ぜられることもまた、まさしくこの『今一押し』の氣魄であり國民的信念である

笑つて答へず

ホワイト・ハウスにル大統領を訪問、近衞首相の親書を傳達した後待構へた米新聞記者團から質問の矢を浴びたが、唯笑つて大使館に歸る野村大使

週刊朝日
十月十九日號　定價十五錢
獨ソ和協說を衝く・嘉治隆一
ソ聯の嚴冬はどんなか・林 謙三
防空演習……文 史朗
時評…太田正孝・岡本鶴松・安三郎
日本美の再認識（服裝）・今 和次郎
ニウス物語 湖南の戰慄……藤枝丈夫
憾みの新黃河……里村欣三
師弟對談……佐佐木信綱・齋藤瀏
連載小說……尾崎士郎・邦枝完二
朝日新聞社發行

社説

食糧自給策の確立

政府は現下の緊迫せる國際情勢にかんがみ、緊急食糧對策を決定した。わが國の食糧問題は、支那事變勃発の當初から騒ぐの聲は、その觀測が樂觀に過ぎ、昭和十四年秋の朝鮮米大減收の影響を痛感してからは、一轉して俄に悲觀的の見方が流行するに至つたものであるが、これを他の多くの交戰諸國と比較するならば、何といつても、なほ恵まれた状態にあるといはねばならないのである。すなはち、政府の施策にして大なる過誤なく、また官民を通し、生産者、消費者を通じての協力さへあれば、年々の天候による豊凶の差はあるにしても、食糧供給の安全感が著るしく動搖することは無いと見てよいのである。

殘念ながら現在では、なほ相當量の外米を、海外より輸入せねばならぬ状況に置かれてゐるけれども、わが國としては、たとへ戰時中だとしても、これは寧ろ變態的な現象とみねばならぬのであつて、内、鮮、台、滿を以て食糧の自給をせねばならぬし、またこの自給の可能性ありといはねばならぬのである。要は一日も早く、この自給達成の具体的方策が確立されることである。食糧問題としては、このほかに、支那占領地域の治安とも關聯して、これら占領地域の食糧供給をいかにさばいて行くかといふ問題がある。これには廣汎かつ複雑な對策を必要とするのであるが、何はともあれ、内、鮮、台、滿を通ずる自給策を確立することが先決である。そして現在わが國が輸入してゐる外米は、理想として東亞共榮圏全体の食糧需給の一大安全弁として役立つやうにせねばならぬ。

今回決定した緊急對策の特徴は、その臨戰的なところにあると思はれる。米穀、乾パン、乾麺、鑵詰などの非常用貯藏が行はれつつあること、蛋白および脂肪の給源確保に意が注がれてゐることなど、いづれも從來になかつたことである。米麥等の消費規正の強化ならびにその適正化については「目下研究中なり」とあるがこれが實施も遷延を許さないであらう。

わが食糧問題の眼目は、國民の努力次第で、立派にその自給が出來るのだといふ確信が成り立ち得る點である。過度の悲觀も樂觀も共に有害無益である。その意味で、消費者が冷靜に、食糧問題に對處することが必要である。

米國商船の武装

ルーズヴェルト米大統領は九日議會に教書を送り、米商船の武装許可のため、米國中立法を改正せんことを要請した。目下のところは、それだけにとどまるが、近き將來なすべき新提案として、米船が交戰國の港灣および交戰水域に入ることを得ることとすべく中立法改訂の下拵へたらしめることを希望すると特に附言してゐる。なほ『さればとて、かやうな中立法改訂は、なんら宣戰布告と稱せらるべきものではない』と、一應ことわつてあるのである。

吾人は、一八一二年のナポレオンのモスクワ占領の歴史が、今日においてそのまゝ繰返されるものとは、決しておもはないと同樣、ルーズヴェルト米大統領の今回の商船武装が、故ウイルソンの參戰決斷、特にその結末と軌道をまつたく同じうするものであらうとは思はない。なぜならば、同一の歴史的現象を再現するのには、かゝる現象を生じたるすべての條件が、そのとほり悉く具現しなければならぬからである。しかして今日のところ、一八一二年の情勢はもちろん、一九一七年四月および一九一八年十一月の實情とは、同一の譯でないものがあるのである。

今日において、米大統領としては、參戰自体の可否、利害、得失ならびにいよいよ參戰を斷行するにしても、その適宜の時機に關して、ただ最高の政治的裁量を與ふるのみであらう。時勢はつとに法律的論議および小細工の域を逸脱してゐる。ハル米國務長官が、去る四日記者團との會見で、ホワイト號撃沈事件に關し、答辯したところは、およそ自己防衞のため行動してゐる國に對しては、國際法を援用する權利がないと告白したのであるが、それでは、滿洲事變はもとよりわが國の自己防衞であり、支那事變もまた然るのであつて、從つて自己防衞には、九國條約のごとき締結當時の情勢と著しく異る事態にもとづき、また國際法によるものも、條約に締約各國とともに、適用し難しとするわが國の年來の主張が、あらためて米國側自身の新規の立證により、おのづから裏書を受けたわけである。

要するに、米國として對獨戰爭につきいふところは、ヒットラー政權打倒のためには、手段も論理も選ばず、條約、國際法もへちまもないといふことに歸する。これは、なほ一昨年冬のソ聯のフィンランド侵略戰に對して、米國朝野が英佛とともに、示した態度とは全く逆に、昨今はフィンランドの失地回復を認めざらんとする意外の、ソ聯との講和を強調しつつある御行詭と、ほほ揆を一にするものである。中立法の一部改訂とか、全廢とかに、一々まじめに考慮を拂ふごときは、今日いさゝか迂愚であるといつていい。米國はかねてより大統領が公稱せる『戰爭外に立つ』との大方針から、一歩一歩實戰なき戰爭へ己り込みつゝあるといふ事實に留し、わが國として常に周到なる注意を拂はねばならぬことはいふまでもない。終りに、いはゆる布告なき戰爭なるものが、支那事變勃発以來、英米らがわが國を誹謗し、妨害する口實の一に供し來つたものであることを附言しておきたい。

秋深き湖南を征く加藤部隊勇士

重慶なほ目覺めず 湖南の敗戰糊塗

軍當局再びデマ爆碎

【南京特電十日發】赫々たる大戰果を收めた長沙作戰の目的完遂に際し支那派遣軍では十日左の如き當局談を發表して、敵抗戰態勢の再び難き崩潰と援蔣諸三國が東亞政策に再檢討を加へるべき必要のある現實を明白に指摘した

【支那派遣軍當局談】長沙作戰は所期以上の大戰果を收めて茲に終了を見るに至つたが、今次作戰においてもつとも注目すべきは、重慶政權が本作戰を極めて重視し、近來稀にみる眞剣なる態度をもつて抗戰しながらも完敗を喫し、なほこの慘敗を巧妙なデマ宣傳によりて糊塗せんとした事實である。重慶政權が本作戰をいかに重視したかは蔣介石、白崇禧、何應欽等が自ら陣頭指揮に任じたことによつても證明されるのである

一、第九戰區は四川防衞上軍事的に極めて重要性を有し、これが失陥は内外におよぼす影響至大であつて抗戰態勢に破局を招來する惧れあること

二、日本はすでに中支より兵力を抽出轉用し、大規模の進攻作戰は不可能であると臆斷し、さらに第九戰區の戰備を自ら過大評價した結果、一擧にわが進攻企圖を挫折、阻止し得るとの自負を抱き、これにより重慶處理上有利な状態の展開を企圖したこと

三、日米交渉、モスクワ會談、あるひは米英よりの軍事經濟使節團の來支など、東亞を繞る國際情勢の緊張に關し抗戰力の健在を誇示し、國際的信用の維持或は増大を計らんとの政略的必要があつた

などは重慶政權をしてかくも本作戰を重視せしめた主要原因に他ならない、この故に蔣介石は第九戰區の全兵力を擧げて戰場に注入するとともに、第六、第七兩戰區からも増援兵團を抽出して苛烈な督戰の下に眞剣に防禦したのであるが、戰略的指導の拙劣に加へ、敵兵團相互の積極的協力もみるべきものなく、徒らに我が軍に各個擊破された、すなはち敵の十分の一にも滿たない我が作戰部隊は随所に放膽な突破、迂回、包圍を併用し、各所に殲滅戰を反覆展開して、旬日にして長沙を攻略したのであつて、これを要するに重慶軍は全智全能を傾け辛くして僅かに我が軍の進攻を阻止することが出來なかつたのである、しかも出動した敵三十四個師のうち中央直系、傍系軍は十九個師といふ過半數を示して、敵軍中最精強をもつて自他ともに許してゐた部隊が甚大な打撃を受けたことは重慶軍戰力の低下と抗戰意志の衰亡を暴露して余りある、今次長沙作戰によつて重慶政權の受けた物心兩面の衝撃は枚擧に遑ないが、特に次の諸点は看過することが出來ない

一、重慶政權は戰備ならびに統帥上の致命的缺陥を暴露自覺し、對日抗戰、なかんづく防禦力に對する自信を喪失した

二、雜軍の中央軍に對する輕視の招來および對日長沙作戰増大により抗戰に龜裂を生じた

三、過去における宣撫の努力は遂に水泡に歸し總反攻の準備も再び重大なる蹉跌を來たした

四、援蔣第三國は重慶抗戰力の實相を認識し、その東亞政策に再檢討を加へる必要に迫られた

かくの如く今次作戰の結果が國内外におよぼす影響の絶大なるに鑑み、重慶政權はまたも常套的欺瞞宣傳を継續し、一面中央方面の我が占領地區に反攻を實施してゐる、しかしながら重慶政權では最早や敗戰の現實を蔽ふに足る信用なく敵兵團の反攻もまた我が反撃に屈伏して、由來的狀況を出ない現況である、一方わが軍は堅固な節防禦陣突破と中央軍壊滅の自信を確固不動のものとしたのであつて、今後においても随時随所に進攻して敵抗戰力を破碎することはますます容易となつた

三大作戰を完遂

宜昌の反攻も挫折

週間戰況

【南京特電十日発】支那派遣軍報道部十月十日発表＝爽涼の秋、北中南支相呼應して敢行された派遣軍の三大進攻作戰は重慶抗戰陣營を震駭せしめて概ね終了を見るに至つた、敵はうち續く敗戰の事實を蔽ひ、國内外の關心を他に轉ぜしめんとして各戰區に反攻を嚴命してゐるが、敵は宣傳價値大なる宜昌周邊においてやゝ活發なる動きを見せてゐるに過ぎない、しかも一度わが軍の反撃に會ふや忽ち潰乱するなど犬の遠吠えに似たる不甲斐なさであつて、企圖はすべて挫折し遂に宣傳反攻に終るのみならず却てわが軍に好餌を與へつゝある

陸軍航空部隊の本週における活動また盛んであつて、北中支においては連日地上部隊と密接なる協力を示し、南支においても五日久しぶりに好天を利し廣西に翼を伸ばして敵軍を各所に爆碎した

宜昌附近の敵を撃退

【漢口特電十日発】宜昌奪回を呼號して蠢動する敵に對しわが軍は過般來空陸呼應して猛攻を加へ次第にこれを撃退してゐる、即ち宜昌對岸に押し寄せた三個師に對し去る八日宇野、相田、高木、勝田各部隊は奇襲を敢行し九日完全にこれを撃退した

また宜昌東南二十五キロの古老背附近において高木、鈴木、大森各部隊が、八日午後より包圍攻撃を開始し、敵に大打撃を與へた

八日までの宜昌地區綜合戰果は敵遺棄死体千二百の多數に達してゐる

南昌附近の掃蕩

【漢口特電十日発】南昌南方三十キロ市汊街附近に進出せる敵豫備五師十三團、十四團および江西第三團約二千を徹底的に殲滅すべくわが小林、斎藤、後宮各部隊は去る五日以來猛攻を開始し、贛江を

溯江した海軍部隊と協力、敵を包圍殲滅し、七日目的を達成して原駐地に歸還した

戰果は遺屍五百七十五、俘虜三十五、鹵獲品重輕機十一、小銃四十二

長江遮斷の反攻を粉碎

【中支前線〇〇にて林特派員十日発】國慶記念日の双十節を期し、重慶軍は懸賞金つきで長江遮斷をめざし各所に蠢動を開始しつゝあるが、江南第三戰區の敵百四十四師、四百三十一、四百三十二の兩團約二千名は八日未明より大通西南約六十キロの殷家匯前面に進出攻撃して來たが、我が野崎部隊に邀撃包圍されて營長の戰死をはじめとして遺屍百七十七（うち將校三）捕虜三十三（うち將校一）を殘して九日午前三時敗走した、鹵獲品は重機一、輕機三、小銃三十四その他

日本と同心協力 東亞の保衞達成

双十節 汪主席の講演

【南京特電十日発】國慶記念日たる双十節の十日、南京では午前八時から國民政府大禮堂で汪主席以下政府要人ら參列のもとに慶祝式を擧行、汪主席の革命精神不死を強調する大要左の如き講演ありこれは式場から市民慶祝會場および學生集訓大會場へ放送され、多大の感銘を與へた、午前十時から國民政府大禮堂で駐支那派遣軍總司令官、後宮總參謀長はじめ各將星および外國使節らが汪主席に祝詞をのべ正午から汪主席臨席のもとに數千の將兵の堂々たる閲兵式が行はれ、またこのほぎ日を期し集團結婚が花やかにとり行はれた

中華民國は成立して三十年であるが、今日といへどもまだその苦悶を離脱してをらず、顧みれば實に慚愧無量である、しかし革命運動を起し、成功に至る中間には必ず幾多の過程を経なければならぬ

國父 孫先生は十回の失敗を重ねられた、和平反共建國運動と革命運動はこれ一脈通ずるものであつて、革命運動の目的は帝國主義の壓迫を除去し、もつて植民地の地位より脱却し、しかして政治改造に着手するにある、建國すなはち興亞であり、興亞すなはち建國である、日本の提唱せる東亞新秩序の建設の眞正の意義を認識し、日本と同心協力して東亞の

保衞 を達成し、東亞の保衞がなつてはじめて中國の保衞は全きを得るのである、昨年の國慶日から本年の國慶日に至るまでに、中日基本關係條約はすでに締結され、中日親善關係も日毎に發展に進んできた、獨伊各國相ついで國民政府を承認してより後、國府の國際的地位も日増しに向上しきたつたが、外交方針もすでに［…］よつて外交を

振興 せしめ［…］族発展の一つの［…］ある、私は國慶［…］を創造せる諸先［…］孫先生について［…］千辛万苦、死を［…］たこの精神が國［…］ことと思ふ、中［…］待するにはまた［…］しなければなら［…］死せざれば中華［…］生きるのである

板垣司令官

板垣朝鮮軍司令官［…］當り汪精衞氏に對［…］祝電を発した

双十節に當り齒［…］を祝しいよ〳〵［…］

余剰貿易を一擲 最大限貿易へ轉換

日滿支 貿易連絡協議會終る

獨ソ戰を契機とする世界情勢の激變に對應して、昭和十六年度物動計畫は東亞共榮圏とくに日滿支を中心とする自給体制の確立を目標として再編成され、これに伴つて對滿支輸出入計畫も第三國依存から完全に脱却して東亞共榮圏を本位とする貿易への轉換を基本方針として編成された、この日滿支貿易の歴史的飛躍に即應して輸出入計畫の完遂を圖るため、貿易体制の刷新諸方策を討議決定すべき日滿支経済協議會主催の日滿支貿易連絡協議會は去る七日から四日間、企畫院に開催され十日の本會議をもつて終了したが、同協議會によつて日滿支貿易新体制確立の根本方策は決定し今後の成果はすこぶる期待されるに至つた

日滿支貿易の歴史的飛躍とは余剰貿易から最大限貿易への轉換である、すなはち從來わが國は外貨獲得のための對滿支輸出は余剰輸出をその基本とした結果對滿支向けの輸入は補給とし、また滿支よりの輸入は補足輸入としての性格が強かつた、しかし今や第三國貿易の全面的杜絶の結果、日滿支貿易は日滿支三國の生産力のおよぶ限り最大限の物資交流を實現することを新たなる使命とするに至つた、この結果從來「本位貿易」であつた第三國貿易は逆に「補足貿易」へと轉落し、補足貿易であつた日滿支貿易は本位貿易へと飛躍したのである

しかしてかゝる日滿支貿易の飛躍に對應してその計畫完遂をはかるためには從來の貿易機構や輸出入手續では障害となる［…］の根本的刷新が必［…］のであつて、今回［…］てその根本方針が［…］である協議會は（［…］の改變（二）調整品［…］円域對第三國貿［…］那よりの輸入物資［…］要點目として、そ［…］會を設けて討議し［…］したが、その主要［…］通りである

一、輸出入機構の［…］重要産業團体令［…］を通ずる統制機［…］易會（假稱）を［…］結果東亞輸出入［…］方貿易統制會は［…］る、また下部機［…］關をなるべく［…］

本年度麥實收高 二百九十余萬石減

東北六縣、長野縣の分發表

農林省では十日昭和十六年麥實收高（東北六縣および長野縣の分）を左の如く發表した

大麥 百二万石
裸麥 二万石
小麥 六十七万五千石

これを前五箇年平均の同地域實收高に比すれば

大麥 十五万七千石（一割三分三厘）減
裸麥 六千石（二割四分二厘）減
小麥 七万石（九分五厘）減
合計 二十三万三千石減

となつてゐる、さらにこれを前回發表された三府三十六縣分に加算すれば

大麥 六百四十五万二千石
裸麥 六百六十一万五千石
小麥 千三十二万七千石

でこれを前五ケ年平均實收に比すれば

大麥 四十八万一千石減
裸麥 七十六万石増
小麥 一万七千石増

で約三十万石の増となつてゐる、なほ北海道麥の實收高はまだ發表されてゐないが、豫想收穫高は

大麥 四万三千石
裸麥 十四万四千石
小麥 三十五万八千石

で、これを既發表の實收高に加算した全國實收は

大麥 六百四十九万五千石
裸麥 六百七十五万九千石
小麥 一千［…］
合計 二千三百［…］

であるから前年の［…］

大麥 七百［…］
裸麥 六百［…］
小麥 千［…］
合計二千六百八十［…］

すれば、約二百九［…］減收と見られる

更に麥［…］十萬石［…］

今秋における麥［…］定計畫にもとづく［…］ど裹作による增加［…］午六百町歩、その［…］増地の反當收穫増［…］合せて四百七十二［…］の內譯は

小麥
大麥裸麥

た海軍部隊と協力、敵を包
し、七日目的を達成して原
駐地に歸還した
は遺屍五百七十五、俘虜三
鹵獲品重輕機十一、小銃

長江遮斷の反攻を粉碎

前線〇〇にて林特派員十日
慶紀念日の双十節を期し、
は懸賞金つきで長江遮斷を
各所に襲撃を開始しつゝあ
江南第三戰區の敵百四十四
百三十一、四百三十二の兩
千名は八日未明より大通西
十キロの殷家滙前面に進出
して來たが、我が野崎部隊に
撃されて營長の戰死をはじ
て遺屍百七十七（うち將校
虜三十三（うち將校一）を
九日午前三時敗走した、鹵
重機一、輕機三、小銃三十
他

海外短信

カットは米國ルイジアナ州ポントチャートレイン湖で展開された米陸軍十三トン戰車の演習

グレイジー歸國急ぐ

【マニラ特電十日發】アメリカ政府の東亞經濟特使グレイジー氏は十日香港からマニラに飛來するはずである、最初の豫定では歸途マニラでさらに約二週間滯在し、フイリッピン經濟の非常時運用につき協議を重ねるはずであつたが、豫定を變更し十二日マニラ發のクリッパー機でアメリカへ向けて出發を急ぐことになつた

米軍事使節團 第二班香港着

【香港十日發同盟】米國から重慶へ派遣のマグルーダー代將を首班とする軍事使節團第二班オットー・ジョージ、ジョゼフ・メンデルソン兩少佐、ウイリアム・マックラークソン大尉の三名は九日クリッパー機でマニラから香港に到着、兩日中重慶に向ふ豫定

比島の兵舍建築爭議

【マニラ特電十日發】目下ルソン島のネヴア、エシハ州のカバナツアンとパンガボンに大急ぎで建築中のアメリカ陸軍兵舍の建築に從事してゐる勞働者のうち千二百名は賃金支拂ひの滯りを理由に六日から爭議を起してゐるが、請負制度に種々不備があるらしい

米國鐵鋼屑を統制

【ニューヨーク九日發同盟】米國國防生產管理局は最近の國內鐵鋼業の製鋼能力減退の脅威を除くため、九日より鐵鋼屑に對して全面的優先制を布き、統制を強化することゝなつた

統制の全權はドナルド・ネルソン國防資材優先制度局長官に委ねられた

米、長期債を發行

【ワシントン九日發同盟】米財務省は九日總額十二億ドルの新長期債を發表した、利率は年二分五厘償還期限は二十六箇年乃至三十二箇年で、一九二一年のパナマ運河債五千万ドルを除き未曾有の長期債である

イラク新內閣成立

【バクダッド九日發同盟】前カイロ駐在イラク公使ヌリ・サイド將軍は九日新內閣の組織に成功した、ヌリ・サイド將軍は過去三回も首相に任じたこともあり又英イラク同盟條約交涉の當事者でもあるが去る六月以來カイロ駐在公使として在任中、五日ガミール・マドファイ內閣總辭職により急遽歸國組閣局と緊密な連絡の下に新內閣を組織したものである

本年度麥實收高 二百九十余萬石減
東北六縣、長野縣の分發表

では十日昭和十六年麥實收（東北六縣および長野縣の分）を左の如く發表した

百二万石
二万石
六十七万五千石

前五箇年平均の同地域實收に比すれば

十五万七千石（一割三分）減
六千石（二割四分二厘）減
七万石（九分五厘）減
二十三万三千石減

となつてゐる、さらにこれを前回發表された三府三十六縣分に加算すれば

六百四十五万二千石

裸麥	六百六十一万五千石
小麥	千三十二万七千石

でこれを前五ヶ年平均實收に比すれば

大麥	四十八万一千石減
裸麥	七十六万石增
小麥	一万七千石增

で約三十万石の增となつてゐる、なほ北海道麥の實收高はまだ發表されてゐないが、豫想收穫高は

大麥	四万三千石
裸麥	十四万四千石
小麥	三十五万八千石

で、これを既發表の實收高に加算した全國實收は

大麥	六百四十九万五千石
裸麥	六百七十五万九千石
小麥	一千六十八万五千石
合計	二千三百九十三万九千石

であるから前年の實收高たる

大麥	七百五十一万八千石
裸麥	六百二十六万六千石
小麥	千三百九万三千石

合計二千六百八十七万七千石に比すれば、約二百九十三万八千石の減收と見られる

更に麥類百三十萬石增產へ

今秋における麥類の增產計畫は既定計畫にもとづく休閑地の利用など裏作による增加面積は十三万六千六百町步、その增產數量は既栽培地の反當收量增加によるものを合せて四百七十二万四千石で、その內譯は

小麥	四万二千町步	六十万七千石
大麥裸麥	九万四千町步	百二十二万石

既栽培地の反當收量增加による分　二百八十九万石

である、さらに桑園、茶園の整理不要不急作物制限により百三十万石を增產、合計六百万石の增產が行はれ、今年の麥實收の減を補ふこととなつた、なほ煙草作付の轉換面積は五千町步である

薄荷、花卉、茶等の整理轉換 一萬四千町步

農林省では馬鈴薯などの增產を行ふため薄荷、花卉、茶の栽培など整理轉換を行ふが、その內譯は

薄荷九千八百町步、花卉一千六百町步、茶三千町步

でこれにより馬鈴薯は三千三百万貫、蔬菜二千四百五十万貫生產增加となる豫定である

余剰貿易を一擲 最大限貿易へ轉換
〔日滿支〕貿易連絡協議會終る

を契機とする世界情勢の激動に即應して、昭和十六年度物は東亞共榮圏とくに日滿支とする自給体制の確立を目て再編成され、これに伴つ支輸出入計畫も第三國依存全に脱却して東亞共榮圏をする貿易への轉換を基本方て編成された、この日滿支歴史的飛躍に即應して輸出の完遂を圖るため、貿易体制新諸方策を討議決定すべき經濟協議會主催の日滿支貿易連絡協議會は去る七日から四日間に開催され十日の本會議をもつて終了したが、同協議會によつて日滿支貿易新体制確立の方策は決定し今後の成果はすべて期待されるに至つた日滿支

貿易の歴史的飛躍とは余剰貿易から最大限貿易への轉換である、すなはち從來わが國は外貨獲得のための第三國貿易を本位とした結果對滿支輸出は余剰輸出をその性格とし、また滿支よりの輸入は補足輸入としての性格が強かつた、しかし今や第三國貿易の全面的杜絶の結果、日滿支貿易は日滿支三國の生產力のおよぶ限り最大限の物資交流を實現することを新たなる使命とするに至つた、この結果從來「本位貿易」であつた第三國貿易は逆に「補正貿易」へと轉落し、補正貿易であつた日滿支貿易は本位貿易へと飛躍したのである、しかしてかゝる日滿支貿易の飛躍に照應してその計畫完遂をはかるためには從來の貿易機構や輸出入手續では障害となるもの多く、その根本的刷新が必要とされてゐたのであつて、今回の協議會によつてその根本方針が確立されたわけである、協議會は（一）輸出入機構の改變（二）調整品目の擴大（三）円域對第三國貿易調整（四）支那よりの輸入物資の價格調整を主要題目として、それぞれ特別委員會を設けて討議し基本方針を決定したが、その主要な內容はつぎの通りである

一、輸出入機構の改革については貿易業者團体令に基き貿易全般を通ずる統制機關として日本貿易會（假稱）を創設する、その結果東亞輸出入組合聯合會と南方貿易統制會は發展的に解消する、また下部機構は既存統制機關をなるべく活用し必要に應じ整理統合を圖る、朝鮮、台灣等の各外地の貿易機構にも刷新を加へ、滿洲、關東州については滿關一本の滿關貿易聯合會を設立する

一、調整品目の擴大も重要課題であるが、今回の會議によつて關係官の間において根本的に意見の一致を見た

一、円域對第三國貿易の調整については（イ）円域內物資の對日供給必要量確保に主眼を置き殘余の物資をもつて第三國貿易を圖らしめる（ロ）わが國の貿易計畫と睨み合せて決済上均衡を保たしめる（ハ）日本の統制に步調を合せ滿支においてこれと競爭し、あるひは障害となるやうなことを調整する（ニ）日滿支對第三國貿易の發展を期し綜合的調整を圖る

一、支那よりの輸入物資の價格調整については日本內地と支那現地との物價差（支那の物價高）を調整する方針を決定した

今回の協議會において決定した諸方針は關係官廳において直ちに實施に移されることになつてゐるが特に中心となるべき輸出入機構の整理改變は既存業者の相當規模の整理を不可避としてゐるので、わが貿易界としては大なる決意をもつてこれに臨まねばならず日滿支貿易の畫期的發展のため官民の協力一致が要望されてゐる

二日間に大統領二人
パナマ政變の經緯

【ニューヨーク特電九日發】パナマ市からの報道によれば八日正午以來パナマに二名の大統領が就任したことが判明した、すなはち前次席副大統領エルネスト・ガルデイア氏が大審院により最初に大統領に任命され、同氏は新內閣を任命した、しかるにその後ガルディア新大統領は辭職し、さらに前法相デラ・ガルデイア氏を新大統領として新內閣が成立を見るにいたつた、デラ・ガルデイア氏はアリアス政府顚覆のクーデター首謀者である

ワシントンにおける消息通の言明によれば米國はデラ・ガルデイア大統領をパナマの元首として認めるであらうといはれ、デラ・ガルデイア氏の就任には何らの混亂も伴はず、かつ正規の手續きを踏んでゐるのであるから米國のこの認定は當然であるとされてゐる

兩院に提出
米中立法改訂決議案

【ワシントン特電九日發】ルーズヴエルト大統領の商船武裝條項削除に關する中立法改訂の教書が九日議會に送られるや、與黨側領袖は右教書の趣旨に從つて、直ちに上下兩院に商船武裝條項削除による中立法改訂の決議案を提出した、上院においては外交委員長コナリー氏により、下院においては同じくその外交委員長ブルーム氏により、それぞれ右決議案が提出されたが、同決議案は國家非常時宣言の有效期間中、大統領に米商船の武裝許可の權限を賦與せんとするものである

中立法廢棄を要望

【ニューヨーク九日發同盟】六日からニューヨークに開會された全米貿易評議會第二十八回全國大會は九日左の如き宣言を可決して閉會したが宣言中に中立法の廢棄を要望したのが注目される、宣言の要旨左の通り

樞軸國の野望を破碎することはすべての國の平和と繁榮に缺くべからざるものである、故に大會は政府の軍事的經濟的國防政策を全幅的に支持し中立法の廢棄を要望する

協力 達成
主席の講演

に數千の擧民の堂々たる隊
行はれ、またこの佳き日を
團結が花やかにとり行は
民國は成立して三十年であ
、今日といへどもまだその
を離脱してをらず、顧みれ
に慘澹無量である、しかし
運動を起し、成功に至る中
には必ず幾多の過程を經なけ
はならぬ

國父 孫先生は十回の失敗を
られた、和平反共建國運動と革命運動はこれ一脈通ずるものであつて、革命運動の目的は帝國主義の壓迫を除去し、もつて植民地の地位より脱却し、しかして政治改造に着手するにある、建國すなはち興亞であり、興亞すなはち建國である、日本の提唱せる東亞新秩序の建設の眞正の意義を認識し、日本と同心協力して東亞の

保衛 を鞏固にし、東亞の保衛がなつてはじめて中國の保衛は全きを得るのである、昨年の國慶日から本年の國慶日に至るまでに、中日基本關係條約はすでに締結され、中日親善關係も日毎に進歩に進んできた、獨伊各國相ついで國民政府を承認してより後、國府の國際的地位も日増しに向上しきたつたが、外交方針もすでに確立し、それによつて外交を

振興 せしめれば必ず國家民族發展の一つの道が開けるのである、私は國慶日に當り、國府を創造せる諸先烈を想ひ、國父孫先生について革命に努力し、千辛万苦、死をもつて最後としたこの精神が國府を誕生させたことと思ふ、中華民國を救助維持するにはまたこの精神を保持しなければならぬ、この精神が死せざれば中華民國は必ず永く生きるのである

板垣司令官より祝電

板垣朝鮮軍司令官は十日双十節に當り汪精衛氏に對し、左のごとく祝電を發した

双十節に當り茲に閣下の御健康を祝しいよいよ國民政府の御隆盛ならんことを祈る

憂國の至情を吐露
王揖唐氏放送

【北京特電十日發】十日の双十節にあたり華北政務委員會王揖唐委員長は同夜午後八時二十五分から外交大樓において十分間にわたりマイクを通じて國內民衆、特に直屬抗戰陣營に呼びかけ、言々肺腑を衝く憂國の至情を吐露、中國民衆の等しく崇拜する國父中山先生の遺訓たる「西方霸道の鷹犬たるなかれ」の一句を引用して、重慶の英米合作の非を衝き、怨々たる和平建國の信念を說いて抗戰陣營の猛省をうながした

政府の施策に協力申合せ
日商の商工相談所長協議會

中小商工業者の轉廢業問題が重大化しつゝある折柄、日商では九、十兩日東商會議室に第四回商工相談事務協議會を開催、全國各地より商工相談所長百三十名參集、關係官廳より係官出席して當面の問題たる

一、物資統制と配給機構整備
一、勞務動員と中小商工業者轉失業對策
一、國民更生金庫の運用方針

に關しそれぞれ說明あり、さらに關係官廳係官を中心に物資の配給機構問題ならびに商工組合の再組成、企業の整理合同、商工相談所の運營方針ならびに事務の改善等につき腹藏なき意見を交換したのち時局の進展に即應し日商指導のもとに全國商工相談所の連繫を緊密化し轉廢の中小商工業問題に對し政府の施策に協力して當面の問題解決に邁進すべき旨の申合せを行つた

國土計畫協議會設置を決定
關東地方商議

東商では關東地方商工會議所國土計畫協議會設置に關し十日正午より同所に關東各地の商工會議所理事の參集をもとめ協議會を開催、國土計畫上關東地方における諸問題につき意見を交換した結果、問題の調査審議機關として關東地方商工會議所國土計畫協議會の設置ならびに協議會規約を正式決定した、しかして同協議會は差當り緊急を要する左記問題につき調査研究を行ふと同時に政府の施策を促進し全面的にこれに協力することとなつた

一、緊急對策に關する問題
二、一般計畫に關する問題
工業配分、商業再編成、農業再編成、都市配置、交通問題、供給施設
三、開發計畫に關する問題

上海にまたテロ

【上海特電十日發】双十節の十日上海〇〇守備隊村瀬慶次郎一等兵が曹家渡附近を巡行中、二名の支那人便衣に背後より拳銃で狙撃され戰死した

有題無題

長沙作戰の綜合戰果について、中支軍から發表されたところによると、敵の遺棄死体だけでも、八万二千八百三十七といふ多數に達してゐる▼しかも、これは戰場で確認された數であつて、捕虜の言によると、このほかに、莫大な死体を埋沒したとのことであるから、實數はこれよりも、遙に大きな數字であらう▼長沙前面の第九戰區は、蔣介石の息のかゝつた中央直系の部隊で、兵力は三十四個師、約四十五万であつたが、これだけの戰死者を出したくらゐであるから、恐らく全軍ほとんど潰滅の打撃を受けてゐると見てい▼この作戰は、北支の山西攻略戰、南支の西江附近掃蕩戰とともに一聯の組織的な作戰を形成するもので、いづれもゲリラ戰術相手の討伐戰でなく、敵の抗戰中樞を衝いた進攻作戰である▼これらの作戰で、敵の各級指揮官の統帥が全く批判を極め、裝備も著るしく低下し、全軍にみなぎる戰意の衰退がこれまでの作戰に較べて、一段と顯著に感じられたさうである▼例へば、第九戰區の如きは、司令長官薛岳が「無敵の薛岳」を揚して、固守不敗を豪語してゐたにも拘らず、皇軍に數倍する兵力をもつてしてたゞの一回も有利な作戰態勢を獲得できなかつたのである▼重慶の深刻な苦悶はすでに蔽ふべくもない。この大事の瀬戸際に、軍事委員會參謀總長の重職にある何應欽が、戰線を棄て、參謀本部を離れ、あたふたと香港に飛んで行つて、米國軍事使節團長マグルーダー代將に泣訴した如きまさしく末期的苦悶の表徴だ▼「日本軍の進攻能力は、もはや、行詰まつた。いよいよこれからは反攻戰開始のときである」とは、今夏、ABCDの軍事協定が表面化したころ、有頂天となつた重慶が躍起になつて放送した宣傳であつたが▼それが、かくも散々に打ちくだかれては、米國軍事使節團に對しても赧かきまりが惡からう。

生徒募集 商工省 東京機械技術員養成所（機械工養成所改組） 所在地 東京市品川區大井鮫洲町二三八
◎入所資格 中學校・甲種實業學校卒・年齡滿二十五歲迄
◎修業期間 本科一ケ年、高等科半年、學資補給、授業料不要
◎入所 十一月一日…願書受付十月廿日限・詳細郵券封入照會の事
◎他府縣居住者は當該府縣商工課へ申込み推薦を受くる事

生徒募集 東京府立機械工養成所
◎高小卒（一ケ年卒業） 年齡滿十七歲迄
◎全員給費生……青年學校令施行規則第三十二條第一號の特典あり
◎入所十一月一日……願書受付十月廿日限・詳細郵券封入照會の事
所在地 東京市品川區大井鮫洲町二三八

天下一品！ 一家一瓶！
萬年筆用
ライトインキ
トイラ
2オンス入 ＠30セン
東京

小島政二郎著 女鹿
藤澤桓夫著 横顔

新刊 幻の馬
幻の馬車が映畫化されて數…つた此の長篇小說を遂に世に…にしたい。此の一卷には…ーデルグラン、ウンセット…ゆる傾向の作品を紹介する…
★世界女流作 待望ノ北歐篇出

書き下ろし長篇小說
榊山潤著 天
秀吉末期より德川初期に…丹宗問題を取上げ、作者は…中に悩みつゝも香り高く咲…の女性を中心に、切支丹大…反對者の同志に對する態度…えた魂の究極に於て究明し…
吉田貫三郎裝幀

高野正巳著 近世演
新銳劇文學者にして演劇史研…野を開拓した新著。「近世初…
河竹繁俊著 歌舞伎作者の研 定價六円

現代日本文明史 植民史 細

內田老鶴圃 新刊
東京日本橋大傳馬町一・振替東京一二一四六
改稿 アル…表
アルミニウム及…亘り一層研究を…ない。尚し日進…
改稿アルミ…
改訂 電氣…
邦文の電氣化學…學者にも亦專攻者…論を容易に而も徹…
電解化學及電…

クライスト作 ミヒャエ… コール…
クライストは本來の劇詩人で作者的な天分にも惠まれてゐたに收むる様々な物語が獨逸散文学たる藝術的香氣を放ち小品なななどと並んで不朽の文學的遺產…
吉江喬松全集第四回配本 第一…

憧れの大空へ

上羽田空港で旅客機に乗り込んだ母子部隊の日劇で行はれた航空日少國民の集ひで表彰された民間鳥人前列右から飯沼、中尾、河内、小川、塚越、下川の六氏、後列右から羽太、山口、篠原、佐藤の四氏

日空航ふけ

秋晴にはずむ

羽搏く母子部隊

賑やかに空の體驗

きのふまでの雨も晴れよつて廿日は國民體驗に迎へた第二回航空日、カラツとした秋晴れは航空日にふさはしい日和、この豊ある日、午前六時四十分大日本飛行團團長遠丈夫中將のAKのラジオ講話を皮切りに、同八時には練馬練兵場に陸軍二大將がマイクを通じて全國の少國民に呼びかけたのをはじめ、逓信省では航空功勞者の表彰を行ひ、大日本飛行團團では練馬練兵場下の

戰雲の空に體驗飛行かわづかに雲の名殘りをとゞめてけふ絶好の航空日和だ、大空を誠つて展開する新戰場の響音に羽田の空は朝げたこの日多彩なる空の行事の眞つ先を承る體驗飛行に參加の光榮を擔つた母と子八十組は八時ころから早くも羽田日航事務所に姿を現はし、九時ころには待合室のどの椅子もが年たちで占領されてしまふといふ盛況

晴れの使用機ダグラスD・C三輛が銀ジュラルミンの双翼をピンと張つてエンジンの試運轉に快い爆音をたてれば「やあ、すごいなア、かあさん、僕たちの乘る飛行機だよ」と切やたちは大變なハリ切りやう「大丈夫かしら、なんだか心細いわ」はじめて乘るダグラスにちよつぴり不信任を吐露する氣の弱いおかあさんへ「駄目だなア、お母さん、僕がついてるから大丈夫だよ」とこれはまたおそろしく氣の強い坊やだ

午前十時爆撃が事務所のまん前に引出され、マイクロホンが鳴々と體驗飛行の開始をアナウンスすれば百メートルのスタートラインに立つた選手のやうに緊張のため心持ち青ざめて落ちつかないらしいおかあさんたちの手を引つぱつて「早く上りたいなア」

かくて第一回體驗飛行は故大内が佐木町國民學校四年生特に選ばれた廿人の少國民の大空を體驗飛行を滿喫、降下後直ちに

心

本所では航空日を記念してそれ「少國民の集ひ」「甲學生の集ひ」「訓練會」と總打つて北谷國民學校、

乗り込んだ母子部隊99日劇で行はれた
表彰された民間鳥人前列右から飯沼、
山口、篠原、佐藤の四氏

秋晴にはずむ〝空の祭典〟

日空航ふけ

羽搏く母子部隊

賑やかに空の體驗

心躍る大空の子

本社の催

きのふまでの雨も晴れ上つて廿日は朝から秋晴れに恵まれた第二回航空日、厚生、逓信、運輸三大臣が夫々ラジオマイクを通じて國民學校初等科の時間に全國の少國民に呼びかけたのをはじめ、逓信省では民間航空功労者の表彰を行ひ、大日本飛行聯盟では東京、大阪、福岡、札幌の各飛行場で午後一時から愛機號、愛國號、愛國號の献納式を挙行し全国に亘つて航空日を中心に國民の士気を鼓舞した

中學生の集ひ 午前九時から市内各百貨店では航空思想普及會を催すなど遠く戰線にある陸、海の荒鷲の感謝に感謝しつゝ、航空日本を擁護する多彩な祭典に大いに賑つたよ」と抱きたちは大勢たのハリ切りやう「大丈夫かしら、なんだか心細いわ」はじめて乗るダグスにちよつぴり不信任を叫ぶする氣の弱いおかあさんへ「勇敢なお母さん、翼がついてゐるから大丈夫だよ」とこれはまたおそろしく氣の強い坊やだ午前十時練馬が軍務所のまん前に引出され、マイクロホンが朗々と國歌君代の開始をアナウンスすれば百メートルのスタートラインに立つた選手のやうに緊張のため心持ち背をかめて落ちつかないらしいおかあさんたちの手を引つぱつて「早く上りたいなア」

かくて第一回體驗飛行に乗込んだ故大内少佐未亡人静子さんと番町國民學校四年生拓君をはじめ特に選ばれた廿人の母と子は十分間遊覧の大空を機上に飛んで感激無量の表情、降りてきた部署毎に

君にどうでしたと感想を叩くと、答へて曰く「ああ、男の行くところ」とニコ〳〵してゐた

献納機命名式

國民の赤誠結晶した献納飛行機の壁海軍向命名式は午前の母子體驗飛行に引續き午後一時から軍代表宮内閣下臨席のもとに羽田飛行場で行はれた、愛國、全國民間組合、婦人聯合會その他の團體から献納された陸軍五機、海軍十四機は新しい機體を懐へ航空日本の

國歌を奏す、献納の各團體員はこの間早くから羽田に押しかけて、さしもの飛行場もさつしり、午後一時東條陸相、及川海相着陸して開式、國歌奏唱、陸軍、献納機があつて、先づ東條陸相は陸軍機に命名、次いで及川海相の海軍機に命名、陸海両相、各献納者代表などの玉串奉奠があつて、及川海相は一同の赤誠に感謝の辞を述べ、東條陸相は感謝状を交附、次いで陸相の謝辞があり、一同万歳を三唱、二時廿分式を終へた

少國民の集ひ

午前九時から丸の内日本劇場に都下各國民學校児童の六年生男女二千八百名が参集、西野八本武雄主幹の「空の話」や大日本飛行協會三浦機長、少将の「空への関心は飛行機から」との講話があり、終つてこの日封切りの本邦作製の映畫を観賞、東寶東京映畫配給提供の航空シヨウ「愛國」七巻に打ち興じ午近く楽しい集ひを終つた

女學生の集ひ

午前九時から日比谷野外音樂堂に都下千六百の女學生が集まりこゝでは銃後本社幹事部長や三浦海軍少将らの空の話を聞き引續き空の映畫を観賞、正午近く散會

中學生の集ひ

午後一時半から數寄屋橋に近の映畫館で過ぱれた都下二千五百の中學生が参集、航空同盟関東総督官の「青年とグライダー」の話や陸軍航空本部員の航空講話を聴き空への関心を更に新たにし午後三時近くまで意義ある午後を送つた

戰爭への"法王利用"

ル大統領の企圖

まんまと失敗

一蹴された『反ナチ正義戰』

【ニューヨーク本社特電十九日發】ルーズヴェルト米大統領がナチズムに對する戰爭を正義の戰ひと宣言するやうテーラー特使を通じローマ法王ピオ十二世に懇請し拒絶されたとの報道は米國政府に少からぬ刺戟を與へてゐる、權威ある筋の報道によればルーズヴェルト大統領は法王あてに

長文の書

を送りドイツに對する戰爭は正義の戰ひとすべきであると強調、米洲は戰爭終了後ソ聯における宗教の自由を確立すべくあらゆる努力を拂ふ旨を約束し、法王の贊成を求めた、しかるに法王は極めて長文の懇切なる回答を寄し、婉曲ではあるが斷乎としてこれを拒絶した、法王の回答の主要點をなすものは次の三つである

ピオ十二世ローマ法王 (下)テーラー特使

一、嚴密なる教義的、理論的見地において正義の戰ひといふが如きものは存在しない、從つて法王廳は戰爭の何れの側にも味方することは出來ない

二、法王廳もまた獨自の主義と利害と政治的目的を有す

三、主義と利害と政治的目的は常に兩行するもので、ある一點に合致しないものである

法王はナチズム、ボリシェヴィズムのいづれに對する戰爭にも嚴正中立を守らんとの決意固く、容易に動かなかつたと傳へられる

ル大統領が法王に向つて以上の如き要請を行つた主なる理由は米國の政治、經濟、文化、宗教および一般社會に絶大の努力を有するカトリック教徒を動かし同時に世界の新教徒を對獨戰に動員せんがためであつた、米國におけるカトリック教徒は現在

二千百萬

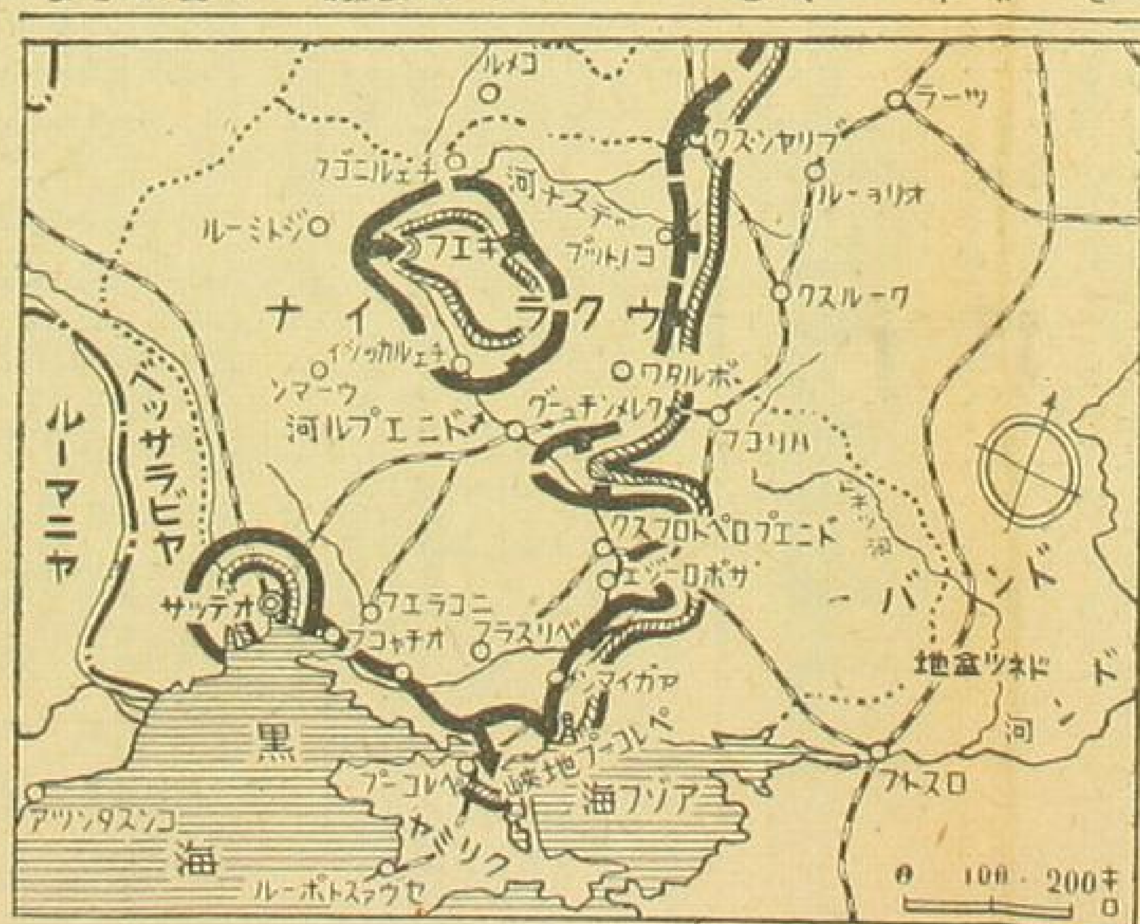
餘りであるがそのうちの多くは戰爭反對で、また親獨派も少くない

以上の如き政治的理由からルーズヴェルト大統領は法王を動かして戰爭政策に利せんとしたのであるが、法王の拒絶によりかれの描く世界新教徒の宗教動員は一頓挫を來したわけである

法王廳紙否定

【ローマ本社特電十九日發】ヴァティカン法王廳機關紙オッセルヴァトーレ・ロマーノ紙は十八日の紙上でルーズヴェルト大統領が法王に懇請した事實はないと否定的記事を載せた

一方テーラー特使も十八日ローマ駐在の米國新聞記者團を午餐會に招待し否定的言明をしたがこれは法王の拒否にあつて面子が立たず事實をひた隱しにしようとしたものと見られてゐる



黒海兩港の使用

獨、對勒要求內容

勒・條件附で受諾か

【ニューヨーク特電十九日發】獨ソ戰爭の進展に從つてブルガリヤの去就が注目の焦點となつてゐるが、ボリス・ブルガリヤ國王はソ聯に對抗してドイツ戰線に積極的に參加しようとしてゐるやうに見られる

ドイツの對勒要求は黒海沿岸のヴァルナ、ブルガス兩港の使用であり、この兩港を基地にしてドイツ海軍は黒海戰を開始しオデッサ包圍、セヴァストポール攻撃の歩を進めさらにバツーミにまで作戰を擴大しようとしてゐるのである

從來からのソ勒兩國民の親密的關係に鑑みても對ソ、對獨關係は頗る微妙な關係に立つてゐるのでブルガリヤがドイツの要求を受諾する場合にも何らかの條件を附するのではないかとも考へられてゐる

ドイツのレーダー海軍總司令は最近ソフィヤを訪問し、ブルガリヤ國王と會談した結果、ブルガリヤに[illegible]したイタリヤ艦のダーダネルス海峽通過といふ極めて巧妙な案を生み出し、すでにブルガリヤは右案をトルコ政府に提出したと報ぜられてゐるが、この問題はトルコの向背をも決するものでありドイツの黒海新作戰をめぐつて土獨兩國の態度は頗る注目される

キエフの赤軍降服

獨大本營發表

ライヘナウ將軍麾下の精鋭 終日の猛攻奏功

【ベルリン特電廿日發】獨總統大本營廿日發表＝キエフのソ聯軍全軍は廿日降服した、キエフ防衛軍は指揮官□亡によりその抵抗を中止するにいたつた

【ベルリン廿日發同盟】獨軍當局廿日正午發表によればキエフ占領の獨軍はフォン・ライヘナウ將軍麾下の精鋭でキエフの要塞にハーケンクロイツ旗を掲げたのは十九日午前十一時十分であつた、ブジョンヌイ將軍麾下ソ聯軍との同地における死闘は終日續き日沒に及んで獨軍は漸く全市を占領した、獨軍は十七日以來同市に對する總攻撃を開始したものである【寫眞はライヘナウ將軍】

【モスクワ特電十九日發】ソ聯情報局は十九日夜の戰況發表でキエフ附近の戰鬪は特に激戰中であると簡單に發表した、すでに獨軍當局は獨軍のキエフ突入を發表したが、ソ聯情報局はこれに關して否定も肯定もせず、口を緘してゐる

バ海のソ聯基地攻略

ヴォルムス、ムーン兩島

【ベルリン特電廿日發】獨總統大本營廿日發表＝バルティック海のソ聯基地ヴォルムス島は廿日ドイツ軍の占領するところとなり、ついでエーゼル島の攻略が開始された

【ベルリン廿日發同盟】獨軍司令部廿日正午發表＝獨地上部隊は十五日海軍及び空軍の協力のもとにリガ灣の入口に位するヴォルムス及びムーン島を占領した

ポルタワ占領發表

【ベルリン廿日發同盟】獨軍司令部廿日正午發表＝獨軍は十八日ハリコフ西南約百廿キロのポルタワを占領した

英護送船團を猛爆

【ベルリン廿日發同盟】獨軍當局

……利用
……と失敗
……ナチ正義戰』

……戰ひを通じローマ法王ピオ十二世に親書し拒絶されたとの報道は米國政府に少からぬ衝動を與へてゐる、權威ある筋の報道によればルーズヴェルト大統領は法王あてに

長文の書 を送りドイツに對する戰爭は正義の戰ひとすべきであると強調、米洲は戰爭終了後ソ聯における宗教の自由を確立すべくあらゆる努力を拂ふ旨を約束し、法王の賛成を求めた、しかるに法王は極めて長文の懇切なる回答を發し、婉曲ではあるが斷乎としてこれを拒絶した、法王の回答の主要點をなすものは次の三つである

(上)ローマ法王 (下)テーラー特使

一、嚴然なる教義的、理論的見地において正義の戰ひといふが如きものは存在しない、從つて法王廳は戰爭の何れの側にも味方することは出來ない

二、法王廳もまた獨自の主義と利害と政治的目的を有す

三、主義と利害と政治的目的は常に並行するもので、ある一點に合致しないものである

法王はナチズム、ボリシエヴィズムのいづれに對する戰爭にも嚴正中立を守らんとの決意固く、毫も動かなかつたと傳へられる

ル大統領が法王に向つて以上の如き要請を行つた主なる理由は米國の政治、經濟、文化、宗教および一般社會に絶大の努力を有するカトリック教徒を動かし同時に世界の猶教徒を對獨戰に動員せんがためであつた、米國におけるカトリック教徒は現在

二千百萬 余りであるが、そのうちの多くは戰爭反對で、また親獨派も少くない

以上の如き政治的理由からルーズヴェルト大統領は法王を動かして戰爭政策に利せんとしたのであるが、法王の拒絶によりかれの描く世界猶教徒の宗教動員は一頓挫を來したわけである

法王廳紙否定

【ローマ本社特電十九日發】ヴァティカン法王廳機關紙オッセルヴァトーレ・ロマーノ紙は十八日の紙上でルーズヴェルト大統領が法王に親書した事實はないと否定的記事を載せた

一方テーラー特使も十八日ローマ駐在の米國新聞記者團を午餐會に招待し否定的言明をしたがこれは法王の拒否にあつて面子が立たず事實をひた隱しにしようとしたものと見られてゐる

キエフの赤軍降服

獨大本營發表

終日の猛攻奏功

ライヘナウ將軍麾下の精銳

【ベルリン特電廿日發】獨總統大本營廿日發表＝キエフのソ聯軍全軍は廿日降服した、キエフ防衛軍は指揮官[illegible]亡によりその抵抗を中止するにいたつた

【ベルリン廿日發同盟】獨軍當局廿日正午發表によればキエフ占領の獨軍はフォン・ライヘナウ將軍麾下の精銳でキエフの城砦にハーケンクロイツ旗を掲げたのは十九日午前十一時十分であつた、ブジョンヌイ將軍麾下ソ聯軍との同地における死鬪は終日續き日沒に及んで獨軍は漸く全市を占領した、獨軍は十七日以來同市に對する總攻撃を開始したものである【寫眞はライヘナウ將軍】

【モスクワ特電十九日發】ソ聯情報局は十九日夜の戰況發表でキエフ附近の戰鬪は特に激戰中であると獨軍に發表した、すでに獨軍當局は獨軍のキエフ突入を發表したが、ソ聯情報局はこれに關して否定も肯定もせず、口を緘してゐる

バ海のソ聯基地攻略

ヴォルムス、ムーン兩島

【ベルリン特電廿日發】獨總統大本營廿日發表＝バルティック海のソ聯基地ヴォルムス島は廿日ドイツ軍の占領するところとなり、ついでエーゼル島の攻略が開始された

【ベルリン廿日發同盟】獨軍司令部廿日正午發表＝獨地上部隊は十五日海軍及び空軍の協力のもとにリガ灣の入口に位するヴォルムス及びムーン島を占領した

ポルタワ占領發表

【ベルリン廿日發同盟】獨軍司令部廿日正午發表＝獨軍は十八日ハリコフ西南約百廿キロのポルタワを占領した

英護送船團を猛爆

【ベルリン廿日發同盟】獨軍當局……

黒海兩港の使用

獨、對勃要求内容

勃・條件附で受諾か

【ニューヨーク特電十九日發】獨ソ戰爭の進展に從つてブルガリヤの去就が注目の焦點となつてゐるが、ボリス・ブルガリヤ國王はソ聯に對抗してドイツ軍の軍事行動に積極的に參加しようとしてゐるやうに見られる

ドイツの對勃要求は黒海沿岸のヴァルナ、ブルガス兩港の使用であり、この兩港を基地にしてドイツ海軍は黒海戰を開始しオデッサ包圍を進めさらにバツーミにまで作戰を擴大しようとしてゐるのである

從來からのソ勃兩國民の親善的傾向に鑑みても對ソ、對獨關係は頗る微妙な關係に立つてゐるのでブルガリヤがドイツの要求を受諾する場合にも何らかの條件を附するのではないかとも考へられてゐる

ドイツのレーダー海軍總司令は最近ソフィヤを訪問し、ブルガリヤ國王と協議した結果、ブルガリヤに寄港したイタリヤ艦のダーダネルス海峽通過といふ極めて巧妙な案を生み出し、すでにブルガリヤは右案をトルコ政府に提出したと報ぜられてゐるが、この問題はトルコの向背をも決するものでありドイツの黒海新作戰をめぐつて對英、土兩國の態度は頗る注目される

ソ軍全線に亘り崩壊の兆

英米の深刻な憂欝

【ニューヨーク本社特電廿日高田特派員發】一兩日來ロンドン、ベルリン、モスクワからの情報は獨ソ戰におけるソ聯の重大危機を傳へて米國政府を憂慮させてゐるが、キエフが十九日つひに陷ち、全戰線でソ聯軍の崩壞の兆が見え出したのでワシントンの憂鬱の表情はいよ／＼深刻さを加へて來た

日產生命
本社・東京・日比谷

ロンドン側から傳へられる情報は最も悲觀的であつて、ソ聯側が失つた兵力と

戰車 の損失は天文學的數字を示してゐるから英米が急速に大量の武器物資をソ聯に供給しなければソ聯は大敗北を喫するか、あるひは單獨講和を余儀なくされるだらうと報じてゐる、これは米國の對英對ソ援助を強化し米國の參戰を早めようとする英國側の宣傳でもあるが、ソ聯滅亡の危機が迫つてゐることは客觀的情勢がこれを裏書してゐる

ソ聯の抵抗力に最も大打撃を與へてゐるものは戰車の喪失である、ドイツは戰車が破損しても修繕して直ちに戰線へ繰出す設備を持つてゐるがソ聯側にはそれがない、從つて戰車は英米からの補給に待つの外はない、ところが戰車にしろ飛行機にしろ大砲にしろ英米側の現在の生產能力と輸送能力では逆立ちしてもソ聯の損失を十分に補ふことは出來ない

こゝに至り當然の歸結としてソ聯が選ぶべき途は二つしかない、すなはち

一、キエフ、レニングラード、モスクワを棄ててウラルの線に立籠りゲリラ戰的抵抗を續け今後の英米の援助を待つ

二、ドイツとの單獨講和

ソ聯が漸次崩壞の道を辿るとすれば、先づ第一に危險を感ずるのは英國であつて、英本土の

危機 は再び增大するのみならず、アジヤ方面ではトルコがドイツ側に走る可能性が強くなりイラン、スエズ、エジプトにおける英國の地位も危くなる

またABCDの日本包圍陣の一角は崩れて現在の微妙な日米關係は別の緊張狀態に移るであらう、また米國の對ソ援助および外交も一大修正を余儀なくされるであらうが、ヒットラー總統とナチズムをあくまで粉碎せずんば止まずとなすルーズヴェルト政府の根本方針には變更は起らないであらう

昨年フランスが崩壞した當時米國は周章狼狽したがソ聯が崩壞したとしたら、ルーズヴェルト大統領の顔は丸潰れの形になつても、米國の危機を強調する點においては却つて有利な立場におかれ孤立派はむしろその勢力を失ふであらう

英軍テヘラン入城

【テヘラン特電十九日發】裝甲車數百より成る英軍は十八日テヘラン市を行進の後市の東郊に駐屯した、ソ聯軍は十七日にテヘランに入城したがこれは英ソ打合せの手違ひによるものである、英軍は市東方スコダ機關銃工場を占領した

◇…村上啓作陸軍中將(栃木縣) 中支戰線に二ケ年活躍、武勳を樹て廿日午後長崎入港の上海丸で歸還、上り急行で東上した(長崎發)

◇…褚民誼駐日大使 中日文化協會理事長として同會武漢分會の招請に應じ廿日午後零時十六分着中華航空便で漢口に着いた(漢口發)

◇…華北政務委員長王揖唐氏 蒙古政府へ親善挨拶のため蒙疆を旅行中であつたが廿日午後五時廿分空路北京に歸還した(北京發)

難関を突破する ⑪

「わが荒鷲は晝と夜を問はず毎日のやうに大擧して敵都敵陣を襲ひ戰史未曾有の戰果を擧げてゐる、それなのに支那の飛行機はさつぱり日本内地へやつて來ない、これは一体どうしたことだらう？、國民はかうした疑問について考へたことがあるだらうか？、日本の空軍が強くて支那の方が弱いからといふんではいさゝか物足りない、問題は日本の空軍はどうして強くなつたか、だ——たゞ努力によつて幾多の難関を突破してきたのだ、常に難関に直面するの心構へ、言ひ換へれば一歩だりとも現状に甘んずることなき"航空魂"をひつさげて、過去三十年、血の出るやうな精進を續けて來た、その賜ちやよ」——九段軍人會館在郷軍人會の會長室、語る人はわが荒鷲の生みの親と呼ばれる井上幾太郎大將である

寫眞 上は明治四十四・五年に出來た國產の氣球研究會式軍用機・下は語る井上幾太郎大將

相次ぐ殉職に發憤 せめての願ひ"國產機"

わが空軍の搖籃期 語る人 井上幾太郎大將

昔のことをいふと君たちは

笑ふ かも知れんが、昔といつてもわづか二十餘年前、航空部隊の創設の際には、今から考へると嘘のやうな苦勞が多かつた「飛行機は軍のお役に立つ」かうした判りきつたことを、まづ當路者に了解させにやならん、これが第一の難関さ

こんな調子だから飛行機を戰爭に使ふなんていはうもんなら、まるで氣狂ひ扱ひにされたもんだ、臨時氣球研究會が政府から貰ふ豫算だつて、初めのころはタッタ七十萬円、それがその後だん／＼殖えるどころか、逆に四十萬円に削られてしまつた、今なら一寸した飛行機一台分の製作費に過ぎんぢやないか

飛行機の軍用的價値がはつきり認められ出したのは第一次世界大戰からだ、列國は競つて航空機の發達に狂奔してゐる、飛行機は新鋭兵器としてどん／＼實戰に使はれる、こりやいかん、かうしてはをれんといふので、日本でもやつと本腰を決めかゝつた、ところがこれがすでに

手遲 れで大變なことが起つた、フランスから買つてゐた機體や發動機が、大戰のため全然手に入らなくなつたんちや、負けん氣をだして飛行機を作つてはみるが、日本製の飛行機はさつぱり飛ばない、飛び上つたと思ふと直ぐ墜ちる、まるで話にならん、そこで我々その局に當る者が考へついたのは「どうしてもよい國產機を作らねばいかん」といふことだつた、自分の手で立派な飛行機を作れんやうではいざといふ場合お役に立たん、これは石に噛りついても、何とかせにやいかんといふことになつた、この苦い經驗こそ將來の日本空軍を生み出す上において、貴重な試煉となつたのだ

ある意味ではわが空軍建設史上の最難関ともいふべきこの難境は、大戰が終つてフランスから來朝した例のフォール大佐一行五十余名の、航空技術指導團の指導によつて打開されることになつた、新しい組織を編成して眞劍な荒鷲の精進が開始されたのだ

しかし正直の話、そのころの日本の工業技術は幼稚極まるもので、氣のきいた飛行機の設計製作など思ひもおよばない、第一肝腎の資材—鋼材だとか輕金屬なんてものすら出來ん状況だ、それでも作らにやいかんといふので數年間といふもの、文字通り血の出るやうな苦心が拂はれた、或る規格の飛行機を作らうと思つて、會社へ試作を命ずると、會社の方では資材が無いの、こんな難かしい仕事は出來ないのといつて悲鳴をあげる、つひには檢查官の方でも、少し規格を下げたらといつてくる、しかし規格を下げてつまらんものを作つたところで何にもならん、どうやらかうやら出來上つて見ると、べら棒に高いものにつく、同じものでも外國から買へば半分か三分の一ぐらゐの値で買へるのだ、一時は世間から隨分非難されたもんちやつた、發注があればどんな要求にでも、たちまち自力で應ずることの出來る現在の工業力も、かうした苦心を經て完成したものだ

乘員 世間の無理解にもかゝはらず、當時操縦訓練を受ける人々の氣持は、羨ましいほどに眞剣だつた

はじめのころ殉職者が
出るので、もう少し訓練に
加へるわけに行かんか、
やうな注意を受け、我々
立場にある者としては忍
ものである、しかし本人
むしろ殉職者の出る度に
よ士氣を鼓舞されるのだ
の屍を越えて征くの氣概
例へばまた一人殉職者が出
の告別式があつたとする、
らもう飛行機に乘るもんちよ
と思ふところだらう、それが
なんちや、告別式が済むとす
で眞直ぐ飛行場へ馳けつけて
ぐ訓練をはじめるといつた
だ、この努力、この精神、
今日の日本空軍を築きあげた

世界 をアッといはせた
渡洋大爆撃の
でも、ノモンハンの大戰果に
も、崇高なる思ひつきや偶然で
る譯ぢやない、平和時代か
營々と人知れず猛訓練を積みた
た日本空軍だからこそ、やり
得たのである、時局はいよ
戰ちや、我々はこれからこの
を越さねばならん、縦
訓は今も昔も變りはない、航
の発揚あるのみだ

難関を突破する ⑯

條約改正を闘ひとる 語る人 金子堅太郎伯

寫眞 (上)の繪は明治二十年四月二十日首相官邸における假裝舞踏會 ×印は「ヴエニスの商人」に扮した伊藤博文公 ○印は長州の奇兵隊員に扮した山縣有朋公 (中)の寫眞は語る金子伯 (下)の寫眞は明治中期の鹿鳴館

明治の黎明期、時の宰相伊藤博文公、井上馨侯、山縣有朋公等の元勳が何が故に蠻踊で踊つたか、不磨の大典「帝國憲法」制定の議に参畫し今は唯一人の歴史的存在として湘南の地にある金子堅太郎老伯は往時を追想し條約改正の裏面の苦心を物語り内外の山積せる難関を如何に突破したかを明にしてくれた

"列強並み"への精進 苦肉の社交、鹿鳴館に

西洋文化の移入は明治初年政府が率先して唱導し奬勵したが、同時に民權思想や自由思想も入り、内には自由民權の聲が喧しく外には條約改正の叫びが澎湃として起つてゐた

明治十七年四月、私が元老院書記官をしてゐた時伊藤公から井上(毅)が使となつて私を秘書官として迎へられ、間もなく伊藤公を中心として井上(毅)と伊東(巳代治)と私と三人が憲法起草の大事業に参畫することとなつた、明治十八年に政治機構が改革され政府の中樞機關として内閣を設け第一代の首班には伊藤公が親任された、かくて内閣が新に成り内閣の手によつてなさなければならぬものが山積してあつたが、その中で最も重大なものは、歐米諸國との通商條約の改正であつた

德川 幕府によつて締結されたこの條約は、維新以後新政府が踏襲したが、輸出入品の關稅率やら治外法權やら我が國に不利なるものばかりで、明治政府はこれが改正を企圖したけれども遂げ得ずして遂にこの時に及んでしまつた、それで伊藤公としては憲法の實施と條約改正とを併行的にやらうといふ意氣で、内治外交の一大刷新をなし帝國を泰山の安きに置かうと企圖してゐたもので、營々として動搖つねなき政界に棹さして憲法の起草につくす他方においては條約改正の前唱歌といふわけで實に多事だつた、ところが各國公使らは異口同音に

いくら條約改正を叫んでも日本の現状では對等の交際が出來ないではないか、第一に日本は社交的に獨立してゐるかどうかも判らない

といふて、てんで相手にしない、これには流石の伊藤公も弱らされた、各國の使臣と交際する必要を痛感した結果、禮式は洋式となり要路の大官夫人や宮内官夫人らは洋装をするととなり伊藤公から洋裝の生地を贈つてこれを奬勵、ダンス、バザーなど連日連夜の舞踏會遊に種々の趣向がこらされ、いはゆる鹿鳴館時代を現出するに至つたのだが、田舍から出た大十過ぎの大官夫人が着なれない洋装で鹿鳴館へ出入りして踊るなど、歐化主義が都鄙を風靡するに至つたので、國粹保存者から異文明に心醉したとか、外交官の御機嫌ばかりをとつてゐるなどとて悪口をいはれ新聞も筆を揃へて攻撃したものだ

然し伊藤公はあゝした人ですから、これには少しも弁明せず、ひたすら國家の大

經綸 に向つて目を
てゐた、大隈
の前にやむを
ば苦肉の一策ともいふ
で、親の心子知らず
べきか、一般の
うになつた、憲法は明治二十二年紀元の佳節に發布されたが、條約改正は中途幾多の難関に遭遇し不幸にして遅れてしまひ、伊藤公の心中は想像するだに余りがあつた、憲法は発布され、皇室典範をはじめ議院法、貴族院令、衆
議院議員選擧法
に至り、國會も開
となつて國内的
し得たものの
の條約改正は依然
うな存在となつて

殉職に發憤 せめての願ひ"國產機"

…の揺籃期 語る人 井上幾太郎大將

…かん、かうしてはを…で、日本でもやつと…ふつた、ところがこれで大變なことが起つた、フランス…た發動機が、…總手に入らなくなつ…けん氣をだして飛行…するが、日本製の飛…り飛ばない、飛び上…く墜ちる、まるで…そこで我々その局に…いたのは「どうし…機を作らねばいか…だつた、自分の手…を作れんさうでは…合お役に立たん、…りついても、何と…といふことになつ

た、この苦い經驗こそ將來の日本空軍を生み出す上において、…な試驗となつたのだ

ある意味ではわが空軍建設史上の最難関ともいふべきこの…は、大戰が終つてフランスから來朝した例のフォール大佐一行五十余名の、航空技術指導團の指導によつて打開されることになつた、新しい組織を編成して實際な苦難の精進が開始されたのだ

しかし正直の話、そのころの日本の工業技術は幼稚極まるもので、氣のきいた飛行機の設計製作など思ひもおよばない、第一肝腎の資材―鋼材だとか軽金屬なんてものすら出來ん状況だ、それでも作らにやいかんといふので數年間といふもの、文字通り血の出るやうな苦心が拂はれた、或る規格の飛行機を作らうと思つて、會社へ試作を命ずると、會社の方では資材が無いの、こんな難かしい仕事は出來ないのといつて悲鳴をあげる

つひには検査官の方でも、少し規格を下げたらといつてくる、しかし規格を下げてつまらんものを作つたところで何にもならん、どうやらかうやら出來上つて見ると、べら棒に高いものにつく

同じものでも外國から買へば半分か三分の一ぐらゐの値で買へるのだ、一時は世間から隨分非難されたもんぢやつた、發注があればどんな要求にでも、たちまち自力で應ずることの出來る現在の工業力も、かうした苦心を經て完成したものだ

「乘員」の養成、これがまた大事業だつたが世間の無理解にもかゝはらず、當局に熱誠訓練を受ける人々の氣持は、涙ぐましいほどに眞剣だつた

はじめのころ殉職者が出るので、も少し訓練に手心を加へるわけに行かんか、といふやうな注意を受け、我々指導の立場にある者としては恐縮したものである、しかし本人たちはむしろ殉職者の出る度にいよいよ士氣を鼓舞されるのだ、戰友の屍を越えて征くの氣概だ

例へばまた一人犧牲者が出て、その告別式があつたとする、普通ならもう飛行機に乘るもんぢやないと思ふところだらう、それが反對なんぢや、告別式が濟むとその足で直ぐ飛行場へ驅けつけて、すぐ訓練をはじめるといつた調子だ、この努力、この精神、これが今日の日本空軍を築きあげたのだ

「世界」をアッといはせた渡洋大爆撃の壯擧でも、ノモンハンの大戰果にしても、單なる思ひつきや偶然で出來る藝當ぢやない、平和時代から默默と人知れず猛訓練を怠らなかつた日本空軍だからこそ、やり遂げ得たのである、時局はいよいよ多難ぢや、我々はこれからこの覺悟を更さねばならん、戰鬪突破の要訣は今も昔も變りはない、航空界の發展あるのみだ

"列強並み"への精進 苦肉の社交、鹿鳴館に

…した山縣有朋公、(中)の寫眞は語る金子伯、(下)の寫眞は明治中期の鹿鳴館

內閣を設け第一代の首班には伊藤公が親任された、かくて內閣が新に成り內閣の手によつてなさなければならぬものが澤山あつたが、その中で最も重大なものは、歐米諸國との通商條約の改正であつた

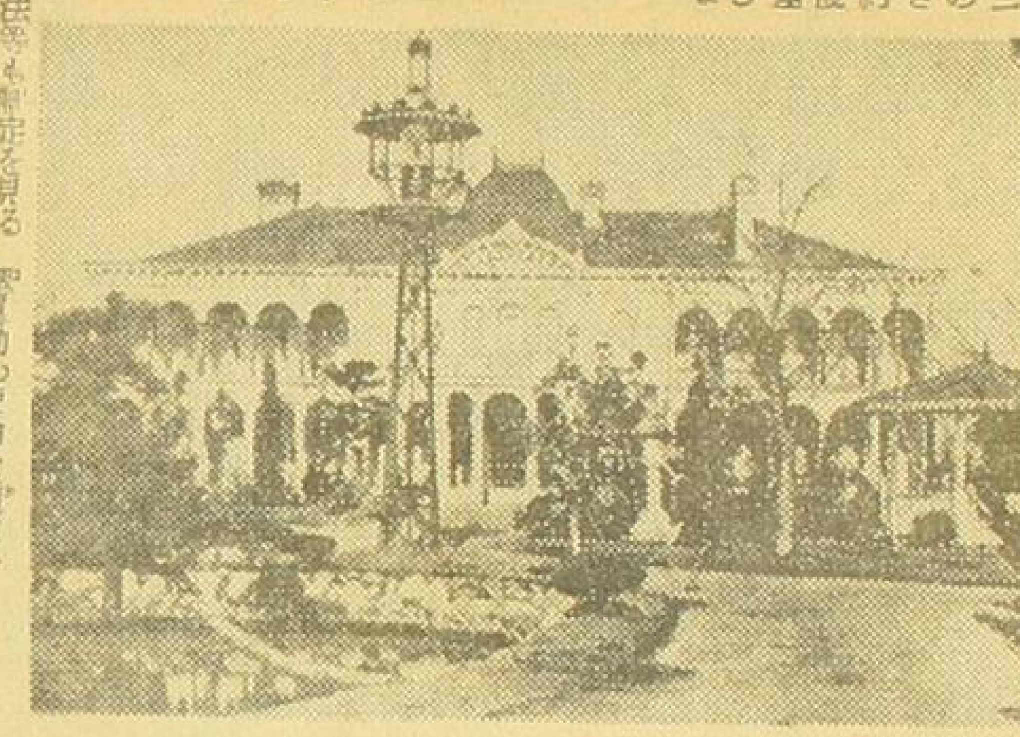
「徳川」幕府によつて締結されたこの條約は、維新以後新政府が繼承したが、輸出入品の関税率やら治外法權やら我が國に不利なるものばかりで、明治政府はこれが改正を企圖したけれども遂げ得ずして遂にこの時に及んでしまつた、それで伊藤公としては憲法の實施と條約改正とを併行的にやらうといふ意嚮で、內治外交の一大刷新をなし帝國を泰山の安きに置かうと企圖してゐたもので、營々として動搖つねなき政界に挑さして憲法の起草につくす他方においては條約改正の前唱歌といふわけで實に多事だつた、ところが各國公使らは異口同音に

いくら條約改正を叫んでも日本の現狀では對等の交際が出來ないではないか、第一に日本は社交的に獨立してゐるかどうかも判らない

といふて、てんで相手にしない、これには流石の伊藤公も困らされた、各國の使臣と交際する必要を痛感した結果、儀式は洋式となり要路の大官夫人や宮內官夫人らは洋裝をするとなり伊藤公から洋裝の生地を贈つてこれを獎勵、ダンス、バザーなど連日連夜の饗莚會遊に種々の趣向がこらされ、いはゆる鹿鳴館時代を現出するに至つたのだが、田舍から出た大官過ぎの大官夫人が着なれない洋裝で鹿鳴館へ出入りして踊るなど、歐化主義が都鄙を壓するに至つたので、國粹保存者から異文明に心醉したとか、外交官の御機嫌ばかりをとつてゐるなどとて惡口をいはれ新聞も筆を揃へて攻撃したものだ

然し伊藤公はあゝした人ですから、これには少しも弁明せず、ひたすら國家の大

「經綸」に向つて巨歩を進めてゐた、大隈竟に現の前にやむを得なかつた、いはば苦肉の一策ともいふべきもので、親の心子知らずとでもいふべきか、一波動きて万波起るやうになつた、憲法は明治二十二年紀元の佳節に發布されたが、條約改正は中途幾多の難関に逢着し不幸にして遲れてしまひ、伊藤公の心中は想像するだに余りがあつた、憲法は發布され、皇室典範をはじめ議院法、貴族院令、衆議院議員選擧法等も制定を見るに至り、國會も開設される運びとなつて國內的の大難関は突破し得たものの治外法權撤廢などの條約改正は歷代內閣の癌のやうな存在となつてなか〳〵埒あかず井上(馨)外相は中途に外相を辞したり、或は大隈外相も狙撃されるなどして全く前途暗澹たるものとなつた



私は明治二十三年山縣內閣の時に國際法の研究をかねて治外法權撤廢國際運動の使命を帶びて

「渡歐」したが、その頃歐洲には"國際法協會"といふものがあつて各國の國際法の權威が集まり國際問題を檢討してゐた、何しろ各國の一流メンバーを以て組織してゐるので非常な勢力をもつてゐて、その總會の決議は各國を動かしてゐたものだ、日本もこれまで條約改正の運動をやつて居りながらかうした機関に諮つたことはなかつた、會員は約百名ばかりだつたが、私は幸ひ旧知のつてを得てこの總會の人々に日本の條約改正の急務なる所以を力說しその諒解を得るとに百方つとめた

そしてその翌年になつて國際法協會では私を日本代表の會員として認めることとなり、さらに翌二十五年秋ジュネーブで開かれる總會に出席せよといふ通知をうけた、そしてその際には日本の憲法、民法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法、商法及び裁判所構成法を英佛いづれかの外國語に飜譯してもつて來いといふ、當時司法大臣は山田顯義伯で司法省では夜を日についで

「飜譯」し私はそれを持つてジュネーブ會議へ出かけた、その間に松方內閣が總辞職し伊藤公が內閣を組織した、またロンドンへ到着の直前英國ではソルスベリー保守黨內閣が倒れてグラッドストン內閣となつた、私の旧友ナットフォード卿は保守黨內閣の植民大臣だつたが、私を引き入れ

伊藤公は世界の大政治家で伊藤公の內閣中にソルスベリー首相は日本との條約改正をしたい所存だつたが、實現出來ずに下野するのは遺憾だ、然し今後必ずこの問題のためにつくすから伊藤公にその旨を通知して貰ひたい

との事だつた、これで條約改正には殆ど乘氣でなかつた英國のあまりに耳よりな話に、私はむしろ自分を疑ふ位だつた、それから私はグラッドストン內閣のランカシヤ公國相ジェームス・ブライス氏を訪ねたが、生憎スコットランドの選擧區に出かけて留守だつたので夫人は早速電報を打つたところすぐ返電があつて明朝八時に歸宅するから八時半朝食を共にしたいとのことだつた

「舊知」の間柄であるので私は翌朝八時半少し前に行つたところ彼はいまだ旅裝もとかず私を歡迎してくれ、そしていふには

新內閣は前內閣から日本との條約改正問題を引きついだ、僕はその條約改正について主任として調べることになつてゐるのでいつでも折衝に應ずる

との事だつた、直ちに宿へかへつて兩氏の話を詳細に認めた手紙を伊藤公へ送つた、後で伊藤公は「英國の事情を聞いて自分は大へんな力を得た」というてゐたが、明治の前半を通じての大問題だつた條約改正問題もこゝにやうやく緒につくことが出來たわけで、この緒口にたどりつくまで我が先輩がどんなに苦心したか判らぬ、私はそれからジュネーブへ廻つて國際法協會に出席、躍進日本のすがたを詳細に述べたが翌明治廿六年ハンブルグの總會で

日本は法治國として歐洲には劣らぬ、支那、シャム、トルコ、ペルシヤ等のアジアの列から引き拔いて日本だけには條約改正を許して差支へなし

といふ決議をなしこれを關係各國政府へ送つた、これらの雲間氣は條約改正を急速に促し明治廿七年に至つて遂に實現されるに至つた

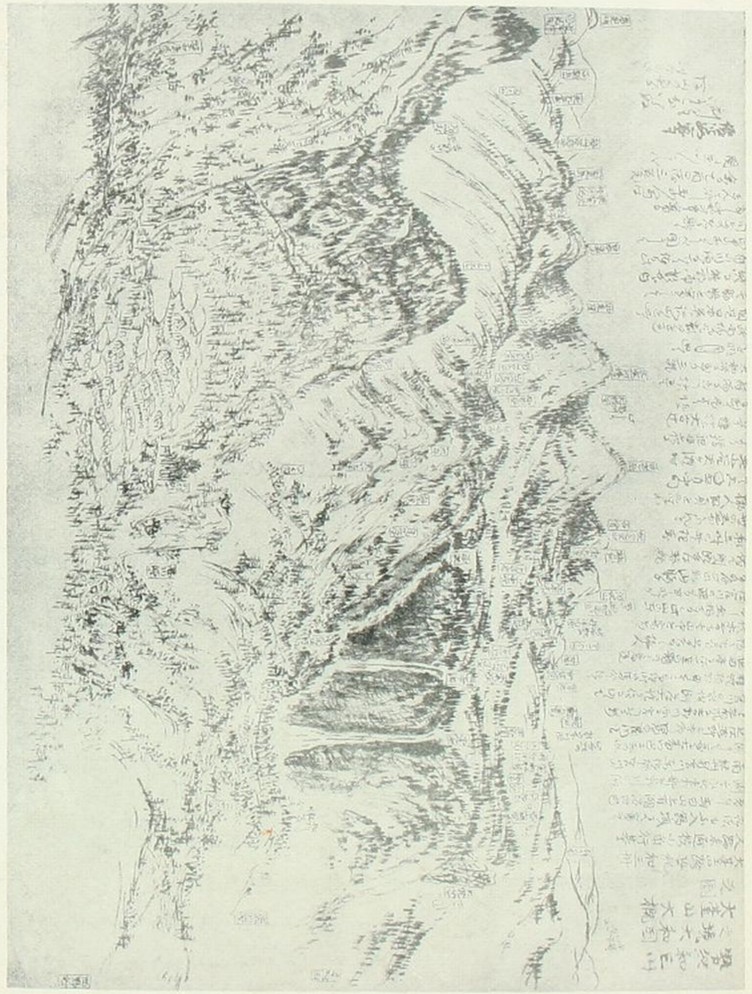
高台 [illegible]
渋谷駅ヨリ玉電三分、大坂
二万六百坪・坪百十円ヨリ
電燈 水道 下水 工事中

右江川坦庵筆　雷神圖　靜岡柏木俊一氏藏

—— 本文三十頁參照 ——

左江川坦庵筆　雲龍圖　靜岡仁田大八郎氏藏

閲覧室



圖之觀大山蓋大　筆郎四武浦松

榛原製

各葉共に肉筆署名落款付
國粹木版藝術の眞隨を盡せる豪華版

全四十八枚揃　特製上帙入
頒價　金二百五十圓
各葉肉筆署名入限定版　五十組限り

先着御申込五十組限り頒布致しますと
賣切と同時に絶版とすまりあでのもるな

全二輯四十八枚の內容一覽

巡禮　金魚屋　川船頭　寫眞班　蹄鐵工　研師　兵士休憩　旋盤工　踏切番　虛無僧　電線工　船宿　洋樂師　拳闘家　庭球　桶屋　飛行士　漁師　紙芝居　夕刊賣　陶工　サラリーマン　旗屋　花賣

魚賣　琵琶師　織女　保姆　コツク　女髮結　靴磨　出前持ち　石工　牛乳搾り　大道易者　おでんや　ダンサー　酒杜氏　劍道師範　ガソリンガール　温室園藝　風呂屋　鍛冶屋　農家　釣り堀　鐵工　炭屋　救世軍

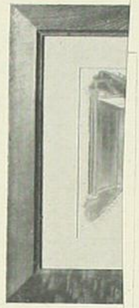
定規賣分
四枚一口　二十五圓
二十枚一口　七十圓

東京日本橋
高島屋
昭和職業繪畫頒布會

皇紀二千六百年奉讃刊行

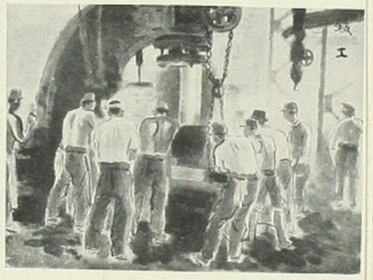
帝國藝術院會員

和田三造先生作



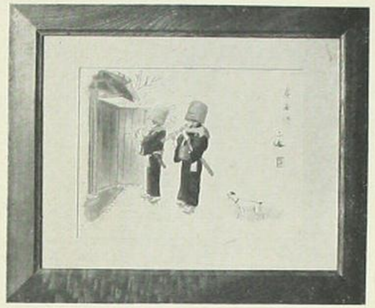
特製額縁

一個　九圓八十錢

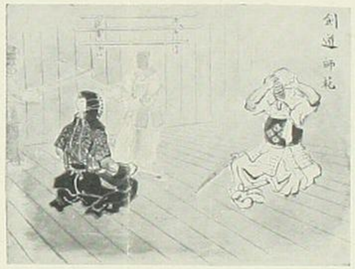


國粹版畫昭和職業繪盡しは巨匠和田三造先生がその雄渾の筆に聖戰下に於ける國民生活を描かれ、これを後世に殘される貴重なる美術品であります。

今回その完成を記念して、特別展觀を催します。切に御來觀をお待ち申上げます。

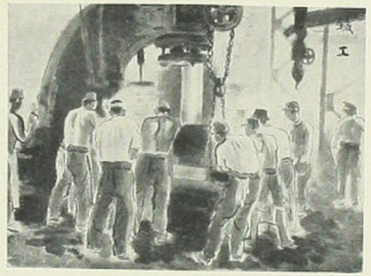


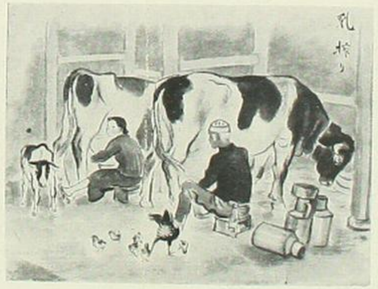
特製額縁
一個　九圓八十錢



用紙　別漉鳥の子紙
版畫寸法　一尺二寸五分　九寸五分（全部同大）
畫紙　空押付特製原和紙

各葉共に和田先生の肉筆署名入り





國粋版畫昭和職業繪畫しは巨匠和田三造先生がその雄渾の筆に聖戰下に於ける國民生活を描かれ、これを後世に殘される貴重なる美術品であります。
今回その完成を記念して、特別展觀を催します。切に御來觀をお待ち申上げます。

紀元二千六百一年　昭和十六年十一月十八日（火曜日）（十七日夕刊發行）　東京日日新聞　（明治二十五年三月八日第三種郵便物認可）（明治五年創刊）　第二万三千四百七十五號　D

夕刊　東京日日新聞

季節と信託
讀書の秋
結婚の秋
收穫の秋
學資保險信託
結婚資金信託
保險信託
住友信託
東京支店　丸ノ内一

帝國百年の計・擧國邁進

東條首相　自存自衞の三原則宣言

第七十七臨時議會は十五日召集、十六日開院式をとり行はせられ一切の準備を完了したので、けふ十七日はいよ／＼本格的審議に入り、一億國民總出動の態勢を内外に暗示した、この日貴族院は東條首相の施政方針演說に始まり、東郷外相の外交演說があり、何れも内外施政の根本國策を力強く述べ殊に日米外交交渉についてはその經過の大半をこれに費し「帝國百年の計を決すべき重大なる局面に立つ」と斷じ、帝國の生命線確保を叫び政府の施策に信頼と多大の感銘を與へた、かくて貴族院は施政方針演說に對する質問なく、直ちに國策遂行に關する決議案を緊急上程、島津忠重公（火）は全會派を代表して趣旨說明を行つた、一方衆議院は貴族院におけると同樣首相、外相について賀屋藏相の財政演說があり、これに對し衆議院代表として小川郷太郎氏（翼同）は堂々内閣に所信したる體裁を示し政府施政の根本に觸れて政治、經濟各般の問題に亘り臨時議會ならでは見られぬ建設的質問を發して政府に協力の態度を示し、ついで日程に移つた、他方衆議院の豫算委員會は夕刻から開かれて卅八億円に上る臨時軍事費豫算追加案を可決した後本會議を再開して貴族院に送附する、かくて本格的審議第一日の衆議院はかねて國民の聞かんとする日米交渉の經過聽取とこれに對する帝國の態度に集中され、これに關聯して議會側また飽くまで政府、議會、國民擧國一體の歷史的劃期の議會たらしめんとの努力が質問その他の審議に現れた

貴衆兩院　本格審議

軍事費あす成立

卅八億円の臨時軍事費追加豫算案は十七日夜の衆議院豫算總會で即決可決、直ちに本會議に緊急上程、政府原案通り可決、即夜貴族院に送附されるが、貴族院では同臨時軍事費追加豫算案に對しては政府の臨時議會に鑑み臨時に協力する建前から十八日豫算總會に附議、衆議院同樣即決可決、直ちに同日の本會議に緊急上程、衆議院同樣無修正で可決して速かに成立せしめることとなつた

經濟封鎖の敵性　斷じて默過せず
歐戰の東亞波及防止

東條首相は内外の注視をあつめた施政方針演說において、特に…敵性諸國の經濟封鎖政策が武力戰に異らぬ敵對行爲である點を指摘し、帝國自存上斷じて默過せず

と力說した、かゝる國際環境において帝國は百年の大計を樹つべき重大な秋に立ち至つたことを警め、帝國が世界の平和を確保しつゝ帝國自身の歷史的使命を完遂するために絕對に主張せねばならぬ外交上の三大方針を内外に闡明した

東條首相施政演說（上は貴族院にて…）

首相演說内容

現下重大なる時局に際し、第七十七回帝國議會開會せられ、開院式に當つては優渥なる勅語を賜はり、洵に恐懼感激に堪へない、この機會において政府は國策遂行に關し率直に所信を披瀝して各位の御協力を與ひ、擧國一體磐石の意志を以て、現下未曾有の國難を克服し、以て聖慮を安んじ奉りたいと存ずるのである

援蔣諸國が事變解決妨害

現下帝國を繞る世界の情勢を按ずるに、支那事變は御稜威の下忠誠勇武なる將兵の奮闘と、熱誠強靭なる銃後の活動と相俟つて赫々たる戰果を收め、重慶政權の抗戰力は日に月に低下しつゝある、また他方國民政府の建設は着々進捗し、今や多數の友好列國は國民政府を承認し、事變解決は最後の段階に到達してゐるが、援蔣諸國の經濟的、軍事的策動は益々活潑となり、重慶政權の抗戰力に對する唯一最大の支柱として帝國の事變解決を妨げてゐる次第である

北邊安定に遺憾なき措置

更に北方においては本年六月獨ソ開戰以來、事端漸く滋からんことを思はしめ、事態の推移は帝國として無關心たるを得ざるものがあるので、我が北邊の安定のため遺憾なき措置を講じつゝある

また南方においては昨年北部佛印に皇軍の進駐となり、次で日・佛印の經濟協定、タイ・佛印の紛爭調停等、帝國と佛領インド支那との友好關係は漸く增進し、南方に對する帝國の平和的進…

北方の安全を確保

南方民族の協力確信

經濟封鎖は武力行爲以上

重ねて優渥な勅語を賜ふ

米英の壓迫に隱忍　平和へ最高努力
知れ・協調にも限度あり

外相演說

て邁進せんとの牢固たる決意を披瀝して帝國外交の指向するところを明かにした【寫眞は壇上の東郷外相】

平和確保の高邁なる精神を明かにすると共に、東亞の天地に正義に立脚する平和を確立せんがための國策完遂のため萬難を排し

外相演說内容

帝國は東亞新秩序建設のための征戰に從事すること既に四年を閲し、擧國一致聖戰の完遂に邁進しつゝある、私は先づ御稜威の下に前線に奮闘するわが忠勇なる將兵の武運長久を祈願すると共に幾多の尊き英靈に對し敬弔の意を表する

帝國外交の大道

帝國の對外國策の基本方針が東亞の天地に、正義に立脚する平和を確立し、以て世界人類の福祉增進に寄與せんとするに存することは更めて多言を要せぬ所である、帝國が明治維新以來營々乎として國運の伸張を成し遂げたのも實にこの大義に立脚せる不斷の努力の賜に外ならぬ、顧みるに過去七十余年間帝國は幾度か國難を打開して來た、就中日露の戰役は東亞の平和に對する禍根を排除せんとする擧國必死の大事業であり、爾來帝國は東亞における安定勢力としての歩武を進めて來たが、今や東亞の天地に、正義に基づく新秩序を確立し、以て世界平和に貢獻せんとするの大業に邁進しつゝある、幸にして獨伊兩國は、帝國とその聲調を同うしさきに三國條約の成立を見たのであつて、同條約が過去一ケ年余の期間においても、す…

隣組防火を義務制
都市退去嚴禁
防空法改正の諸點

現行防空法（昭和十二年四月制定、同年十月から施行）は當局ではその後内外諸情勢の急激なる變化に鑑みこれが監督の必要を認め、その改正について慎重檢討を重ねてゐたが、最近の防空訓練の實績に徴し速かに實戰即應の國民防空の態勢を強化するため、十七日の貴族院本會議に「防空法中改正法律案」が上程され委員附託となつたが、今回の改正法案の内容の重要なる諸點について、内務省では十七日午前十一時半次の如く藤岡防空局長談を發表した

僞裝・應急復舊加ふ

◇…今まで防空といへば燈火管制、消防、防毒、避難、救護、監視、通信、警報の傳達に限られてゐたが、その外に僞裝、防火、防彈、應急復舊等の事項を加へ、防空法の規定の運用が廣められ防空上遺憾なきを期することになつた

建物の防火改修

◇…重要都市における木造建物を防火構造にすることは、防空上最も緊要な事柄で、一昨年四月防空建築規則を施行して一定の都市においては、新たに建築する木造建物につき防火構造を命じてゐる、またその…

特殊建物を分散

◇…次に都市防空において最も重要な事柄は、…建築物、または…を著しく増大せしむるやうな危險な…ることで、その…を得ない場合は…定してこれ等の…たは制限し、…ついても、その…命じ得る途を…また防空上重要…物等の分散を…る場合には、…轉を命じ得る…

空地地區を指定

◇…都市においては、防空上の見…

◇…一定の重要都市の居住者であつて防空に從事し得る者は、空…

妨害的音響を禁止

自衛防空を強化

費用等の國庫負擔

燈火管制違反も嚴罰

一億重大決意の秋
日米交渉 米の誠意のみ

…して參つたのである、蓋し交戰關係にあらざる國家間における經濟封鎖は、武力戰に比して優るとも劣らざる敵性行爲であることは言を俟たないのである

かくの如き行爲は帝國の企圖する支那事變の解決を阻害するのみならず、更に又帝國の存立に重大なる影響を與ふるものであつて斷じて默過し得ざるものである

三原則で外交交渉に努力

帝國としては、隱忍自重及び熟慮にも拘らず、常に平和を欲する帝國として努力外交交渉によりて局面を打開し事態を平和的に解決せんことを期して參つたのであるが、今尚その目的を貫徹するに至らず、帝國は今や文字通り帝國の百年の計を決すべき重大なる局面に立たざるべからざるに至つたのである、政府は帝國以來の國是たる平和愛好の精神に基づき、帝國の存立と權威とを擁護し、大東亞の新秩序を建設するため、今なほ外交に對米の努力を傾注してゐる次第であつて、これにより帝國の期するところは

一、第三國が帝國の企圖する支那事變の完遂を妨害せざること

二、帝國を圍繞する諸國家が帝國に對する直接軍事的脅威を行はざることは勿論、經濟封鎖の如き敵性行爲を解除し、經濟的正常關係を回復すること

三、歐洲戰が擴大して禍亂の東亞に波及することを極力防止すること

である、以上三項に亙る目的が外交交渉によりて達成せらるゝならば、獨り帝國のためのみならず世界平和のため誠に幸であると信ずる次第である

國策強行貫徹の態勢整備

然しながら從來の經緯に鑑み、交渉の成否は逆睹し難いものがあるのである、從て政府は前途に横はるあらゆる障害を豫見してこれに對する萬般の準備を整へ、斷乎として帝國既定の國策を遂行するに萬遺憾なきを期し、依て以て帝國の存立を完うせんとする固き決意を有してゐる、帝國は實に際久二千六百余年の歴史の上において、曾て見ざりし國家隆替の岐路に立つてゐるのであるから、政府は深く思をこゝに致し、全力を盡して…

國民生活は更に緊縮の要

事態が如何様に發展しようとも、高度國防國家體制の完成こそは正に喫緊の重大要事である、これがために益々國民士氣を鼓舞し産業經濟の態勢を最高度に發揮するの要切なるものがあるのである、これと共に政府は國民生活の確保に關しては萬全の策を講ずるものであるが、これが更に緊縮を見ることは誠に已むを得ざる所である、私が從に衷心より希望致すことは、全國民が帝國は今や一大飛躍の秋に際會し、前途に洋々たる發展を期待し得べきことを確信して相共に今日の苦を分ち、國民一丸となつて聖業の翼賛に邁進せんことである、政府においても政治、經濟の運營について各般の改革整備を行ふ覺悟であるが、その實施に當つては更らに理想を追はず、實際に即して各專門的機能の有機的能率を最大限に發揮せしむるやう周到慎重を致す心構へである

私は全國民がこの政府の意の存する所を認識せられ、積極的に政府に協力せらるゝことを固く信じて疑はないものである

獨伊の功業には深厚慶祝

終りに臨み、政府は滿洲帝國及び中華民國國民政府が帝國に寄せられたる變らざる協力に深甚なる謝意を表し、また盟邦特に獨伊兩國の偉大なる功業に對して深厚なる慶祝の意を表すると同時に帝國と共に正義に基づく世界新秩序建設に成功せんことを祈るものである

本大臣はこの重大時局に處し、諸君と相携へて大政を翼賛し奉るを深く光榮とすると共に、責任のいよ／＼重大なるを痛感致す次第である、惟ふに難局の突破、時艱の克服は全國民が職域奉公に邁進し國民の總力が結集せられて初めて成就し得ると信ずるものである、何卒、諸君におかれてもこの上とも御支援御協力を御願ひ致す次第である

最後に護國の英靈に敬弔の誠を捧げ、戰線銃後の獻身的努力に衷心感謝の意を表するものである

國策遂行決議
貴族院本會議

貴族院本會議は午前十時七分開會、劈頭東條首相登壇、一般施政…

…つゝある友邦滿洲國の厚誼を謝すると共に盟邦獨伊兩國の歐洲新秩…

國策遂行決議案

…

來栖大使 大統領けふ會見か

…十六日高田…に第一夜を過…六日早朝起床…す朝食後直ち…使等と十七日…會見に關する打合せと協議を續行した、大使館員も殆ど全員電信の暗號その他各種の事務に忙殺されてゐる、十六日朝森島ニューヨーク總領事も大使館に駈けつけた、十七日のハル國務長官訪問は表面は儀禮的訪問とされてゐるが、それと同時に會談のスタートは切られ、ルーズヴェルト大統領の都合次第で國務省と打合せの大統領官邸へハル國務長官が野村、來栖兩大使を同道する筈である、ル大統領は數日來風邪氣味で引籠つてゐるので或は來栖大使との會見は十八日となるかも知れない

ケルチ突入

【ベルリン特電十六日發】獨軍有力筋の語るところによれば十六日獨步兵部隊はクリミヤ半島の要衝ケルチ郊外の防禦線を突破し市内に突入したといはれる

天氣豫報

東京（十七日午前九時 中央氣象台發表）

【今晩】北後南の風弱く晴

【明日】風弱く晴

【明晩】南西の風晴後曇

【明後日】南西の風曇、天氣崩くなる

神奈川 今晩北の風晴、明日北後南東の風晴後曇

埼玉 今晩北の風晴、明日南東の風晴一時曇

千葉 房州地方 今晩南の風晴明日北の風後南の風、天氣はよいが一時曇になる

靜岡（東部）今晩風弱く晴、明日南西の風晴（中部）今晩風弱く晴、明日北東の風後南の風晴

小説「春照る國」第二面に掲載

貴院各委員長

貴族院の各常任委員會における正副委員長は十七日午前互選の結果次の通り決定した

△豫算委員會 委員長井上匡四郎子（研究）副委員長矢吹省三男（公正）△決算委員會 委員長千田嘉平男（公正）副委員長秋元春朝子（研究）

△請願委員會 委員長堀田正恒伯（研究）副委員長久保田敬一男（公正）

△資格審査委員會 委員長溝口直亮伯（研究）副委員長松岡均平男（公正）

△懲罰委員會 委員長大久保利武侯（研究）副委員長高木喜寛男（公正）

施政方針質疑 各派交渉會 採める

衆議院本會議

國民の認識薬

空地を殘せ

22億円突破
國防貯蓄
富國徴兵

肌の若返りに
ヒゲソリ後に
マスタークリーム
ゲンシニバ

鐵石不動の原則

首相演說に『全國民の拍手』

世界の注目を集めて東條内閣の不退轉の決意と態度を表明する東條首相の施政演說は臨時議會第二日の十七日午前十時七分から先づ貴族院本會議で行はれた

"戰ふ日本"の宣言

さすがこの歷史的演說を聽かうとする傍聽者は早朝から押寄せ、なかにはこの朝着京したばかりの新議員の小林久雄さんをはじめはるばる九州方面からやつて來た人々、東京府立第一高女、櫻菊會の婦人團體など貴族院で千余名に達した

一方米曾有の重大難局を擔ふ東條さんは午前七時すぎ前日のやうに愛馬を驅つて靖國神社に參拜、飛國の英靈に固い誓ひをなし、午前九時四十分ごろ凛々しい陸軍大將の軍服、ロイド眼鏡の奧に一億國民の燃えさかる愛國の熱情に支持された爐火の眼を秘めて登院、開會直前議場の大臣席につく、一瞬議場は水を打つたやうな靜寂に包まれ、戰ふ議會の緊張感がひしひしと身に迫る

傍聽の貴觀席には盟邦滿洲國李大使以下館員、反樞軸の外國使臣席には米大使館スミス・ハットン海軍武官などの各國大公使館員が着席し、獨、伊、英、米などの各國新聞記者卅余名も一般傍聽席に陣取つて首相の演說を一言半句も逃がすまいと緊張する、定刻佐佐木副議長に促されて首相が登壇すると國民の感激をそのまゝ反映する嵐の拍手が起る

兩手を壇上に軽くのせた首相は一語々々に力をこめ、三點をあげて大東亞共榮圈建設のわが國を理解せぬものは斷乎排撃するの決意を披瀝すると外國大公使館員、外國新聞記者達もぐつと身體を乘り出し一般の傍聽者も咳一つする者もなく耳を傾け、特々議席から感激の拍手が湧き全く息づまるばかりの空氣が漲る、この歷史的演說は議會始つて以來で、日本放送協會で錄音、午後七時のニュースの時間に放送する、續いて外交方針を闡明する東郷外相の演說が行はれた

氣魄滿場を壓す

昨日は陸相として戰況報告をした東條さんは今日は首相として島田[illegible]決議案の主旨辨明をなし更に陸相として聲明、防[illegible]勅令の事後承諾を[illegible]た、この日、貴族院[illegible]東條さんは一人三[illegible]登壇すると"開院[illegible]なる動語を賜り…[illegible]ろでは直立不動の[illegible]の三原則から"第[illegible]は武力による戰爭[illegible]る"ときめつける[illegible]となつて滿場に迸[illegible]睨みつける姿は戰[illegible]宰相の頼もしさを[illegible]

貴族院の婦人の傍聽と㊦李大使

出來たぞ覺悟

傍聽席から"緊張"を拾ふ

首相の演說は各方面にどう響いたか、以下傍聽席に聽く感想

李滿洲國大使談 東條首相の演說を聽いて躍進する日本の姿をハッキリ認識することが出來ました首相が力說された通り日本の國策遂行への固き決意は如何なる障碍をも擊破せずんばおかないといふ力強さを感じました、私は一兩日前まで中國、山陰地方を旅行しましたが、どんな田舍に行きましても日本國民の一人々々が、すでに非常時に處する覺悟を十分に整へてゐる姿が見られました、この政府の不退轉の方針といひ、國民の覺悟といひ、いまや日本は一丸となつて國難に對處する態勢が確立されてゐることが判ります、殊にけふの東條首相の滿洲國に對する感謝の言葉は私共く能はぬものがあ[illegible]兩國は一體となつ[illegible]邁進しなくてはな[illegible]に新たにするもの[illegible]

米國大使館海軍[illegible]ットン氏談『首相[illegible]ついての感想は只[illegible]く申上げる自由を[illegible]です…』

新潟縣刈羽郡刈[illegible]ん談 『知人に手[illegible]やつて來ました、[illegible]さんの演說中は夢[illegible]出して聞きました、[illegible]ナ、わしらの田舍[illegible]で、お國につくす[illegible]ますが、議會を傍[illegible]して大臣さん方や[illegible]こんなに一生懸命で[illegible]氣持ちになりました』

栃木縣河内郡上三川[illegible]さんほか十名 「とう[illegible]の演說だけは是非聞[illegible]て來ました、東條さん[illegible]ゐない第三國が交戰[illegible]して經濟封鎖すること[illegible]つて交戰するのに[illegible]ねたが全く同感です、[illegible]

郵便屋さん不審顏

この朝東條さん・街の政治の續篇

歷史的施政方針演說を前にして、東條首相はこの朝も例の如く乘馬服の輕裝で晴の電擊散策に出掛け首をとどめた

「その賣殘つてゐる魚はどうしたんだい」

と麴町二丁目四の魚屋の店先に馬

「毎日"いか"と"かれい"位のもんでして」

と答へる主人の伍井甚[illegible]さんに

「ぢやあ、こゝらへんの人達はかれひばかり食つてゐるわけだね、さうか、まあしつかりやつてくれ」

と一寸考へこむやうにして立去り、今度は九段四の一一の一「魚竹」の店先で飛出した主人の北島茂さんとまたもお角問答をして、さつと一むちあてて遊就館脇で下馬、折から通りかゝつた郵便集配[illegible]は離[illegible]「何[illegible]

と色々訊ねるが、當の集配人、東條さんとは知らず腕組しての不愛想顏である

街の政治圖畫をへた東條さんは快速調で陸相官邸へ――

寫眞は郵便屋さんと語る首相

高松宮殿下

海軍航空隊卒業式に台臨

【大分發】大分海軍航空隊における海軍航空隊聯合卒業式は高松宮殿下の台臨を仰ぎ十七日午前九時五十分から擧行した、殿下には豊田呉鎭守府司令長官、平田横須賀鎭守府司令長官、戸塚海軍中將、吉良海軍少將等奉迎裡に式場に台臨、關係司令官並に岩國海軍航空隊司令より卒業式に關する畫報御聽取あり、卒業申渡式に移り優等卒業者の御下賜品拜受式が行はれ、十一時十分諸員奉送裡に自動車にて航空隊御發御歸還あらせられた

布哇から引揚邦人

大洋丸けさ横濱港へ

【横濱發】ハワイ在留同胞四百四十七名をのせ去る五日ホノルルを出帆した引揚げ第二船大洋丸は暗雲閉ざす太平洋上の荒波を蹴つて逞しく晴れた十七日午前七時半、無事横濱港外に投錨した、同船で引揚げて來た邦人の大部分は永年ハワイ各地にあつて同島今日の繁榮を築き上げた人々とその家族達で出迎への外務省、海外同胞中央會等の關係者を乘せたランチが近づくと船客達はデッキに一杯群がりハンカチや帽子を打振つて歡迎に應へ、感激に滿ちた入港風景を描き出した、なほ同船は午後一時棧橋に橫づけとなつた

【横濱港外大洋丸にて船便】船客はアメリカを音樂行脚中だつたピアニスト、レオ・シロタ氏(五)夫妻をはじめホノルルのハウス三越に赴いてゐた鰺谷榮之助氏(五)本願寺の大石智龍師(五)などで、ハワイ在住六年半の住友銀行ホノルル支店長代理兒玉育氏(四)談

「七月の資產凍結の直後はその程度がハッキリしないので、銀行は殆ど取附け騷ぎを演じた、ハワイにある日本の正金、住友太平洋の三銀行の預金もそのため一時減つたが今では落ついてゐて、邦人も月五百ドルまで生活費を引き出せるので日常生活は困つてゐない、ハワイの軍備强化のため最近一年間に約四万人の勞働者が米本土から來て軍需インフレを現出、邦人二世の十五、六歲の者でも一寸ハンマーを握つただけで週給四十ドルもとれる有様です、物價も平均三割五分位上つてゐる、ホノルル郊外のカネオイ飛行場を始め飛行場軍事施設は新設され例の空の要塞や案帯らしく速力の早い旧爆撃機など始終ホノルルの上[illegible]

氷川丸はあす横濱へ入港

卒業繰上による徵兵檢査日決る

來月一日から全國一齊に

新發賣・榮養調味料
少量でおいしい味が附いて出來る
明治エキス
特約・明治製菓株式會社

胃酸過多症と胃潰瘍に
専門特殊製劑
黑白

今夜の放送

臨時議會と市場

一齊强調

新規買增大

敗因は6六金

第二期名人位決定戰

慶大優勝す

學生圍棋リーグ戰

株式と市場

買氣盛返す
環境の好調刺戟
糸生

齊強調
新規買增大

住友銀行社長に岡橋氏決定
住友銀行では既報の如く総理の會長及び專務取締役四名を改選することとなつたが十七日大阪商店に臨時株主總會を開き右を左の通り正式發表、初代社長には現專務取締役岡橋林氏が昇格就任した

春照る國
片岡鐵兵作
福岡青嵐畫

公債 株式 一般一株賣買取扱 會
日本橋區鐵砲町(東株ビル株東)
舩橋理三郎商店
電話 代表 二五八〇 二五八一 二五八二 二五八三 二五八四 二五八五 二五八六 二五八七 二五八八 二五八九 二五九〇 二五九一 二五九二 二五九三 二五九四 二五九五 二五九六 二五九七 二五九八 二五九九 二六〇〇 二六〇一 二六〇二 二六〇三 二六〇四 二六〇五 二六〇六 二六〇七 二六〇八 二六〇九 二六一〇 二六一一 二六一二 二六一三 二六一四 二六一五 二六一六 二六一七 二六一八 二六一九 二六二〇 二六二一 二六二二 二六二三 二六二四 二六二五 二六二六 二六二七 二六二八 二六二九 二六三〇 二六三一 二六三二 二六三三 二六三四 二六三五 二六三六 二六三七 二六三八 二六三九 二六四〇 二六四一 二六四二 二六四三 二六四四 二六四五 二六四六 二六四七 二六四八 二六四九 二六五〇 二六五一 二六五二 二六五三 二六五四 二六五五 二六五六 二六五七 二六五八 二六五九 二六六〇 二六六一 二六六二 二六六三 二六六四 二六六五 二六六六 二六六七 二六六八 二六六九 二六七〇 二六七一 二六七二 二六七三 二六七四 二六七五 二六七六 二六七七 二六七八 二六七九 二六八〇 二六八一 二六八二 二六八三 二六八四 二六八五 二六八六 二六八七 二六八八 二六八九 二六九〇 二六九一 二六九二 二六九三 二六九四 二六九五 二六九六 二六九七 二六九八 二六九九 二七〇〇 二七〇一 二七〇二 二七〇三 二七〇四 二七〇五 二七〇六 二七〇七 二七〇八 二七〇九 二七一〇 二七一一 二七一二 二七一三 二七一四 二七一五 二七一六 二七一七 二七一八 二七一九 二七二〇 二七二一 二七二二 二七二三 二七二四 二七二五 二七二六 二七二七 二七二八 二七二九 二七三〇 二七三一 二七三二 二七三三 二七三四 二七三五 二七三六 二七三七 二七三八 二七三九 二七四〇 二七四一 二七四二 二七四三 二七四四 二七四五 二七四六 二七四七 二七四八 二七四九 二七五〇 二七五一 二七五二 二七五三 二七五四 二七五五 二七五六 二七五七 二七五八 二七五九 二七六〇 二七六一 二七六二 二七六三 二七六四 二七六五 二七六六 二七六七 二七六八 二七六九 二七七〇 二七七一 二七七二 二七七三 二七七四 二七七五 二七七六 二七七七 二七七八 二七七九 二七八〇 二七八一 二七八二 二七八三 二七八四 二七八五 二七八六 二七八七 二七八八 二七八九 二七九〇 二七九一 二七九二 二七九三 二七九四 二七九五 二七九六 二七九七 二七九八 二七九九 二八〇〇 二八〇一 二八〇二 二八〇三 二八〇四 二八〇五 二八〇六 二八〇七 二八〇八 二八〇九 二八一〇 二八一一 二八一二 二八一三 二八一四 二八一五 二八一六 二八一七 二八一八 二八一九 二八二〇 二八二一 二八二二 二八二三 二八二四 二八二五 二八二六 二八二七 二八二八 二八二九 二八三〇 二八三一 二八三二 二八三三 二八三四 二八三五 二八三六 二八三七 二八三八 二八三九 二八四〇 二八四一 二八四二 二八四三 二八四四 二八四五 二八四六 二八四七 二八四八 二八四九 二八五〇 二八五一 二八五二 二八五三 二八五四 二八五五 二八五六 二八五七 二八五八 二八五九 二八六〇 二八六一 二八六二 二八六三 二八六四 二八六五 二八六六 二八六七 二八六八 二八六九 二八七〇 二八七一 二八七二 二八七三 二八七四 二八七五 二八七六 二八七七 二八七八 二八七九 二八八〇 二八八一 二八八二 二八八三 二八八四 二八八五 二八八六 二八八七 二八八八 二八八九 二八九〇 二八九一 二八九二 二八九三 二八九四 二八九五 二八九六 二八九七 二八九八 二八九九 二九〇〇 二九〇一 二九〇二 二九〇三 二九〇四 二九〇五 二九〇六 二九〇七 二九〇八 二九〇九 二九一〇 二九一一 二九一二 二九一三 二九一四 二九一五 二九一六 二九一七 二九一八 二九一九 二九二〇 二九二一 二九二二 二九二三 二九二四 二九二五 二九二六 二九二七 二九二八 二九二九 二九三〇 二九三一 二九三二 二九三三 二九三四 二九三五 二九三六 二九三七 二九三八 二九三九 二九四〇 二九四一 二九四二 二九四三 二九四四 二九四五 二九四六 二九四七 二九四八 二九四九 二九五〇 二九五一 二九五二 二九五三 二九五四 二九五五 二九五六 二九五七 二九五八 二九五九 二九六〇 二九六一 二九六二 二九六三 二九六四 二九六五 二九六六 二九六七 二九六八 二九六九 二九七〇 二九七一 二九七二 二九七三 二九七四 二九七五 二九七六 二九七七 二九七八 二九七九 二九八〇 二九八一 二九八二 二九八三 二九八四 二九八五 二九八六 二九八七 二九八八 二九八九 二九九〇 二九九一 二九九二 二九九三 二九九四 二九九五 二九九六 二九九七 二九九八 二九九九 三〇〇〇 三〇〇一 三〇〇二 三〇〇三 三〇〇四 三〇〇五 三〇〇六 三〇〇七 三〇〇八 三〇〇九 三〇一〇 三〇一一 三〇一二 三〇一三 三〇一四 三〇一五 三〇一六 三〇一七 三〇一八 三〇一九 三〇二〇 三〇二一 三〇二二 三〇二三 三〇二四 三〇二五 三〇二六 三〇二七 三〇二八 三〇二九 三〇三〇 三〇三一 三〇三二 三〇三三 三〇三四 三〇三五 三〇三六 三〇三七 三〇三八 三〇三九 三〇四〇 三〇四一 三〇四二 三〇四三 三〇四四 三〇四五 三〇四六 三〇四七 三〇四八 三〇四九 三〇五〇 三〇五一 三〇五二 三〇五三 三〇五四 三〇五五 三〇五六 三〇五七 三〇五八 三〇五九 三〇六〇 三〇六一 三〇六二 三〇六三 三〇六四 三〇六五 三〇六六 三〇六七 三〇六八 三〇六九 三〇七〇 三〇七一 三〇七二 三〇七三 三〇七四 三〇七五 三〇七六 三〇七七 三〇七八 三〇七九 三〇八〇 三〇八一 三〇八二 三〇八三 三〇八四 三〇八五 三〇八六 三〇八七 三〇八八 三〇八九 三〇九〇 三〇九一 三〇九二 三〇九三 三〇九四 三〇九五 三〇九六 三〇九七 三〇九八 三〇九九 三一〇〇 三一〇一 三一〇二 三一〇三 三一〇四 三一〇五 三一〇六 三一〇七 三一〇八 三一〇九 三一一〇 三一一一 三一一二 三一一三 三一一四 三一一五 三一一六 三一一七 三一一八 三一一九 三一二〇 三一二一 三一二二 三一二三 三一二四 三一二五 三一二六 三一二七 三一二八 三一二九 三一三〇 三一三一 三一三二 三一三三 三一三四 三一三五 三一三六 三一三七 三一三八 三一三九 三一四〇 三一四一 三一四二 三一四三 三一四四 三一四五 三一四六 三一四七 三一四八 三一四九 三一五〇 三一五一 三一五二 三一五三 三一五四 三一五五 三一五六 三一五七 三一五八 三一五九 三一六〇 三一六一 三一六二 三一六三 三一六四 三一六五 三一六六 三一六七 三一六八 三一六九 三一七〇 三一七一 三一七二 三一七三 三一七四 三一七五 三一七六 三一七七 三一七八 三一七九 三一八〇 三一八一 三一八二 三一八三 三一八四 三一八五 三一八六 三一八七 三一八八 三一八九 三一九〇 三一九一 三一九二 三一九三 三一九四 三一九五 三一九六 三一九七 三一九八 三一九九 三二〇〇 三二〇一 三二〇二 三二〇三 三二〇四 三二〇五 三二〇六 三二〇七 三二〇八 三二〇九 三二一〇 三二一一 三二一二 三二一三 三二一四 三二一五 三二一六 三二一七 三二一八 三二一九 三二二〇 三二二一 三二二二 三二二三 三二二四 三二二五 三二二六 三二二七 三二二八 三二二九 三二三〇 三二三一 三二三二 三二三三 三二三四 三二三五 三二三六 三二三七 三二三八 三二三九 三二四〇 三二四一 三二四二 三二四三 三二四四 三二四五 三二四六 三二四七 三二四八 三二四九 三二五〇 三二五一 三二五二 三二五三 三二五四 三二五五 三二五六 三二五七 三二五八 三二五九 三二六〇 三二六一 三二六二 三二六三 三二六四 三二六五 三二六六 三二六七 三二六八 三二六九 三二七〇 三二七一 三二七二 三二七三 三二七四 三二七五 三二七六 三二七七 三二七八 三二七九 三二八〇 三二八一 三二八二 三二八三 三二八四 三二八五 三二八六 三二八七 三二八八 三二八九 三二九〇 三二九一 三二九二 三二九三 三二九四 三二九五 三二九六 三二九七 三二九八 三二九九 三三〇〇 三三〇一 三三〇二 三三〇三 三三〇四 三三〇五 三三〇六 三三〇七 三三〇八 三三〇九 三三一〇 三三一一 三三一二 三三一三 三三一四 三三一五 三三一六 三三一七 三三一八 三三一九 三三二〇 三三二一 三三二二 三三二三 三三二四 三三二五 三三二六 三三二七 三三二八 三三二九 三三三〇 三三三一 三三三二 三三三三 三三三四 三三三五 三三三六 三三三七 三三三八 三三三九 三三四〇 三三四一 三三四二 三三四三 三三四四 三三四五 三三四六 三三四七 三三四八 三三四九 三三五〇 三三五一 三三五二 三三五三 三三五四 三三五五 三三五六 三三五七 三三五八 三三五九 三三六〇 三三六一 三三六二 三三六三 三三六四 三三六五 三三六六 三三六七 三三六八 三三六九 三三七〇 三三七一 三三七二 三三七三 三三七四 三三七五 三三七六 三三七七 三三七八 三三七九 三三八〇 三三八一 三三八二 三三八三 三三八四 三三八五 三三八六 三三八七 三三八八 三三八九 三三九〇 三三九一 三三九二 三三九三 三三九四 三三九五 三三九六 三三九七 三三九八 三三九九 三四〇〇 三四〇一 三四〇二 三四〇三 三四〇四 三四〇五 三四〇六 三四〇七 三四〇八 三四〇九 三四一〇 三四一一 三四一二 三四一三 三四一四 三四一五 三四一六 三四一七 三四一八 三四一九 三四二〇 三四二一 三四二二 三四二三 三四二四 三四二五 三四二六 三四二七 三四二八 三四二九 三四三〇 三四三一 三四三二 三四三三 三四三四 三四三五 三四三六 三四三七 三四三八 三四三九 三四四〇 三四四一 三四四二 三四四三 三四四四 三四四五 三四四六 三四四七 三四四八 三四四九 三四五〇 三四五一 三四五二 三四五三 三四五四 三四五五 三四五六 三四五七 三四五八 三四五九 三四六〇 三四六一 三四六二 三四六三 三四六四 三四六五 三四六六 三四六七 三四六八 三四六九 三四七〇 三四七一 三四七二 三四七三 三四七四 三四七五 三四七六 三四七七 三四七八 三四七九 三四八〇 三四八一 三四八二 三四八三 三四八四 三四八五 三四八六 三四八七 三四八八 三四八九 三四九〇 三四九一 三四九二 三四九三 三四九四 三四九五 三四九六 三四九七 三四九八 三四九九 三五〇〇 三五〇一 三五〇二 三五〇三 三五〇四 三五〇五 三五〇六 三五〇七 三五〇八 三五〇九 三五一〇 三五一一 三五一二 三五一三 三五一四 三五一五 三五一六 三五一七 三五一八 三五一九 三五二〇 三五二一 三五二二 三五二三 三五二四 三五二五 三五二六 三五二七 三五二八 三五二九 三五三〇 三五三一 三五三二 三五三三 三五三四 三五三五 三五三六 三五三七 三五三八 三五三九 三五四〇 三五四一 三五四二 三五四三 三五四四 三五四五 三五四六 三五四七 三五四八 三五四九 三五五〇 三五五一 三五五二 三五五三 三五五四 三五五五 三五五六 三五五七 三五五八 三五五九 三五六〇 三五六一 三五六二 三五六三 三五六四 三五六五 三五六六 三五六七 三五六八 三五六九 三五七〇 三五七一 三五七二 三五七三 三五七四 三五七五 三五七六 三五七七 三五七八 三五七九 三五八〇 三五八一 三五八二 三五八三 三五八四 三五八五 三五八六 三五八七 三五八八 三五八九 三五九〇 三五九一 三五九二 三五九三 三五九四 三五九五 三五九六 三五九七 三五九八 三五九九 三六〇〇 三六〇一 三六〇二 三六〇三 三六〇四 三六〇五 三六〇六 三六〇七 三六〇八 三六〇九 三六一〇 三六一一 三六一二 三六一三 三六一四 三六一五 三六一六 三六一七 三六一八 三六一九 三六二〇 三六二一 三六二二 三六二三 三六二四 三六二五 三六二六 三六二七 三六二八 三六二九 三六三〇 三六三一 三六三二 三六三三 三六三四 三六三五 三六三六 三六三七 三六三八 三六三九 三六四〇 三六四一 三六四二 三六四三 三六四四 三六四五 三六四六 三六四七 三六四八 三六四九 三六五〇 三六五一 三六五二 三六五三 三六五四 三六五五 三六五六 三六五七 三六五八 三六五九 三六六〇 三六六一 三六六二 三六六三 三六六四 三六六五 三六六六 三六六七 三六六八 三六六九 三六七〇 三六七一 三六七二 三六七三 三六七四 三六七五 三六七六 三六七七 三六七八 三六七九 三六八〇 三六八一 三六八二 三六八三 三六八四 三六八五 三六八六 三六八七 三六八八 三六八九 三六九〇 三六九一 三六九二 三六九三 三六九四 三六九五 三六九六 三六九七 三六九八 三六九九 三七〇〇 三七〇一 三七〇二 三七〇三 三七〇四 三七〇五 三七〇六 三七〇七 三七〇八 三七〇九 三七一〇 三七一一 三七一二 三七一三 三七一四 三七一五 三七一六 三七一七 三七一八 三七一九 三七二〇 三七二一 三七二二 三七二三 三七二四 三七二五 三七二六 三七二七 三七二八 三七二九 三七三〇 三七三一 三七三二 三七三三 三七三四 三七三五 三七三六 三七三七 三七三八 三七三九 三七四〇 三七四一 三七四二 三七四三 三七四四 三七四五 三七四六 三七四七 三七四八 三七四九 三七五〇 三七五一 三七五二 三七五三 三七五四 三七五五 三七五六 三七五七 三七五八 三七五九 三七六〇 三七六一 三七六二 三七六三 三七六四 三七六五 三七六六 三七六七 三七六八 三七六九 三七七〇 三七七一 三七七二 三七七三 三七七四 三七七五 三七七六 三七七七 三七七八 三七七九 三七八〇 三七八一 三七八二 三七八三 三七八四 三七八五 三七八六 三七八七 三七八八 三七八九 三七九〇 三七九一 三七九二 三七九三 三七九四 三七九五 三七九六 三七九七 三七九八 三七九九 三八〇〇 三八〇一 三八〇二 三八〇三 三八〇四 三八〇五 三八〇六 三八〇七 三八〇八 三八〇九 三八一〇 三八一一 三八一二 三八一三 三八一四 三八一五 三八一六 三八一七 三八一八 三八一九 三八二〇 三八二一 三八二二 三八二三 三八二四 三八二五 三八二六 三八二七 三八二八 三八二九 三八三〇 三八三一 三八三二 三八三三 三八三四 三八三五 三八三六 三八三七 三八三八 三八三九 三八四〇 三八四一 三八四二 三八四三 三八四四 三八四五 三八四六 三八四七 三八四八 三八四九 三八五〇 三八五一 三八五二 三八五三 三八五四 三八五五 三八五六 三八五七 三八五八 三八五九 三八六〇 三八六一 三八六二 三八六三 三八六四 三八六五 三八六六 三八六七 三八六八 三八六九 三八七〇 三八七一 三八七二 三八七三 三八七四 三八七五 三八七六 三八七七 三八七八 三八七九 三八八〇 三八八一 三八八二 三八八三 三八八四 三八八五 三八八六 三八八七 三八八八 三八八九 三八九〇 三八九一 三八九二 三八九三 三八九四 三八九五 三八九六 三八九七 三八九八 三八九九 三九〇〇 三九〇一 三九〇二 三九〇三 三九〇四 三九〇五 三九〇六 三九〇七 三九〇八 三九〇九 三九一〇 三九一一 三九一二 三九一三 三九一四 三九一五 三九一六 三九一七 三九一八 三九一九 三九二〇 三九二一 三九二二 三九二三 三九二四 三九二五 三九二六 三九二七 三九二八 三九二九 三九三〇 三九三一 三九三二 三九三三 三九三四 三九三五 三九三六 三九三七 三九三八 三九三九 三九四〇 三九四一 三九四二 三九四三 三九四四 三九四五 三九四六 三九四七 三九四八 三九四九 三九五〇 三九五一 三九五二 三九五三 三九五四 三九五五 三九五六 三九五七 三九五八 三九五九 三九六〇 三九六一 三九六二 三九六三 三九六四 三九六五 三九六六 三九六七 三九六八 三九六九 三九七〇 三九七一 三九七二 三九七三 三九七四 三九七五 三九七六 三九七七 三九七八 三九七九 三九八〇 三九八一 三九八二 三九八三 三九八四 三九八五 三九八六 三九八七 三九八八 三九八九 三九九〇 三九九一 三九九二 三九九三 三九九四 三九九五 三九九六 三九九七 三九九八 三九九九 四〇〇〇 四〇〇一 四〇〇二 四〇〇三 四〇〇四 四〇〇五 四〇〇六 四〇〇七 四〇〇八 四〇〇九 四〇一〇 四〇一一 四〇一二 四〇一三 四〇一四 四〇一五 四〇一六 四〇一七 四〇一八 四〇一九 四〇二〇 四〇二一 四〇二二 四〇二三 四〇二四 四〇二五 四〇二六 四〇二七 四〇二八 四〇二九 四〇三〇 四〇三一 四〇三二 四〇三三 四〇三四 四〇三五 四〇三六 四〇三七 四〇三八 四〇三九 四〇四〇 四〇四一 四〇四二 四〇四三 四〇四四 四〇四五 四〇四六 四〇四七 四〇四八 四〇四九 四〇五〇 四〇五一 四〇五二 四〇五三 四〇五四 四〇五五 四〇五六 四〇五七 四〇五八 四〇五九 四〇六〇 四〇六一 四〇六二 四〇六三 四〇六四 四〇六五 四〇六六 四〇六七 四〇六八 四〇六九 四〇七〇 四〇七一 四〇七二 四〇七三 四〇七四 四〇七五 四〇七六 四〇七七 四〇七八 四〇七九 四〇八〇 四〇八一 四〇八二 四〇八三 四〇八四 四〇八五 四〇八六 四〇八七 四〇八八 四〇八九 四〇九〇 四〇九一 四〇九二 四〇九三 四〇九四 四〇九五 四〇九六 四〇九七 四〇九八 四〇九九 四一〇〇 四一〇一 四一〇二 四一〇三 四一〇四 四一〇五 四一〇六 四一〇七 四一〇八 四一〇九 四一一〇 四一一一 四一一二 四一一三 四一一四 四一一五 四一一六 四一一七 四一一八 四一一九 四一二〇 四一二一 四一二二 四一二三 四一二四 四一二五 四一二六 四一二七 四一二八 四一二九 四一三〇 四一三一 四一三二 四一三三 四一三四 四一三五 四一三六 四一三七 四一三八 四一三九 四一四〇 四一四一 四一四二 四一四三 四一四四 四一四五 四一四六 四一四七 四一四八 四一四九 四一五〇 四一五一 四一五二 四一五三 四一五四 四一五五 四一五六 四一五七 四一五八 四一五九 四一六〇 四一六一 四一六二 四一六三 四一六四 四一六五 四一六六 四一六七 四一六八 四一六九 四一七〇 四一七一 四一七二 四一七三 四一七四 四一七五 四一七六 四一七七 四一七八 四一七九 四一八〇 四一八一 四一八二 四一八三 四一八四 四一八五 四一八六 四一八七 四一八八 四一八九 四一九〇 四一九一 四一九二 四一九三 四一九四 四一九五 四一九六 四一九七 四一九八 四一九九 四二〇〇 四二〇一 四二〇二 四二〇三 四二〇四 四二〇五 四二〇六 四二〇七 四二〇八 四二〇九 四二一〇 四二一一 四二一二 四二一三 四二一四 四二一五 四二一六 四二一七 四二一八 四二一九 四二二〇 四二二一 四二二二 四二二三 四二二四 四二二五 四二二六 四二二七 四二二八 四二二九 四二三〇 四二三一 四二三二 四二三三 四二三四 四二三五 四二三六 四二三七 四二三八 四二三九 四二四〇 四二四一 四二四二 四二四三 四二四四 四二四五 四二四六 四二四七 四二四八 四二四九 四二五〇 四二五一 四二五二 四二五三 四二五四 四二五五 四二五六 四二五七 四二五八 四二五九 四二六〇 四二六一 四二六二 四二六三 四二六四 四二六五 四二六六 四二六七 四二六八 四二六九 四二七〇 四二七一 四二七二 四二七三 四二七四 四二七五 四二七六 四二七七 四二七八 四二七九 四二八〇 四二八一 四二八二 四二八三 四二八四 四二八五 四二八六 四二八七 四二八八 四二八九 四二九〇 四二九一 四二九二 四二九三 四二九四 四二九五 四二九六 四二九七 四二九八 四二九九 四三〇〇 四三〇一 四三〇二 四三〇三 四三〇四 四三〇五 四三〇六 四三〇七 四三〇八 四三〇九 四三一〇 四三一一 四三一二 四三一三 四三一四 四三一五 四三一六 四三一七 四三一八 四三一九 四三二〇 四三二一 四三二二 四三二三 四三二四 四三二五 四三二六 四三二七 四三二八 四三二九 四三三〇 四三三一 四三三二 四三三三 四三三四 四三三五 四三三六 四三三七 四三三八 四三三九 四三四〇 四三四一 四三四二 四三四三 四三四四 四三四五 四三四六 四三四七 四三四八 四三四九 四三五〇 四三五一 四三五二 四三五三 四三五四 四三五五 四三五六 四三五七 四三五八 四三五九 四三六〇 四三六一 四三六二 四三六三 四三六四 四三六五 四三六六 四三六七 四三六八 四三六九 四三七〇 四三七一 四三七二 四三七三 四三七四 四三七五 四三七六 四三七七 四三七八 四三七九 四三八〇 四三八一 四三八二 四三八三 四三八四 四三八五 四三八六 四三八七 四三八八 四三八九 四三九〇 四三九一 四三九二 四三九三 四三九四 四三九五 四三九六 四三九七 四三九八 四三九九 四四〇〇 四四〇一 四四〇二 四四〇三 四四〇四 四四〇五 四四〇六 四四〇七 四四〇八 四四〇九 四四一〇 四四一一 四四一二 四四一三 四四一四 四四一五 四四一六 四四一七 四四一八 四四一九 四四二〇 四四二一 四四二二 四四二三 四四二四 四四二五 四四二六 四四二七 四四二八 四四二九 四四三〇 四四三一 四四三二 四四三三 四四三四 四四三五 四四三六 四四三七 四四三八 四四三九 四四四〇 四四四一 四四四二 四四四三 四四四四 四四四五 四四四六 四四四七 四四四八 四四四九 四四五〇 四四五一 四四五二 四四五三 四四五四 四四五五 四四五六 四四五七 四四五八 四四五九 四四六〇 四四六一 四四六二 四四六三 四四六四 四四六五 四四六六 四四六七 四四六八 四四六九 四四七〇 四四七一 四四七二 四四七三 四四七四 四四七五 四四七六 四四七七 四四七八 四四七九 四四八〇 四四八一 四四八二 四四八三 四四八四 四四八五 四四八六 四四八七 四四八八 四四八九 四四九〇 四四九一 四四九二 四四九三 四四九四 四四九五 四四九六 四四九七 四四九八 四四九九 四五〇〇 四五〇一 四五〇二 四五〇三 四五〇四 四五〇五 四五〇六 四五〇七 四五〇八 四五〇九 四五一〇 四五一一 四五一二 四五一三 四五一四 四五一五 四五一六 四五一七 四五一八 四五一九 四五二〇 四五二一 四五二二 四五二三 四五二四 四五二五 四五二六 四五二七 四五二八 四五二九 四五三〇 四五三一 四五三二 四五三三 四五三四 四五三五 四五三六 四五三七 四五三八 四五三九 四五四〇 四五四一 四五四二 四五四三 四五四四 四五四五 四五四六 四五四七 四五四八 四五四九 四五五〇 四五五一 四五五二 四五五三 四五五四 四五五五 四五五六 四五五七 四五五八 四五五九 四五六〇 四五六一 四五六二 四五六三 四五六四 四五六五 四五六六 四五六七 四五六八 四五六九 四五七〇 四五七一 四五七二 四五七三 四五七四 四五七五 四五七六 四五七七 四五七八 四五七九 四五八〇 四五八一 四五八二 四五八三 四五八四 四五八五 四五八六 四五八七 四五八八 四五八九 四五九〇 四五九一 四五九二 四五九三 四五九四 四五九五 四五九六 四五九七 四五九八 四五九九 四六〇〇 四六〇一 四六〇二 四六〇三 四六〇四 四六〇五 四六〇六 四六〇七 四六〇八 四六〇九 四六一〇 四六一一 四六一二 四六一三 四六一四 四六一五 四六一六 四六一七 四六一八 四六一九 四六二〇 四六二一 四六二二 四六二三 四六二四 四六二五 四六二六 四六二七 四六二八 四六二九 四六三〇 四六三一 四六三二 四六三三 四六三四 四六三五 四六三六 四六三七 四六三八 四六三九 四六四〇 四六四一 四六四二 四六四三 四六四四 四六四五 四六四六 四六四七 四六四八 四六四九 四六五〇 四六五一 四六五二 四六五三 四六五四 四六五五 四六五六 四六五七 四六五八 四六五九 四六六〇 四六六一 四六六二 四六六三 四六六四 四六六五 四六六六 四六六七 四六六八 四六六九 四六七〇 四六七一 四六七二 四六七三 四六七四 四六七五 四六七六 四六七七 四六七八 四六七九 四六八〇 四六八一 四六八二 四六八三 四六八四 四六八五 四六八六 四六八七 四六八八 四六八九 四六九〇 四六九一 四六九二 四六九三 四六九四 四六九五 四六九六 四六九七 四六九八 四六九九 四七〇〇 四七〇一 四七〇二 四七〇三 四七〇四 四七〇五 四七〇六 四七〇七 四七〇八 四七〇九 四七一〇 四七一一 四七一二 四七一三 四七一四 四七一五 四七一六 四七一七 四七一八 四七一九 四七二〇 四七二一 四七二二 四七二三 四七二四 四七二五 四七二六 四七二七 四七二八 四七二九 四七三〇 四七三一 四七三二 四七三三 四七三四 四七三五 四七三六 四七三七 四七三八 四七三九 四七四〇 四七四一 四七四二 四七四三 四七四四 四七四五 四七四六 四七四七 四七四八 四七四九 四七五〇 四七五一 四七五二 四七五三 四七五四 四七五五 四七五六 四七五七 四七五八 四七五九 四七六〇 四七六一 四七六二 四七六三 四七六四 四七六五 四七六六 四七六七 四七六八 四七六九 四七七〇 四七七一 四七七二 四七七三 四七七四 四七七五 四七七六 四七七七 四七七八 四七七九 四七八〇 四七八一 四七八二 四七八三 四七八四 四七八五 四七八六 四七八七 四七八八 四七八九 四七九〇 四七九一 四七九二 四七九三 四七九四 四七九五 四七九六 四七九七 四七九八 四七九九 四八〇〇 四八〇一 四八〇二 四八〇三 四八〇四 四八〇五 四八〇六 四八〇七 四八〇八 四八〇九 四八一〇 四八一一 四八一二 四八一三 四八一四 四八一五 四八一六 四八一七 四八一八 四八一九 四八二〇 四八二一 四八二二 四八二三 四八二四 四八二五 四八二六 四八二七 四八二八 四八二九 四八三〇 四八三一 四八三二 四八三三 四八三四 四八三五 四八三六 四八三七 四八三八 四八三九 四八四〇 四八四一 四八四二 四八四三 四八四四 四八四五 四八四六 四八四七 四八四八 四八四九 四八五〇 四八五一 四八五二 四八五三 四八五四 四八五五 四八五六 四八五七 四八五八 四八五九 四八六〇 四八六一 四八六二 四八六三 四八六四 四八六五 四八六六 四八六七 四八六八 四八六九 四八七〇 四八七一 四八七二 四八七三 四八七四 四八七五 四八七六 四八七七 四八七八 四八七九 四八八〇 四八八一 四八八二 四八八三 四八八四 四八八五 四八八六 四八八七 四八八八 四八八九 四八九〇 四八九一 四八九二 四八九三 四八九四 四八九五 四八九六 四八九七 四八九八 四八九九 四九〇〇 四九〇一 四九〇二 四九〇三 四九〇四 四九〇五 四九〇六 四九〇七 四九〇八 四九〇九 四九一〇 四九一一 四九一二 四九一三 四九一四 四九一五 四九一六 四九一七 四九一八 四九一九 四九二〇 四九二一 四九二二 四九二三 四九二四 四九二五 四九二六 四九二七 四九二八 四九二九 四九三〇 四九三一 四九三二 四九三三 四九三四 四九三五 四九三六 四九三七 四九三八 四九三九 四九四〇 四九四一 四九四二 四九四三 四九四四 四九四五 四九四六 四九四七 四九四八 四九四九 四九五〇 四九五一 四九五二 四九五三 四九五四 四九五五 四九五六 四九五七 四九五八 四九五九 四九六〇 四九六一 四九六二 四九六三 四九六四 四九六五 四九六六 四九六七 四九六八 四九六九 四九七〇 四九七一 四九七二 四九七三 四九七四 四九七五 四九七六 四九七七 四九七八 四九七九 四九八〇 四九八一 四九八二 四九八三 四九八四 四九八五 四九八六 四九八七 四九八八 四九八九 四九九〇 四九九一 四九九二 四九九三 四九九四 四九九五 四九九六 四九九七 四九九八 四九九九 五〇〇〇 五〇〇一 五〇〇二 五〇〇三 五〇〇四 五〇〇五 五〇〇六 五〇〇七 五〇〇八 五〇〇九 五〇一〇 五〇一一 五〇一二 五〇一三 五〇一四 五〇一五 五〇一六 五〇一七 五〇一八 五〇一九 五〇二〇 五〇二一 五〇二二 五〇二三 五〇二四 五〇二五 五〇二六 五〇二七 五〇二八 五〇二九 五〇三〇 五〇三一 五〇三二 五〇三三 五〇三四 五〇三五 五〇三六 五〇三七 五〇三八 五〇三九 五〇四〇 五〇四一 五〇四二 五〇四三 五〇四四 五〇四五 五〇四六 五〇四七 五〇四八 五〇四九 五〇五〇 五〇五一 五〇五二 五〇五三 五〇五四 五〇五五 五〇五六 五〇五七 五〇五八 五〇五九 五〇六〇 五〇六一 五〇六二 五〇六三 五〇六四 五〇六五 五〇六六 五〇六七 五〇六八 五〇六九 五〇七〇 五〇七一 五〇七二 五〇七三 五〇七四 五〇七五 五〇七六 五〇七七 五〇七八 五〇七九 五〇八〇 五〇八一 五〇八二 五〇八三 五〇八四 五〇八五 五〇八六 五〇八七 五〇八八 五〇八九 五〇九〇 五〇九一 五〇九二 五〇九三 五〇九四 五〇九五 五〇九六 五〇九七 五〇九八 五〇九九 五一〇〇 五一〇一 五一〇二 五一〇三 五一〇四 五一〇五 五一〇六 五一〇七 五一〇八 五一〇九 五一一〇 五一一一 五一一二 五一一三 五一一四 五一一五 五一一六 五一一七 五一一八 五一一九 五一二〇 五一二一 五一二二 五一二三 五一二四 五一二五 五一二六 五一二七 五一二八 五一二九 五一三〇 五一三一 五一三二 五一三三 五一三四 五一三五 五一三六 五一三七 五一三八 五一三九 五一四〇 五一四一 五一四二 五一四三 五一四四 五一四五 五一四六 五一四七 五一四八 五一四九 五一五〇 五一五一 五一五二 五一五三 五一五四 五一五五 五一五六 五一五七 五一五八 五一五九 五一六〇 五一六一 五一六二 五一六三 五一六四 五一六五 五一六六 五一六七 五一六八 五一六九 五一七〇 五一七一 五一七二 五一七三 五一七四 五一七五 五一七六 五一七七 五一七八 五一七九 五一八〇 五一八一 五一八二 五一八三 五一八四 五一八五 五一八六 五一八七 五一八八 五一八九 五一九〇 五一九一 五一九二 五一九三 五一九四 五一九五 五一九六 五一九七 五一九八 五一九九 五二〇〇 五二〇一 五二〇二 五二〇三 五二〇四 五二〇五 五二〇六 五二〇七 五二〇八 五二〇九 五二一〇 五二一一 五二一二 五二一三 五二一四 五二一五 五二一六 五二一七 五二一八 五二一九 五二二〇 五二二一 五二二二 五二二三 五二二四 五二二五 五二二六 五二二七 五二二八 五二二九 五二三〇 五二三一 五二三二 五二三三 五二三四 五二三五 五二三六 五二三七 五二三八 五二三九 五二四〇 五二四一 五二四二 五二四三 五二四四 五二四五 五二四六 五二四七 五二四八 五二四九 五二五〇 五二五一 五二五二 五二五三 五二五四 五二五五 五二五六 五二五七 五二五八 五二五九 五二六〇 五二六一 五二六二 五二六三 五二六四 五二六五 五二六六 五二六七 五二六八 五二六九 五二七〇 五二七一 五二七二 五二七三 五二七四 五二七五 五二七六 五二七七 五二七八 五二七九 五二八〇 五二八一 五二八二 五二八三 五二八四 五二八五 五二八六 五二八七 五二八八 五二八九 五二九〇 五二九一 五二九二 五二九三 五二九四 五二九五 五二九六 五二九七 五二九八 五二九九 五三〇〇 五三〇一 五三〇二 五三〇三 五三〇四 五三〇五 五三〇六 五三〇七 五三〇八 五三〇九 五三一〇 五三一一 五三一二 五三一三 五三一四 五三一五 五三一六 五三一七 五三一八 五三一九 五三二〇 五三二一 五三二二 五三二三 五三二四 五三二五 五三二六 五三二七 五三二八 五三二九 五三三〇 五三三一 五三三二 五三三三 五三三四 五三三五 五三三六 五三三七 五三三八 五三三九 五三四〇 五三四一 五三四二 五三四三 五三四四 五三四五 五三四六 五三四七 五三四八 五三四九 五三五〇 五三五一 五三五二 五三五三 五三五四 五三五五 五三五六 五三五七 五三五八 五三五九 五三六〇 五三六一 五三六二 五三六三 五三六四 五三六五 五三六六 五三六七 五三六八 五三六九 五三七〇 五三七一 五三七二 五三七三 五三七四 五三七五 五三七六 五三七七 五三七八 五三七九 五三八〇 五三八一 五三八二 五三八三 五三八四 五三八五 五三八六 五三八七 五三八八 五三八九 五三九〇 五三九一 五三九二 五三九三 五三九四 五三九五 五三九六 五三九七 五三九八 五三九九 五四〇〇 五四〇一 五四〇二 五四〇三 五四〇四 五四〇五 五四〇六 五四〇七 五四〇八 五四〇九 五四一〇 五四一一 五四一二 五四一三 五四一四 五四一五 五四一六 五四一七 五四一八 五四一九 五四二〇 五四二一 五四二二 五四二三 五四二四 五四二五 五四二六 五四二七 五四二八 五四二九 五四三〇 五四三一 五四三二 五四三三 五四三四 五四三五 五四三六 五四三七 五四三八 五四三九 五四四〇 五四四一 五四四二 五四四三 五四四四 五四四五 五四四六 五四四七 五四四八 五四四九 五四五〇 五四五一 五四五二 五四五三 五四五四 五四五五 五四五六 五四五七 五四五八 五四五九 五四六〇 五四六一 五四六二 五四六三 五四六四 五四六五 五四六六 五四六七 五四六八 五四六九 五四七〇 五四七一 五四七二 五四七三 五四七四 五四七五 五四七六 五四七七 五四七八 五四七九 五四八〇 五四八一 五四八二 五四八三 五四八四 五四八五 五四八六 五四八七 五四八八 五四八九 五四九〇 五四九一 五四九二 五四九三 五四九四 五四九五 五四九六 五四九七 五四九八 五四九九 五五〇〇 五五〇一 五五〇二 五五〇三 五五〇四 五五〇五 五五〇六 五五〇七 五五〇八 五五〇九 五五一〇 五五一一 五五一二 五五一三 五五一四 五五一五 五五一六 五五一七 五五一八 五五一九 五五二〇 五五二一 五五二二 五五二三 五五二四 五五二五 五五二六 五五二七 五五二八 五五二九 五五三〇 五五三一 五五三二 五五三三 五五三四 五五三五 五五三六 五五三七 五五三八 五五三九 五五四〇 五五四一 五五四二